

AD ALTIORA SEMPER
UNIVERSITAS CHIBA

2021

千葉大学
大学概要

2021

CHIBA
UNIVERSITY
大学概要

CHIBA UNIVERSITY

〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1-33
www.chiba-u.jp



Copyright (C) 2021 Chiba University. All Rights Reserved.

CHIBA UNIVERSITY

CONTENTS

大学概要

01	理念	
01.1	学長挨拶・千葉大学憲章	02
01.2	ビジョン	03
02	トピックス	
02.1	データで見る千葉大学	04
02.2	沿革・歴代学長	06
02.3	トピックス	08
03	特色	
03.1	千葉大学グローバル人材育成戦略「ENGINE」の始動	10
03.2	スーパーグローバル大学創成支援事業	12
03.3	大学の世界展開力強化事業	13
03.4	先進科学プログラム / 飛び入学	14
03.5	高大接続に関する取り組み	15
03.6	附属図書館 / アカデミック・リンク・センター	16
03.7	グローバルプロミnent研究基幹	17
03.8	亥鼻キャンパス高機能化構想と亥鼻IPE	21
03.9	学術研究・イノベーション推進機構(IMO)	22
03.10	コミュニティ・イノベーションオフィスによる地域との連携	23
03.11	環境ISO	24
03.12	ダイバーシティ推進の取り組み	25
04	組織・施設	
04.1	組織・施設の整備	26
04.2	組織図	27
04.3	学部	28
04.4	大学院	31
04.5	医学部附属病院	34
04.6	共同利用教育研究施設	36
04.7	学部等附属の教育研究施設	39
04.8	附属学校	41

05	国際交流	42
05.1	戦略的海外拠点形成	42
05.2	海外キャンパス等	44
06	学生	45
06.1	学生数(学部・大学院・研究生等)	45
07	財務	46
07.1	決算・予算	46
08	学章等	47
08.1	学章等	47
	キャンバスマップ	48
	アクセス	53
	千葉大学基金	54

"つねに、より高きものをめざして"

学長挨拶

千葉大学は約150年前に創立した千葉師範学校や公立病院を前身として、1949(昭和24)年に新制国立大学として設立されました。現在では10学部、17大学院を有し、千葉県に4つのキャンパス、東京都に1つのキャンパスを持ち、学部の枠を越えた幅広い教養と高度の専門性を修得できるアカデミア環境を整備しています。

教育面では、「つねに、より高きものをめざして」の理念のもと、最高学府にふさわしい優れた学問を修める中で、高い知性と豊かな人間性を育み、ENGINEプランをはじめ、グローバル社会で活躍できる人材を養成するための取組を積極的に進めています。

研究面では、学術研究・イノベーション推進機構(IMO)などを中心に、世界トップレベルの研究力と研究人材の育成、産官学連携を強力に推進しています。Society 5.0の実現に向けて、学問の多様性を尊重しつつ、独創性に富んだ発想から新たな研究領域の開拓につながる世界水準の学術研究や、社会に変革をもたらすイノベティブな開発研究を進めています。

今後も本学を起点に教育、行政、産業、医療、地域コミュニティなどへの幅広い社会貢献を果たし、地域ステータスを向上させ、地域の皆様に誇られる千葉大学を目指します。大学本来のミッションである、教育、研究、社会貢献で大いに存在感を増し、「世界に冠たる千葉大学」を目指してまいります。本冊子が、千葉大学の現状や目指している方向性の理解に役立つことを願っています。

国立大学法人 千葉大学長

中山 俊憲



千葉大学の理念

千葉大学は、世界を先導する創造的な教育・研究活動を通しての社会貢献を使命とし、生命のいっそうの輝きをめざす未来志向型大学として、たゆみない挑戦を続けます。

千葉大学の目標

私たち役員と教職員は、上記の理念のもと、自由・自立の精神を堅持して、地球規模的な視点から常に社会とかわりあいを持ち、普遍的な教養(真善美)、専門的な知識・技術・技能および高い問題解決能力をそなえた人材の育成、ならびに現代的課題に応える創造的、独創的研究の展開によって、人類の平和と福祉ならびに自然との共生に貢献します。

01 私たちは、学生が個々の能力を発揮して「学ぶ喜び」を見だし、鋭い知性と豊かな人間性を育てていく自律成長を支援するために、最高の教育プログラムと環境を提供します。千葉大学は、学生と私たちがともに学ぶ喜びを生きがいと感じ、ともに成長していく知的共同体です。

02 私たちは、学生とともに、社会で生じるさまざまな問題の本質を、事実を踏まえて深く考察し、公正かつ誠実な問題解決に資する成果を速やかに提供して、社会と文化ならびに科学と技術の発展に貢献します。

03 私たちは、総合大学としての多様性と学際性を生かし、国内外の地域社会・民間・行政・教育研究諸機関と連携して、領域横断的研究と社会貢献を積極的に推進します。

04 私たちは、各人の個性・能力・意欲および自主性が継続的に最大限発揮され、意欲ある人材が積極的に登用される仕組みと環境を構築し、時代の変化に応じて柔軟に大学を運営します。

Chiba University Aspirations

Towards a world preeminent academic institution

世界に冠たる千葉大学へ

World Leading Research

国際頭脳循環の中核として世界最先端の研究を展開

- 学問の多様性を尊重し独創的な研究を推進
- 学際研究領域を開拓する世界水準の学術研究を推進
- 新たな価値を創造するイノベティブな研究を推進
- 国際高等研究基幹による戦略的な研究教員組織を構築

Global Education

世界に学び世界に貢献する人材の育成

- 世界をキャンパスに最先端を学修できる優れた教育環境を提供
- グローバル社会のリーダーたる資質とチャレンジ精神を涵養
- 幅広い教養と豊かな知性ととも高度な専門性を錬磨
- 国際未来教育基幹の強化による最高水準の先進的教育基盤を構築

Holistic Governance

運営基盤を強化し、持続的な発展を導く大学経営

- デジタル・トランスフォーメーション(DX)による戦略的な大学運営
- 個々の力を引き出し、協働体制で競争力を強化
- 誰もが生き生きと活躍できる多様性のあるアカデミア環境を構築
- 戦略的広報活動と社会資源の有効活用

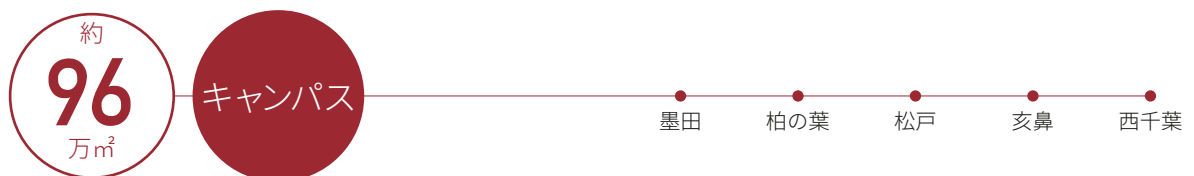
Social Engagement

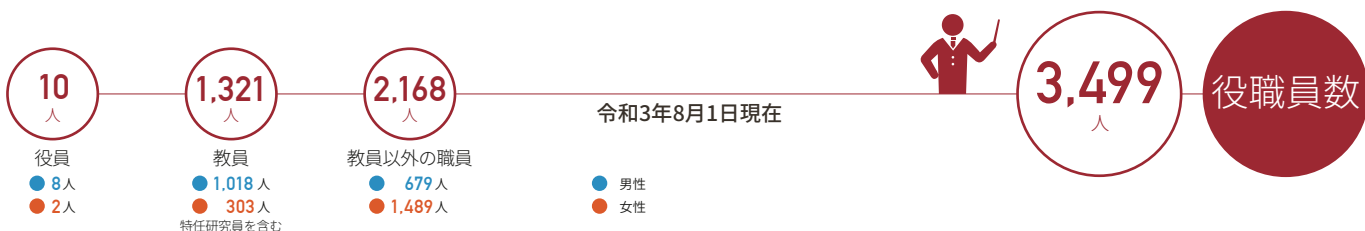
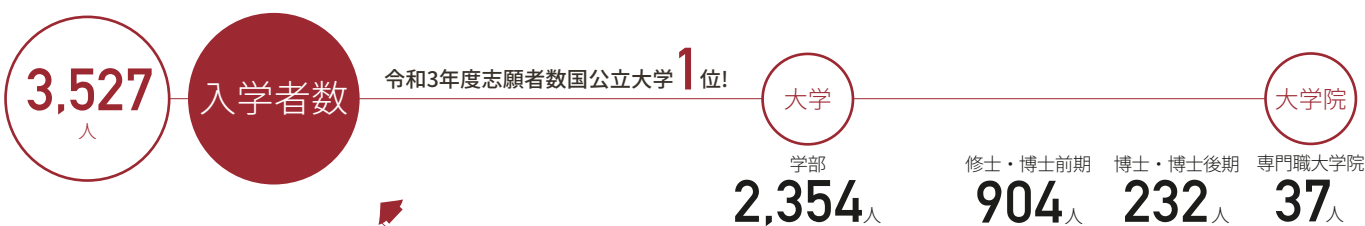
社会に大きく貢献する千葉大学

- 高度な研究成果や優れた人材の育成を通じて社会の持続的発展に貢献
- 卓越した知と人材の集積拠点として環境や地域社会に貢献
- イノベーションの創出に向けた産学官連携の強化
- 世界をリードする千葉大学ブランドの定着

ALWAYS AIM HIGHER

| データで見る千葉大学





沿革・歴代学長



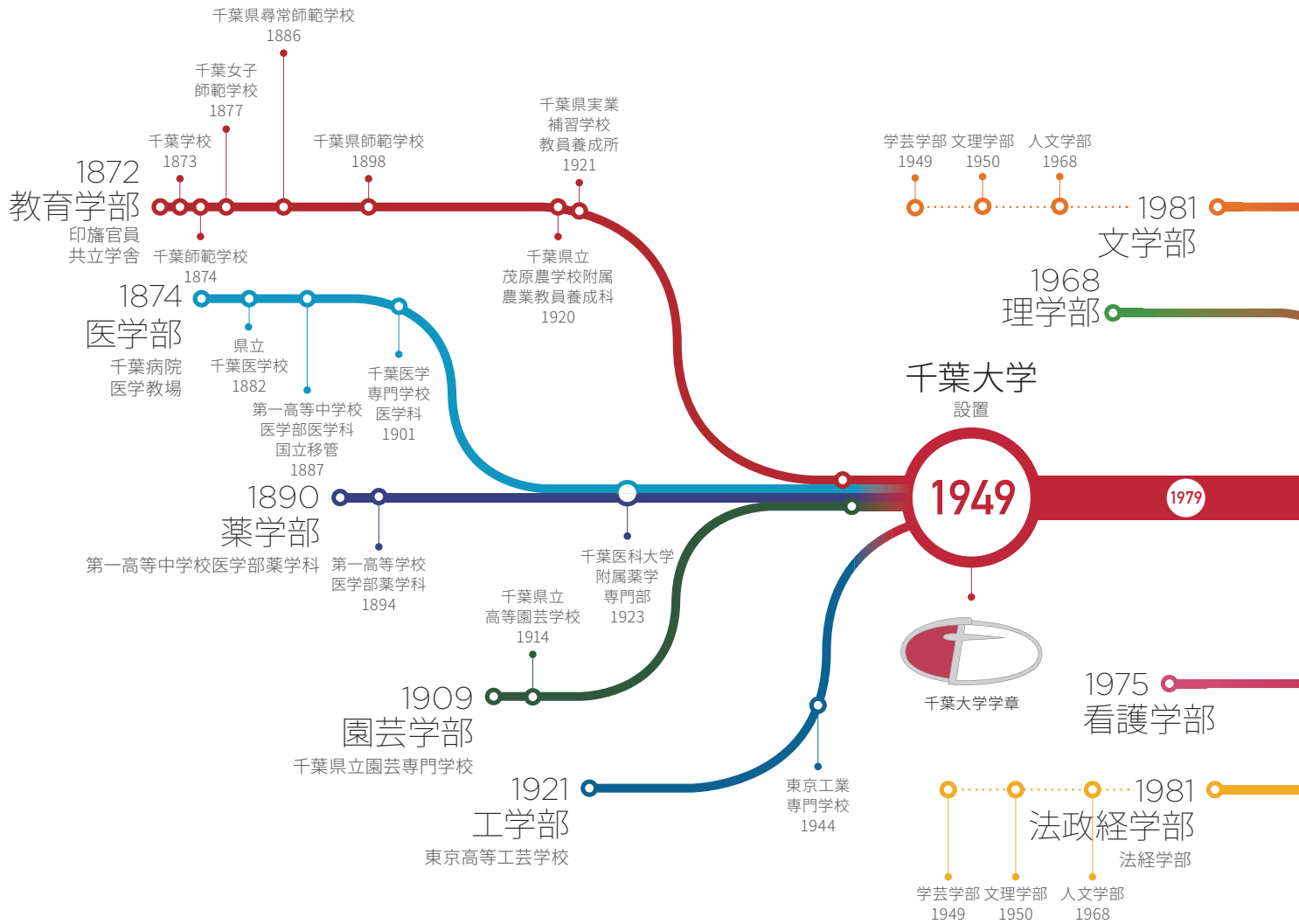
千葉医科大学
1923



官立千葉師範学校
1943



千葉大学旗
1960



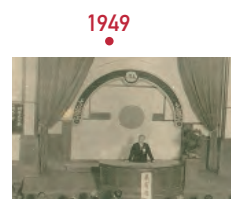
千葉県立園芸専門学校



東京高等工芸学校



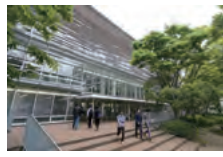
千葉農業専門学校



開学式の様子

歴代学長

初代	小池 敬事	昭24.05.31~昭32.05.31	第7代	香月 秀雄	昭51.08.01~昭57.07.31
第2代	小林 政一	昭32.06.01~昭36.05.31	第8代	井出 源四郎	昭57.08.01~昭63.07.31
第3代	荒木 直躬	昭36.06.01~昭37.01.30	第9代	吉田 亮	昭63.08.01~平06.07.31
(事務取扱)	谷川 久治	昭37.01.30~昭37.03.01	第10代	丸山 工作	平06.08.01~平10.07.31
第4代	谷川 久治	昭37.03.02~昭43.03.01	第11代	磯野 可一	平10.08.01~平17.03.31
第5代	川喜田 愛郎	昭43.03.02~昭44.04.01	第12代	古在 豊樹	平17.04.01~平20.03.31
(事務取扱)	湊 顕	昭44.04.01~昭44.06.23	第13代	齋藤 康	平20.04.01~平26.03.31
(事務取扱)	香月 秀雄	昭44.06.24~昭45.07.31	第14代	徳久 剛史	平26.04.01~令03.03.31
第6代	相磯 和嘉	昭45.08.01~昭51.07.31	第15代	中山 俊憲	令03.04.01~



アカデミック・リンク・センター

2011



CHIBA UNIVERSITY

新コミュニケーションマーク

2016

千葉大学
創立50周年

国立大学法人
千葉大学

環境ISO14001認証取得

イングリッシュハウス設置

創立70周年



千葉大学マスコット



教育学部
150周年

1999

2004

2009

2012

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

園芸学部
100周年

理学部
50周年

工学部
100周年

バンコクキャンパス設置

- グローバルプロモメント研究基幹の設置
- 6ターム制の導入
- 臨床研究中核病院に承認
- サンディエゴキャンパス設置
- ベルリンキャンパス設置

2016

国際教養学部

飛び入学受け入れ開始(日本初)
1998年

柏の葉キャンパス設置
1991年

1979



創立30周年記念式

1982



やよいの鐘(創立30周年事業)

2020



医学部附属病院新中央診療棟

2021



墨田サテライトキャンパス設置

2021



医学系総合研究棟

※図中の西暦は年度を表す。

トピックス

ものづくりのまち墨田区に新キャンパス開設 デザイン教育・研究の新拠点に

詳しくはこちら ▶ P.26、37



墨田サテライトキャンパス外観

2021年4月、ものづくりのまちである東京都墨田区に、建物全体が実証実験空間となり、生活の全てをシミュレートする「千葉大学墨田サテライトキャンパス」を開設しました。分野横断的デザイン教育・研究を展開する全学共同利用教育研究組織「デザイン・リサーチ・インスティテュート」(dri)の拠点となります。

亥鼻キャンパスに医学系総合研究棟、 附属病院新中央診療棟が完成

詳しくはこちら ▶ P.26、34-35



医学系総合研究棟

2021年4月に、次世代の医学・治療を担う「治療学」の創成と医療人の育成の拠点となる医学系総合研究棟が完成しました。同年1月には、医学部附属病院に新しい中央診療棟がオープンし、集中治療、手術等の設備・環境が強化されています。2棟は連絡通路で接続され、一層の連携の強化を図ります。

ASCENT Programがスタート

詳しくはこちら ▶ P.15

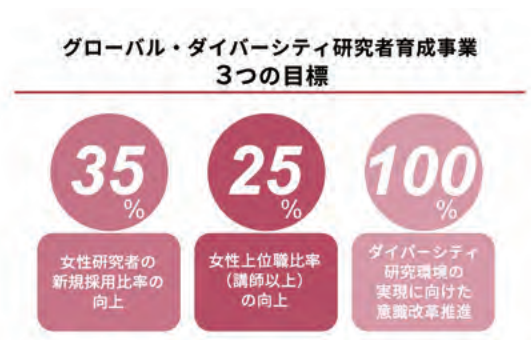


英語による魚のたんぱく質解析実験の様子

これまで培ってきた高大接続によるグローバル・リーダー育成の取り組みをさらに発展させ、JSTが支援するグローバルサイエンスキャンパス(GSC)事業として、Society 5.0を創出する未来リーディング人材養成ASCENT Programを2020年度より開始しました。

グローバル・ダイバーシティ研究者育成事業開始

詳しくはこちら ▶ P.25



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の支援により、「千葉大学グローバル・ダイバーシティ研究者育成事業」を2020年度に開始しました。若手・女性研究者のグローバルな研究活動支援とともに、ダイバーシティ理解のための啓発活動を推進します。

COVID-19 医学部附属病院に
コロナワクチンセンターを設置

詳しくはこちら▶P.35



研究協力のために、接種前に職員の採血を行う様子

医学部附属病院は、2021年2月に「コロナワクチンセンター」を設置し、これまでに職員等への新型コロナウイルスワクチン接種、大学院と連携した研究、ワクチンの理解促進のための情報発信などに取り組んできました。6月には、ワクチンを接種した1,774名の抗体価の検査結果を発表しました。

COVID-19 自治体による新型コロナワクチン接種を
サポート



墨田区の接種会場で問診表のチェックを行う学生

墨田サテライトキャンパスを墨田区の接種会場として提供しており、同会場では工学部の学生が誘導等のアルバイト業務に従事しています。また、千葉市内に設置された千葉県高齢者ワクチン接種センターでは、千葉県の依頼を受けて、医学部附属病院の医師・看護師等が交代で接種等の対応にあたりました。

COVID-19 対面授業とメディア授業を併用した学習を継続
課外活動も再開



千葉大学マスコットも学内各所で感染対策を呼びかける

2020年度にインターネットを使った授業を本格的に導入しました。2021年度は対面授業、オンデマンド型メディア授業、同時双方向型メディア授業を併用し、教育目的に合わせた方式で実施しています。課外活動については各団体が感染防止対策を策定することで、2020年8月より活動を再開しました。

COVID-19 大学拠点接種 開始



問診する中山学長

2021年7月より、新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種を開始しました。学生、教職員、大学構内事業者等への接種のほか、近隣大学の学生や教職員、公立小中等高等学校等の教職員にも可能な限り接種を行っていくことで、地方自治体が進めるワクチン接種の加速化に寄与してまいります。

千葉大学グローバル人材育成
—ENGINE—

千葉大学は、国際教養学部を中心に成果を上げてきている千葉大学のグローバル人材育成戦略を更に拡大展開するプランである「千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”(Enhanced Network for Global Innovative Education)」を策定し、2020年度から新たに実施しています。このENGINEの推進により、発信力・自己表現力・コミュニケーション力を備えた世界で活躍する人材を育成します。

ENGINEの取組

ENGINEでは、“学部・大学院生の全員留学”を目指して、留学プログラムや留学支援体制を強化するとともに、外国人教員の増員等による教育改革や留学中でも科目履修が継続出来る教育環境整備等を行います。具体的には、次の取組を行います。

01 海外留学環境の充実

国際的な感覚を身に付けることを主な目的とし、学部学生・大学院生ともに、留学を必修化します。留学目的や語学力に合わせた多様なプログラムを全学及び部局で設置するとともに、留学支援職員を配置し、プログラム実施を支援します。

02 グローバル教育の充実

世界のコミュニケーションツールである英語を、多角的に学べる環境を提供します。なお、リーディングとライティングは、論文レベルの授業を開講し、リスニングとスピーキングは、イングリッシュ・コミュニケーションを拡充し、実践型教育を実施します。また、外国人教員を新たに採用し、部局の特性に合わせた英語教育を行います。

03 スマートラーニングの実践

eラーニングを活用した教育システムである「スマートラーニング」により、いつでもどこでも学べる環境の整備を行います。



国際社会の様々な分野において真のリーダーとなるグローバル人材の育成



グローバル千葉大学の新生
—Rising Chiba University—



千葉大学は、平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学等事業『スーパーグローバル大学創成支援』」のタイプB(グローバル化牽引型)に採択されました。本事業は、我が国の高等教育の国際競争力の向上のため、大学改革により徹底した国際化を進める世界レベルの教育研究を行うトップ大学や、国際化を牽引するグローバル大学に対して文部科学省が支援を行うものです。

スーパーグローバル大学創成支援への採択を受け、グローバル化教育のためには「人間力のある人材の育成」が必須であると再認識し、日本を理解し日本をアピールできるグローバルな人材を育成するための様々な取組を実施していきます。

01 人間力育成のための3つの力

千葉大学は人間力のある人材の育成を強化します。人間力とは、様々な事象を俯瞰し、そこからの新たな発見をもとに、エキスパートとして実践する力です。千葉大学はこの人間力がグローバル人材になるうえで大変重要な力であると考えています。

02 千葉大学を新生する4つの改革

- ・ガバナンス改革による新生
- ・学修制度の改革による新生
- ・プログラム改革による新生
- ・グローバル・ネットワーク改革による新生

03 千葉大学を新生する4つの独自目標753 (シチゴサン)+1(タスイチ)計画

- 7 — 700科目の英語での授業を実施
- 5 — 50%— 入学定員の半分(1,200人)が留学
- 3 — 3,000人の外国人留学生を受入
- 1 — 10%— 入学定員の10%(240人)を多様な入試で受入

平成28年4月から、全学的にターム制
(6ターム制)を導入

ターム制(6ターム制)を導入することにより、ギャップタームを創出し、留学、インターンシップやボランティア等、学生の多様な社会体験の機会を確保します。

新たな学修支援専門職“SULA”で
テラーメード教育を実現

学修支援や関連する専門的業務を行う新しい専門職として“SULA(Super University Learning Administrator)”を創設しました。学生の学習計画・支援・実施・フォローを行い、個々のニーズに即したテラーメードな学修支援を行うことで、実質的な学修時間の確保に繋げていきます。

ショート・プログラム(サマー・ウィンタープログラム)で
留学生数を拡大

海外からの短期留学生数を拡充するため、ショート・プログラムを実施しています。“Cool Japan”等、各学部・大学院による多彩で魅力的なコンテンツを開発し、多様なプログラムを提供していきます。

グローバル人材育成プログラム
—skipwise(スキップワイズ)—

skipwise(スキップワイズ)は、学生の皆さんが将来グローバル人材として各方面で活躍できるよう応援するプログラムです。

skipwiseプログラムとは?



Skip & skip

飛び入学や早期卒業を駆使した多様な修業年数を持つグローバル・プログラムの実施

Knowledge stock

グローバル社会で活躍するための素養を身につける教育プログラム「国際日本学」の設置

International support

イングリッシュ・ハウスの活用、コミュニケーション英語の実施、海外留学情報の提供・支援


Professional experience

国際的なインターンシップやボランティア活動への参加支援

世界展開力強化事業とは

大学の世界展開力強化事業は、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指し、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行うアジア・米国・欧州の大学との国際教育連携の取組を支援することを目的として、文部科学省において平成23年度から開始された事業です。

01 新たな学びを実現し、専攻を自ら創造できる人材を育成
COIL※を使用した日米ユニーク・プログラム (JUSU)

 千葉大学と米国4大学の特色や強みを活かしたユニークな分野で、オンラインを活用しながら、アクティブラーニング型講義を展開します。日米の学生が各専門分野を教え合う双方向協働教育を行うことで、自分の専門にとらわれることのない学びを実現できる人材を育成します。

※COIL：オンライン国際協働学習
事業支援期間：平成30～令和4年度

02 未来農業のスペシャリストを育成
極東ロシアの未来農業に貢献できる領域横断型人材育成プログラム (FARM)




未来農業は、生産過程に加えて、流通・消費などを含めた「次世代6次産業」を体現するものであるため、極東ロシアにおいて食料生産から流通・販売ビジネスまで含めた未来農業を理解でき、日露の共同事業に貢献できる人材を育成します。

事業支援期間：平成29～令和3年度

世界展開力強化事業が前身となったプログラム

03 農学+工学のイノベーション人材を育成
植物環境イノベーションプログラム (CAPE)

 植物環境に関わる産業は、第6次産業に第4次産業も加わり進化することが予測できるため、中国・韓国の3大学と連携し、園芸学(農学)と工学の両方の領域に長けた、植物環境のイノベーションを企画・提案・実施できる人材を育成します。

04 中米と未来の生活を考える！
ポスト・アーバン・リビング・イノベーション・プログラム (PULI)



日本の学生がメキシコやパナマの学生とともに世界の都市圏が抱える課題を考え、未来の快適な都市を創造するプログラムです。本学における学習と、海外学生との日本及び中米でのグループディスカッション等を通して、グローバルな視点で課題解決ができる能力を養います。文系・理系の人材が協働し、企業と同じプロセスでプログラムを実施します。

05 ASEANで教育体験！
ツイン型学生派遣プログラム (TWINCLE)



教育学(部)研究科と他学(部)研究科の学生がペアを組んでASEAN諸国を訪問し、現地の小中高等学校で先生となり、本学で行われる先端科学研究や日本文化についての授業・実験をすることにより、グローバルマインドを持った人材(教員・研究者)を育成します。平成24-28年度事業に採択され、中間、最終評価ともにASEAN諸国との架け橋となる人材の育成事業として「S」評価を獲得しました。大学独自の全学型プログラムとして1,000人を超える学生交流を実現し、現在はオンライン交流プログラムも実施しています。

06 日米欧でデザインを学ぶ！
大陸間デザイン教育プログラム (CODE)



学部3.5年+修士2.5年の6年間の学修年限の中で、1年間米国+欧州に留学してデザインを学びます。各国の特徴あるデザイン教育を通し、将来の産業を創成するグローバルなデザイナーを育成します。平成23-27年度事業に採択され、最終S評価を受けました。現在は、デザイン・コースの独自プログラムとして実施しています。

<https://www.cfs.chiba-u.ac.jp/>

- <文学部>
- <理学部>
- <工学部>
- <園芸学部>

先進科学プログラムとは

先進科学プログラムは、高校2年修了後に大学に入学(春入学)または高校3年9月から入学(秋入学)し、早くから科学分野の専門的な勉強を進めることで、将来、独創性の豊かな科学者・研究者になり、世界に羽ばたく若者を育てるものです。プログラムでは1年次から独自の授業を用意しており、選抜された学生は学部学科でのカリキュラムに加えてこれらの授業を履修します。卒業生たちは国内外の大学院で学び、研究機関や民間企業で活躍しています。「飛び入学」や「飛び級」は世界的に見ても各国で採用されており、若い才能を発掘し、科学者の育成において実績を残しています。

6つの分野

・物理学関連分野

物理学は、自然現象の奥にある普遍的な法則を探る学問です。対象は幅広く、素粒子や原子核といったミクロの世界から広大な宇宙空間にまで及びます。自然科学の根幹をなす法則を深く理解し、研究者を目指す学生のためのプログラムです。

・化学関連分野

化学は、日常生活で目にする素材から自然の中の生命体に至るまで、物質や生命の成り立ちや働きを理解するために、様々な物質の構造・性質及び物質相互の反応を研究する学問で、本分野は化学の研究者を目指す学生のためのプログラムです。

・生物学関連分野

生物学は、DNAやタンパク質を用いたミクロレベルの内容から、細胞・個体、生物集団・環境・進化といったマクロレベルの内容までを網羅し、生命の不思議を多角的に理解する学問です。生物学先進クラスでは、1年次から最新の研究にふれるプログラムを通して、将来の研究者を養成します。

・工学関連分野

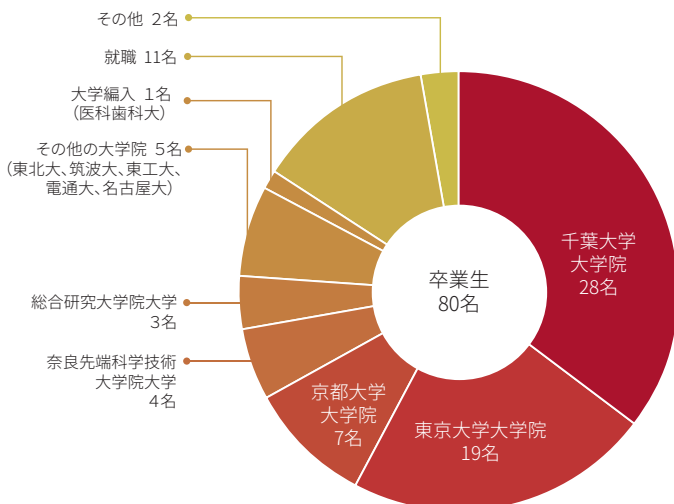
工学の多様な研究領域で、これまでにない新分野を開拓できる研究者や技術者を養成するプログラムです。その分野は、建築学、都市環境システム、デザイン、機械工学、医工学、電気電子工学、物質科学、共生応用化学、情報工学など多岐に渡ります。

・植物生命科学関連分野

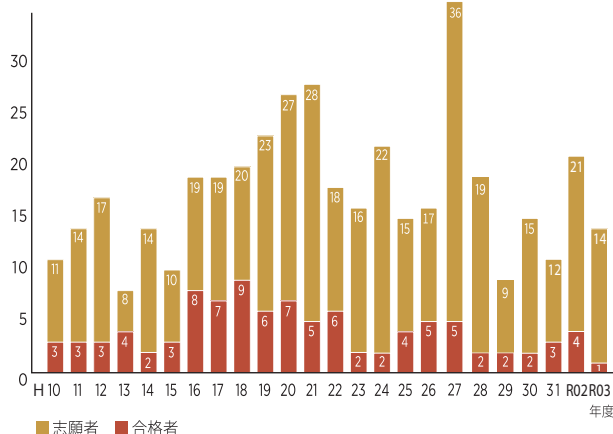
植物生命科学は、植物や微生物などの生命現象や関連する物質の構造や機能を分子レベルで探求する学問です。植物などの生物資源や関連する生体分子を対象として、生命現象のメカニズムや生体分子の機能を化学的・生物学的手法を用いて解明します。

・人間科学関連分野

人間の心や社会・文化を自然科学の手法で学びます。「自分はなぜ人間なのか?」という哲学的な問題を、情報処理の観点から理解したり、物を見て解釈する仕組みを目や脳の機能と関係づけて解明したりするなど、新しい科学を対象とします。



<卒業時の進路(令和3年3月末現在)>



<志願者数と合格者の推移(令和3年3月末現在)>

本学では、国際未来教育基幹高大接続センター（センター内に、高大連携支援室、次世代才能支援室を設置）を中心にして、高大接続に関する様々な活動を行っています。

高校生理学研究発表会

高校生理学研究発表会は、高校生の理科（物理・化学・生物・地学）、数学・情報に関する先進的かつ創造的な研究活動とその発表を支援する目的で実施しています。平成19年度から本学が主催しており、令和2年度で14回目の開催となりました。この発表会は、高校生が日頃の研究活動の成果を発表する絶好の機会になっています。



会場風景：千葉大学体育館（令和元年度：第13回）

スーパーサイエンスハイスクール（SSH） 科学技術人材育成重点枠（高大接続）

グローバルなプロジェクトを牽引する次世代型科学技術系リーダーの創出を目的として、千葉県内の高等学校5校（県立船橋高等学校、県立柏高等学校、県立木更津高等学校、県立佐倉高等学校、県立長生高等学校）と本学でSSHコンソーシアム千葉を組織し、平成31（令和元）年度から新たな研究開発に取り組んでいます。地球規模の諸問題を解決に導けるような自立した研究力と世界中の科学者とディスカッションが行えるグローバルコミュニケーションスキル（GCS）を身に付けた人材の育成を目指します。



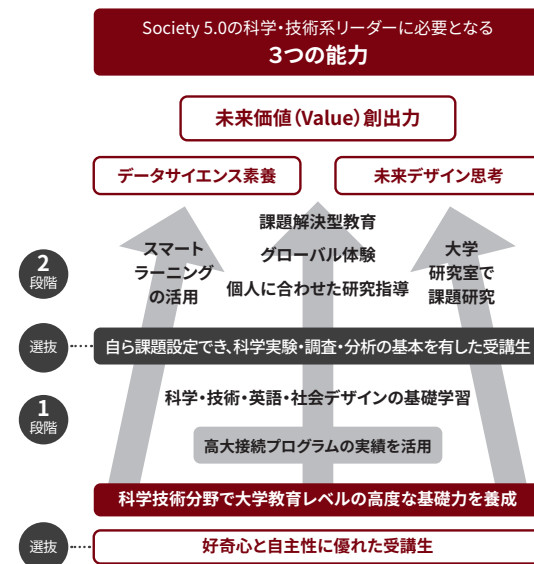
プレゼムの風景（オンラインによる研究発表及び研究指導）

Society 5.0を創出する未来リーディング人材養成 ASCENT Program

Society 5.0を創出する未来リーディング人材として、予測不可能な未来を切り拓くことのできる課題解決型科学技術人材の養成を目的として、令和2年度から本プログラムに取り組んでいます。

20年以上にわたる飛び入学の実績、大学独自で行う科学技術分野に係る全国的な課題研究コンクールの実績、高校生に対する科学技術分野に係る大学レベルの教育、特に優秀な学生に対する国際研究発表会などの高大接続に係る実績を活用しつつ、データサイエンス及びデザイン思考を涵養する教育を実施することにより、合意点（正解の無い答え）を生み出していく力を持ったグローバル人材の養成を目指します。

※国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）採択事業
グローバルサイエンスキャンパス（GSC）



講座の様子：教育学部（令和2年11月）

<https://www.ll.chiba-u.jp/> ・ <https://alc.chiba-u.jp/>

「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を創造するために、平成23年度に附属図書館、総合メディア基盤センター（現・統合情報センター）、普遍教育センター（現・全学教育センター）によって「アカデミック・リンク」が立ち上げられました。平成29年度からはそれまでの成果をもとに機能の拡張が図られ、深い専門性と俯瞰的思考力を備えた「知のプロフェッショナル」の育成を目標としています。このコンセプトのもと、静かな学習環境だけでなく、議論や発表のできる空間、紙や電子による教材やコンテンツ、そして学生の学びへの人的なサポートを中心に、デジタルリソースを活用した学

術的活動を支援する情報資源の提供や、大学院生向けセミナーや英語の論文等に関する個別相談などの大学院生に向けた支援なども行っています。さらに令和元年11月には、附属図書館松戸分館の増改築により、松戸キャンパスでも「アカデミック・リンク」の本格的な展開を開始しました。

平成27年7月、アカデミック・リンク・センターは教育関係共同利用拠点として認定されました（平成28年に再認定）。令和元年度より文部科学大臣認定「職業実践力養成プログラム」（BP）にも認定され、これからの大学に必要とされる新たな専門的職員としての教育・学修支援専門職の確立と養成を行います。

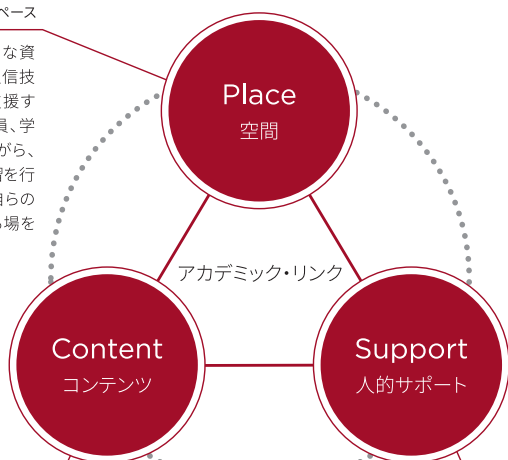
考える学生を創造するための3つの機能

アクティブ・ラーニング・スペース

学生の皆さんが、様々な資料、コンテンツ、情報通信技術、あるいは学習を支援する人々（教員、図書館員、学生）を最大限活用しながら、グループや個人で学習を行うのにふさわしい場、自らの学習の成果を公表する場を提供します。



アクティブ・ラーニング・スペース



コンテンツ・ラボ

授業の事前事後学習やさらにその主題について掘り下げて学習するために有益な図書類やWebサイトを案内する『授業資料ナビゲータ』を強化するとともに、『授業資料ナビゲータ』で提供される資料や授業で使う教材の電子化、授業そのものの録画などを行い、これらの学習に資するコンテンツをラーニング・マネジメント・システムを介して円滑に提供します。



コンテンツ・ラボ

ティーチング・ハブ

ラーニング・マネジメント・システムの運用を支援するとともに、教材の電子化や情報通信技術の教育への応用などのためのファカルティ・ディベロップメント(FD)、アクティブ・ラーニング・スペースで活動するスチューデント・アシスタント(SA)の育成を行います。



ティーチング・ハブ

目的

考える学生の創造

「生涯学び続ける基礎的な能力」
「知識活用能力」を持つ学生の育成

本学の研究戦略～グローバルプロミネント研究基幹の設置～

千葉大学では、第3期中期目標期間中において研究戦略を着実に実施し、本学の研究の核となる新規性・独創性を備えた多様で発展性のある研究群を長期間に渡り継続的に創出するシステムとして、平成28年4月に「グローバルプロミネント研究基幹(以下「GP基幹」という)」を設置しました。

GP基幹は、「世界レベルの研究推進」及び「次世代を担うイノベーションの創出」を推進するとともに、国立大学に対する社会的な要請である「イノベーション創出人材の育成」や「融合分野・新領域創出の基礎となる幅広く多様な学術研究の継承・発展」等への貢献を目的としています。そして、研究IR(Institutional Research)によって明らかとなった本学の戦略的・重点的推進研究分野において、分野横断的に実施される先導プロジェクトを推進するために重点的な支援を行っています。

グローバルプロミネント研究基幹の概要

GP基幹には、世界レベルの研究の創出とそれに基づく国際的卓越研究拠点の形成を進める「研究部門」及び、次なる本学の重点推進分野を育成する「次世代研究インキュベータ」の2階層の研究推進部門を設けており、双方に複数の研究プロジェクトを配置しています(右図)。

そして、各プロジェクトに対して、①「戦略的重点研究強化プログラム」及び②「リーディング研究育成プログラム」の2つの「オーダーメイド方式」による重点支援を行っています。

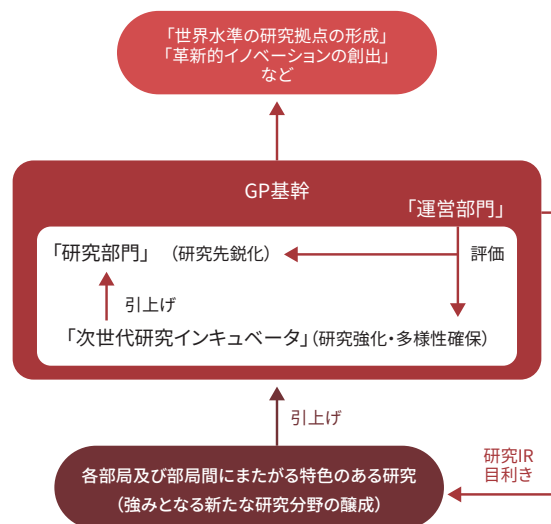
01 戦略的重点研究強化プログラム(トップダウン型)

本学の「強み・特色」研究の中から、本学の研究の核となる「重点推進分野」として指定した3つの先鋭的研究プロジェクトを含む、学長が指定した6プロジェクトに対する重点的な支援プログラムです。これらのプロジェクトでは、先端的研究拠点とのネットワーク構築と国際共同研究の推進、外部資金の獲得による研究力強化を行い、国際的卓越研究拠点の形成を目指しています。

02 リーディング研究育成プログラム(ボトムアップ型)

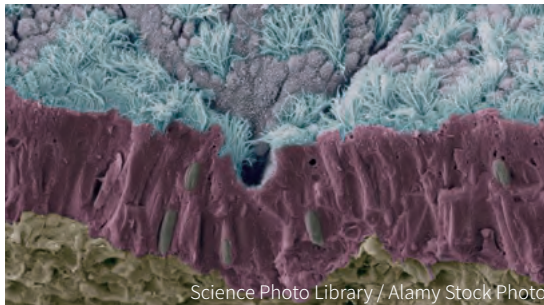
近い将来に本学の研究の核となり得る重点研究グループを創出することを目的として、ボトムアップ方式により選定されたプロジェクトに対する支援プログラムです。世界水準の研究を推進する中堅・若手研究グループから推進対象を選定して多面的な支援を行い、研究型総合大学を志向する本学の強み・特色の強化と多様性を確保します。

GP基幹は、本年度設置から6年目を迎えました。これまでの本取組による研究成果を集大成するとともに、千葉大学の更なる研究力強化を目指して、世界レベルの研究の創出とそれに基づく国際的卓越研究拠点の形成を実現するための一層の研究強化支援を進めていきます。



- 国際粘膜免疫・アレルギー治療学研究拠点形成事業
学長 中山 俊憲

粘膜の免疫力を上げ、病原体の侵入を未然に防ぐ
重篤な感染症やアレルギーを予防するため、次世代型の粘膜ワクチンを開発する



- キラルな光で拓く革新的物質科学
大学院工学研究院 教授 尾松 孝茂

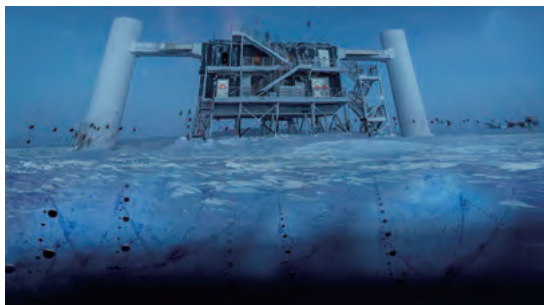
光の左右非対称な掌性を使って、新分野の確立を目指す
新素材を創り出すため、構成要素が同じでも構造が異なる性質を光の中で解明する



- 世界最高感度のニュートリノ観測と数値シミュレーションで切り拓く
高エネルギーハドロン宇宙国際研究拠点形成
ハドロン宇宙国際研究センター 教授 吉田 滋

ニュートリノの観測で宇宙の起源を探る

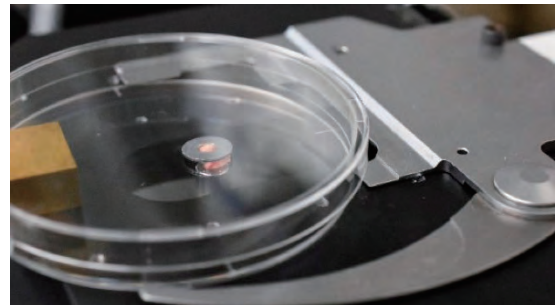
南極点の氷の中で検出されるニュートリノと数値シミュレーションにより、宇宙誕生の仕組みを探る



- マルチモーダル計測医工学
フロンティア医工学センター 教授 羽石 秀昭

画像による疾病診断の手法を開発する

身体に負担の少ない診断を実現するため、複数のスキャニング技術を使った高精度な画像検査法の開発を進める



- 先端マイクロ波リモートセンシング拠点形成
環境リモートセンシング研究センター 教授
ヨサファット・テトコ・スリ・スマンティヨ

宇宙から地球の地盤を観測する

災害地域の環境を正しく把握するため、宇宙から地球の地盤をモニタリングする小型衛星とリモートセンシング技術を開発する



- ファイトケミカル植物分子科学
植物分子科学研究センター 特任教授
齊藤 和季

植物が作る多様な化学成分の可能性を引き出す

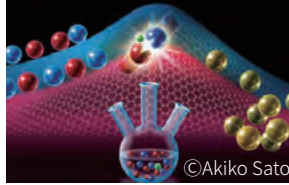
植物由来の化学成分が人の健康に与える作用について最新の遺伝子・ゲノム技術を駆使して検証する



- 先導的ソフト分子の活性化と機能創製
大学院理学研究院 教授 荒井 孝義

触媒で未来型のスマート材料を創り出す

ソフト分子からなる触媒を通して、物質の形や機能を自在に変えられるスマート材料を開発する



- 次世代3次元映像計測技術の創成と応用
大学院工学研究院 教授 下馬場 朋禄

視覚が捉える像を超える未来の動画を創り出す

医療・教育・エンターテインメントの現場での応用を見据えた3次元映像計測技術を確立する



- 癌の本態解明および臨床応用へ向けた小分子開発を行う癌エピゲノム拠点
大学院医学研究院 教授 金田 篤志

癌をその原因から絶つ薬剤を開発する

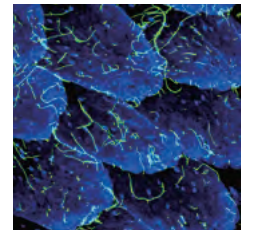
癌の原因となるエピゲノム異常部位を特定し、癌化を抑制する薬を開発する



- “超個体”の統合的理解に基づく次世代型「感染制御学」研究推進拠点
真菌医学研究センター 教授 米山 光俊

微生物と共存して健康を維持する

宿主の免疫システムと共生微生物との相互作用を解析し、感染症と自己免疫疾患への新たな治療法につなげる



- 学際的社会科学による未来型公正社会研究
大学院社会科学研究院 教授 水島 治郎

より公正な世界に向けた政策の立案を支える

現代のグローバル社会の中で生きる人々の課題を把握し多様性を尊重する新たな原則を探る



- 先進的骨伝導技術を基盤としたコミュニケーション促進機器の研究開発
フロンティア医工学センター 教授 中川 誠司

補聴器を超える 革新的骨伝導技術を生み出す

骨導超音波と軟骨伝導の知覚メカニズムを解明し、新たなデバイス開発につなげる



- 希少・難治性疾患に対する革新的治療創生研究
大学院医学研究院 教授 本橋 新一郎

難治性疾患の患者に希望をもたらす

分野横断型の研究ネットワークにより希少・難治性疾患に対する治療法を開発する



- IoTリンパ浮腫モニタの実用化による早期診断・治療と病態の解明
大学院工学研究院 教授 武居 昌宏

リンパ浮腫の視える化で 患者の苦痛を取り除く

低コストかつ簡易に使える機器を開発し、早期発見と病状の適切な把握を実現する

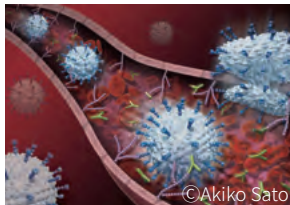


○ 千葉大学糖鎖創薬研究拠点の
創薬シーズ探索への展開

大学院薬学研究院 教授 川島 博人

糖鎖の役割を解明して免疫療法に役立てる

糖質科学と医学を結びつけ、新たな免疫療法を構築し創薬につなげる



©Akiko Sato

○ 質感・情動イメージングの創成

大学院工学研究院 准教授 津村 徳道

情動を理解しリアルな質感を再現する

人の脳が画像の質感をどう認識するかを調査し、多様な産業を支えるための知見を提供する



©Akiko Sato

○ 日本の多文化共生社会構築へ向けた
移民・難民研究

大学院社会科学研究院 教授 小川 玲子

外国にルーツを持つ人たちと生きる

グローバルな人の移動とローカルな実践を結び、多文化共生のための課題を明らかにする



iStock.com/nicomenijes

○ 生命金属の統合的理解と革新的利用の
研究拠点形成

大学院薬学研究院 教授 小椋 康光

生命金属の機能を理解し疾病の予防や治療に役立てる

周期表上の個々の金属の特性を理解し、生命科学分野に応用する



©Akiko Sato

○ 小地域推定の統計手法開発と社会科学への応用

大学院社会科学研究院 准教授 小林 弦矢

小地域推定でデータセットを精緻化させる

時間と費用を抑えながら、限られた情報の精度を高めるための統計技法を開発する



©Akiko Sato

○ 心理学・精神科学の

デジタルメンタルヘルス研究拠点

子どものこころの発達教育研究センター 教授 清水 栄司

日本の認知行動療法を成長させる

不安症やうつ病の症状を軽減できるよう、職場や学校やオンラインで、メンタルヘルスケアの機会を開く



©Akiko Sato

○ 複雑分子合成技術・分子設計・探索技術の革新と
融合が拓く分子治療学ケミカルサイエンス研究拠点

大学院薬学研究院 教授 根本 哲宏

有機合成化学と計算化学の融合で新たな創薬科学研究を切り拓く

有機分子の合成・設計・探索技術の先鋭化と融合を基盤に、疾患制御を志向した医薬機能分子を開発する

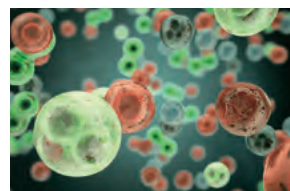


○ 幹細胞老化の病態解明と新規再生医療

大学院医学研究院 准教授 高山 直也

老化現象を理解し「健康的な」老化に貢献する

老化関連疾患を理解し、新規治療法を確立する



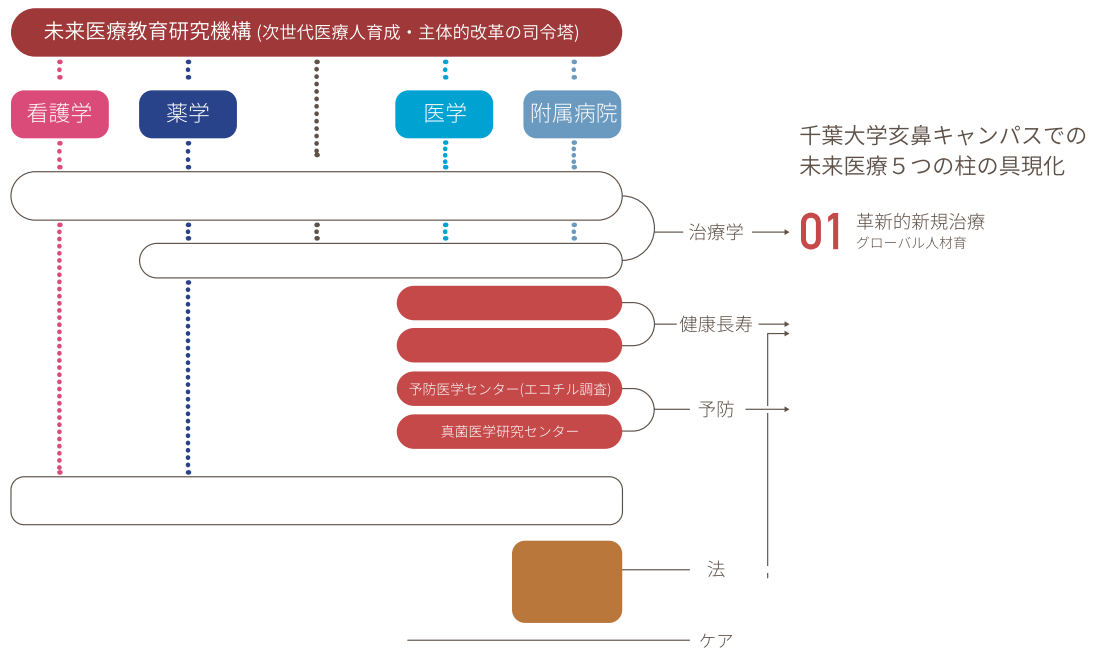
次世代対応型医療人育成と「治療学」拠点創成のための亥鼻キャンパス高機能化構想

持続可能で、より良い世界を目指す国際目標として、2015年に国連サミットで「持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals)」が設定されました。ここで掲げられた17のゴールの中には、「全ての人に健康と福祉を(ゴール③)」という保健課題と、「質の高い教育をみんなに(ゴール④)」という教育課題が含まれています。医療系3学部を有する千葉大学では、このようなニーズに指導者として対応できる医療人(医師、看護師・保健師・助産師、薬剤師、研究者など)を育成し、社会の期待に応えていくことが急務となっています。このような状況を踏まえ、亥鼻キャンパスでは、「治療学」という新しい学問領域:「予防、診断のみならず治療の理論及び新規治療法の開発を系統的に研究し、グローバルな実践展開をはかる学問」の推進を最重要課題として高機能化を図ることとしています。

千葉大学は医療系3学部(医学・薬学・看護学)と附属病院が一つのキャンパスに結集した唯一の国立大学であるという特徴を生かし、亥鼻キャンパスでは、未来医療教育研究機構を司令塔として、医療関連課題のSDGsの達成を目指し、医療イノベーション創出とグローバル化に対応するための教育研究組織改革及びガバナンス改革を強力に加速し、次世代の多様なニーズに応える医療人育成機能強化を果たすとともに、全学に改革を展開します。

全国の医療系大学を先導する亥鼻IPE

亥鼻IPEは、2007年から看護学部・医学部・薬学部の3学部が連携・協働して行っている教育です。2015年からは亥鼻高機能化構想に組み込まれ、専門職連携教育研究センターを拠点とし、他の専門職と連携・協働し、患者・サービス利用者を中心とした診療・ケアができる自律した医療組織人を育成しています。亥鼻IPEは日本のIPEを先導し、実績を蓄積してきました。現在、IPEは全国の医療系大学に広がっています。また2017年からは工学部医工学コースの学生も含め、必修科目とし運営しています。医学部附属病院や近隣の病院、地域の診療所や調剤薬局、訪問看護ステーション、障害者施設などのご協力を得て、連携協働体験学習を行っています。この取り組みは高機能化が進展する亥鼻キャンパスにおいて、専門職と専門職が信頼関係を構築し、より良い医療を提供することに貢献する人材の輩出に貢献しています。2020年度までに合計2734名が亥鼻IPEの全ての必修科目(Step1~4までの段階的プログラム)を受講しました。



<https://imo.chiba-u.jp/>

イノベーション創出のための新たな産学官連携拠点



INNOVATION MANAGEMENT ORGANIZATION

内閣府「令和元年度国立大学イノベーション創出環境強化事業」への採択を得て2020年4月に創設された学術研究・イノベーション推進機構

(Academic Research & Innovation Management Organization: IMO) は、2021年4月に西千葉キャンパスに多機能を誇る新拠点となるIMO棟をオープンしました。ベンチャー支援、組織を超えた連携によるオープンイノベーション、研究推進・交流、企業誘致の拠点などとしてIMO棟を活用していきます。

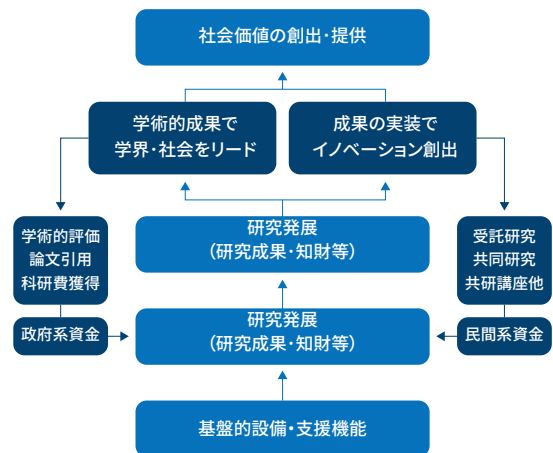


IMO棟前にて、徳久前学長(左)と中山学長

イノベーション・エコシステムの創出を目指して

IMOはこれまで千葉大学の研究推進・産学官連携を担ってきた学術研究推進機構の機能と役割をさらに発展させ、基盤となる学術研究の一層の推進に加えて、産学官連携による研究成果の社会実装を通してイノベーション創出に必要な機能をワンルーフに集約した組織です。URAの配置や企業等とのコーディネート活動の強化等により、産業界との連携研究の推進に向けた様々な取り組みを担うとともに、本学の研究戦略の立案から研究者支援を通じた具現化まで一体的かつ一気通貫の活動を展開します。

設立初年度のIMOは、千葉県内外の産学官連携イベントでの新組織の紹介に加えて、地域の金融機関と連携した大学の研究シーズのマッチング会等にも参加、学内向けには、教員・学生向けに特許調査に関する基礎的な知識・技能が習得できる「特許検索競技大会2020」を開催しました。



イノベーション創出のためのスペースの提供

新たな組織とスペースの機能活用により、千葉大学や周辺教育機関の教員・研究者・学生に加え、地域の民間企業研究者、ベンチャー関係者、個人起業家、周辺自治体関係者などのネットワーキングや協働を促進し、共同研究等によるイノベーション創出を加速させていきます。



オープン・イノベーション・スペース

コミュニティ・イノベーションオフィス(OCI)の概要



OCIは、文部科学省COC、COC+事業による大学と地域の連携事業の推進組織として平成27年に設置されました。補助事業終了後の令和2年度以降は、包括連携を締結した県内自治体や企業等と地域活性化・地方創生に関する教育・研究・社会貢献事業の運営や調整を行っています。また、台湾をはじめとした海外交流協定校と連携した教育プログラムを新設し、国際連携を進めています。なお、千葉大学COC+は文部科学省の事後評価でS評価を受けました。

県内自治体、企業等との地域連携事業

横芝光町、長柄町、南房総市、芝山町を中心に、自治体、地域企業、公的機関等との産官学連携による地域志向型の教育実践や研究を行っています。地域でのPBL・実践型科目では、観光、健康、移住定住など、テーマごとの課題解決提案を学生が主体となって行います。また、自治体、企業との受託・共同研究の推進、JSTのマッチングファンド(OPERA)の活用など、教育や研究のための外部資金の獲得に努めています。平成30年には、地域活性化のための研究成果活用型ベンチャー「ミライラボ」を創設し、学生が地域で継続的に活動するための環境づくりを多方面で進めています。

全学副専攻プログラム「ローカル・イノベーション学」

地域課題解決のための幅広い教養と判断力を総合的に学ぶ全学副専攻プログラム「ローカル・イノベーション学」を開講しています。年次ごとに地域と関わる度合いを変える「グラデーション定着学習」を導入し、副専攻を修了した学生は地域の産業振興や地域志向のプロフェッショナルとして、公務員、コンサルタント、研究者等のキャリアに進みます。さらに、OCI内のインキュベーション機能を活用し、まちづくり会社やNPOなどでのアントレプレナーとしての活躍も期待されます。

千葉の地域から国際連携への展開

OCIでは千葉大学ENGINEと連動させ、台湾をはじめとした海外交流協定校との国際志向型教育実践への取組を始めました。「台湾千葉ローカルPBL」は、千葉大学の学生が台湾の5つの大学に留学し、地域課題解決に取り組みながら、地方創生の推進や持続化の地域づくりを実践的に学ぶ新規科目です。令和2年度には、県内関係機関や台湾の大学と連携した「千葉に台湾をインストールしよう!『千葉台湾地方創生プランコンテスト』」を開催しました。歴史・文化・慣習など、台湾にちなんだ「何か」を千葉と関連づけ、新商品開発・観光プラン・国際交流など、千葉の地域を活性化する地方創生プランを募り、3組の学生チームが受賞しました。今後も、ローカルとグローバルの融合による地域活性化・地方創生の取組をより一層推進していきます。



学生によるサイクルツーリズム提案の実地調査(芝山町)



千葉大アイス開発に向けた生産者へのヒアリング(横芝光町)



地域ブランディングをテーマとした課外授業(長柄町)

世界に認められた
学生主体の環境への取り組み

01 環境・エネルギーマネジメントシステムの国際規格を認証取得

千葉大学は、平成16年度から主要4キャンパス(西千葉、松戸、柏の葉、亥鼻(附属病院除く))で環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、維持してきました。さらに、平成25年度には全国の大学で初めて、エネルギーマネジメントの国際規格ISO50001を取得しました。近年は環境だけでなく、持続可能な開発目標(SDGs)に貢献するための活動を積極的に行っています。

02 「環境ISO学生委員会」が主体となって、大学のシステムを構築・運用

特筆すべきは取り組み主体が学生であること。「環境マネジメントシステム実習Ⅰ～Ⅲ」という授業の受講生(1年から3年の学生約200名)により、「環境ISO学生委員会」が組織され、学生たちは様々な企画を立て、行動し、評価し、次の活動に活かしていく経営の実務を学びながら活動を行っています。環境意識啓発活動、環境教育活動、緑化美化活動などのほか、大学のISO運用に欠かせない、内部監査や基礎研修、外部審査などの中核業務にも携わっています。また、3年間活動すると「千葉大学環境エネルギーマネジメント実務士」の資格が大学から与えられ、就職活動でも活用できます。この学生主体の取り組みが世界的にも評価され、国際グリーン・ガウン賞とISCN Awardを日本で初めて受賞しました。

近年は、京葉銀行をはじめ、複数の民間企業と協同したプロジェクトも展開しており、地域の子どもたちに対する環境教育や海・森林の保全活動、大規模な環境イベントの開催、国際会議での発表など、活動の幅が大きく広がっています。さらに、2009年にNPO法人千葉大学環境ISO学生委員会を設立し、NPOとしても地域社会に向けた様々な活動を行っています。

ISO14001 環境マネジメントシステム



教授会で環境ISO基礎研修の講師を担当



コミュニティガーデン



附属幼稚園での環境教育イベント



千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト

<https://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/>

ダイバーシティ推進部門の設置

ダイバーシティ推進のための啓発活動として、差別や偏見につながる無意識のバイアスについて学ぶ「アンコンシャス・バイアスセミナー」や、育児や介護に役立つセミナー（病児ケア勉強会、介護に役立つセミナー）等を開催しています。また、本学教職員のワーク・ライフ・バランスを支援するため、各種制度（ベビーシッター利用料補助制度、病後児保育支援制度、研究支援要員配置制度）を設け、育児や介護中でも活躍できる環境を整備しています。

ダイバーシティ推進部門の施設

女性が気軽に利用できる専用休憩室、育児、介護、ジェンダー、ダイバーシティ等に関する書籍を揃えた資料ライブラリーを整備し、希望者に貸出を行っています。



女性専用休憩室（西千葉キャンパス 国際教育センター1F）

グローバル・ダイバーシティ研究者育成事業の概要

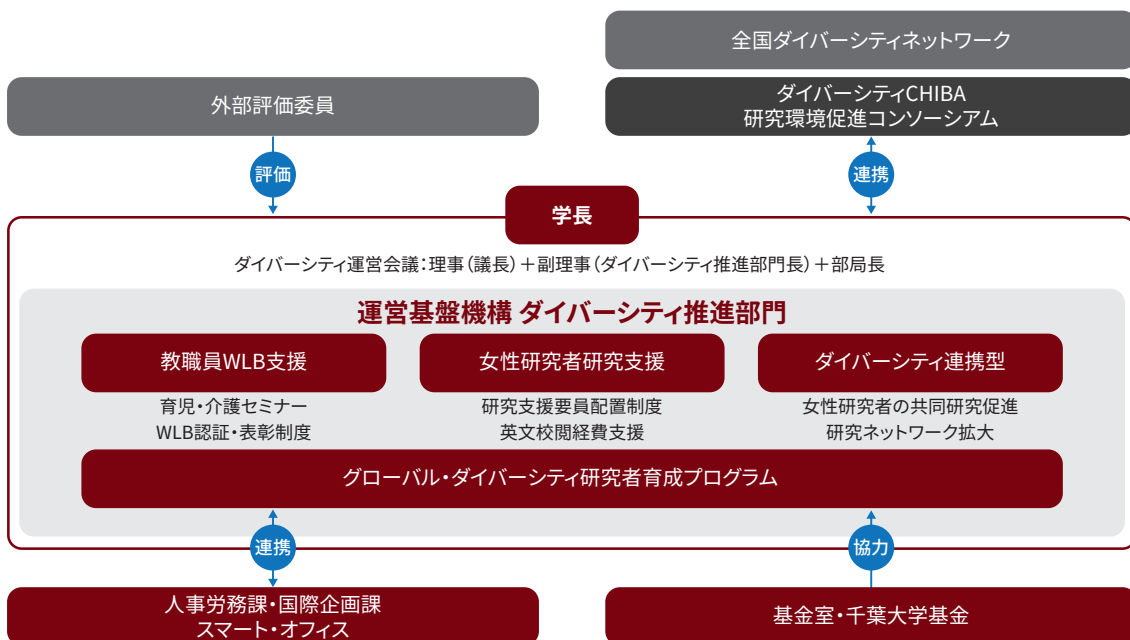
令和2年度に、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に選定されました。6年間の事業として、若手研究者や女性研究者のグローバルな研究活動を促進する支援制度を新設・拡充し、優秀な女性研究者の上位職へのキャリアパスを保証する仕組みづくりを進めています。Webサイトやニュースレターでは最新情報を発信しています。



令和3年3月9日キックオフセミナーピーター・フランクル氏講演の様子

事業運営体制

本事業は、学長のリーダーシップのもと、ダイバーシティ推進部門が中心となって、取り組みを進めています。取り組みの成果は、外部評価委員の評価を受けるとともに、女性研究者活躍促進に賛同する大学等が参加する「全国ダイバーシティネットワーク」や「ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム」を通じて、学外にも発信していきます。



I 組織・施設の整備

04.1

墨田サテライトキャンパス開設

2021年4月、東京都墨田区に「墨田サテライトキャンパス」を開設しました。

本キャンパスは、産学官連携による分野横断的デザイン教育・研究を展開するデザイン・リサーチ・インスティテュート(dri)の実践型教育・研究拠点として、リビングルームやキッチンからベッドルームに至るまでのシミュレーションスペースのほか、戸建て住宅等の検証が可能な大規模空間が整備されるなど、建物全体が実証実験空間となっています。

墨田区で地元企業を支援していた「すみだ中小企業センター」を改修し、墨田区から施設を賃借することで開設しました。大型施設の自治体からの借用は本学で初めての試みです。



医学部附属病院中央診療棟の新築

附属病院拡充整備計画に基づき建設された医学部附属病院中央診療棟が2020年秋に完成し、2021年1月にオープンしました。手術関連部門の集約化と救命救急センターのよりスムーズな連携を果たします。

詳細はP.34へ

医学系総合研究棟の新築

令和3年3月、教育研究活動の効率化と一層の発展を目指し、千葉大学亥鼻キャンパスに医学系総合研究棟(治療学研究棟)が完成しました。

完成した11階建て40,720㎡の新棟は、研究領域が異なる研究者間の交流とコミュニケーションを引き出すため、建物の端部まで人と人が視覚的につながり、明るく開放感のある施設を目指しました。1階から4階に講義室、実習室、グループ学習室、福利厚生施設等が、5階から11階には基礎系・臨床系の研究室や実験室、プロジェクト研究スペース等が整備されました。

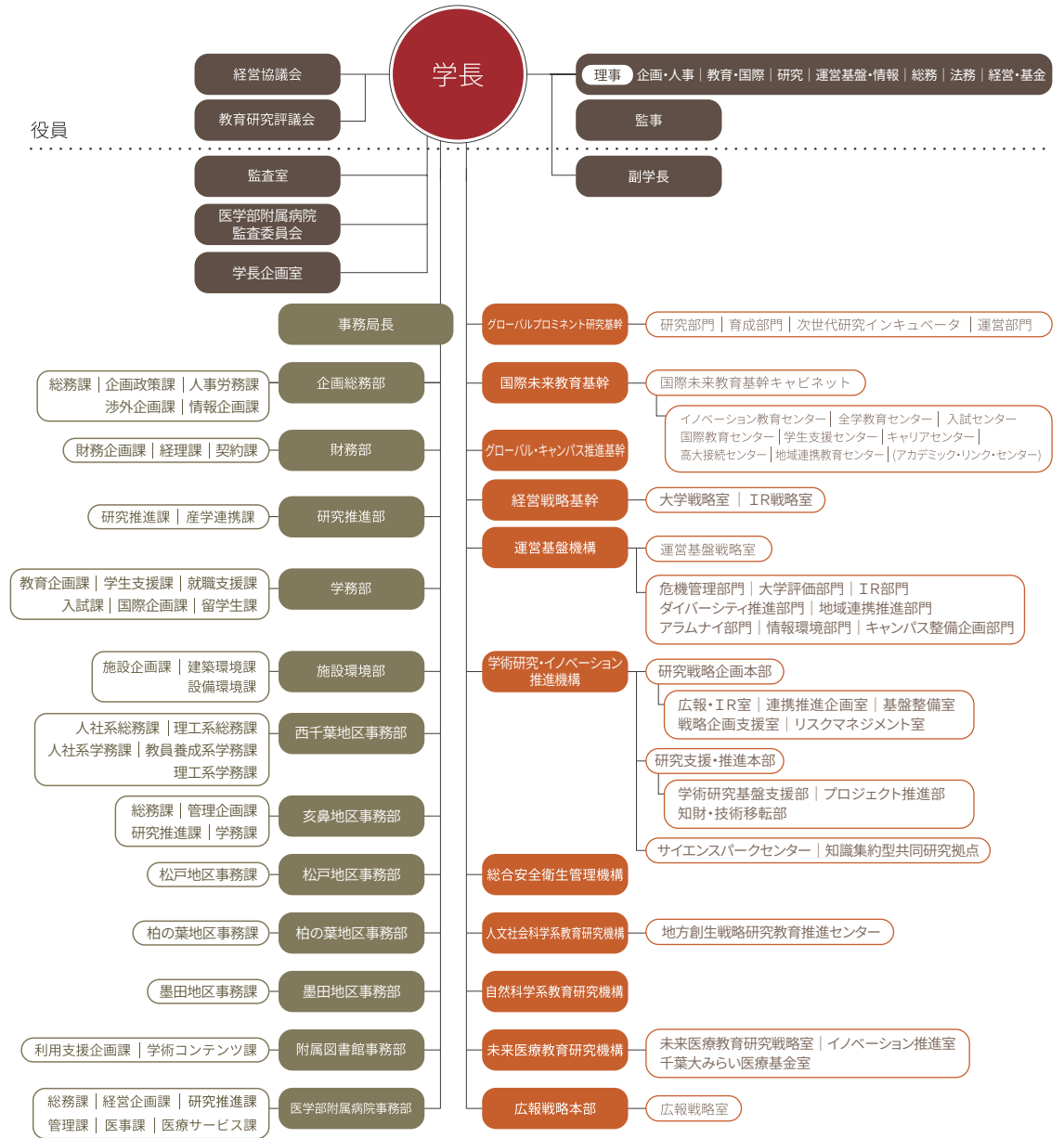


市道拡幅に伴う亥鼻キャンパス環境整備

亥鼻キャンパス南側を通る市道星久喜町線は、亥鼻キャンパスに通う学生や附属病院を訪れる患者等の重要な交通網となっています。現在、この道路は、渋滞緩和および安全な歩道空間を確保するための拡幅工事が行われており、それに合わせて新正門や境界柵等の環境整備を行っています。令和2年度には新正門が完成しました。引き続き令和3年度末まで拡幅工事に合わせて環境整備を行っていきます。



運営組織



事務組織と教育研究組織の対応表

事務組織/部等	教育研究組織	事務組織/部等	教育研究組織
企画総務部	統合情報センター	西千葉地区事務部	海洋バイオシステム研究センター
研究推進部	共用機器センター アイソトープ実験施設	亥鼻地区事務部	フロンティア医工学センター 医学部・大学院医学研究院 薬学部・大学院薬学研究院 看護学部・大学院看護学研究所・大学院看護学研究院 大学院医学薬学府 真菌医学研究センター
学務部	先進科学センター	松戸地区事務部	バイオメディカル研究センター 社会精神保健教育研究センター 予防医学センター
西千葉地区事務部	国際教養学部・大学院国際学術研究院 文学部・大学院人文科学研究院 法政経学部・大学院社会科学研究院 大学院人文公共学府 大学院専門法務研究科 大学院総合国際学位プログラム グローバル関係融合研究センター 教育学部・大学院教育学研究科 理学部・大学院理学研究院 工学部・大学院工学研究院 大学院融合理工学府	柏の葉地区事務部	未来医療教育研究センター 再生治療学研究センター 子どものこころの発達教育研究センター 植物分子科学研究センター
	ソフト分子活性化研究センター ハード宇宙国際研究センター 分子キラリティー研究センター 千葉大学・上海交通大学国際共同研究センター 環境リモートセンシング研究センター	墨田地区事務部	
		附属図書館事務部	附属図書館 アカデミック・リンク・センター
		医学部附属病院事務部	医学部附属病院



国際教養学科

国際教養学部は平成28年に設置された千葉大学で最も新しい学部であり、国立大学で初めての国際教養学部です。この世界で生起しているさまざまな課題をグローバルな視点から解決することを目指しています。文理混合の視点から、人文社会科学、自然科学、生命科学のすべての領域についてその基礎を学び、課題解決に役立てます。そのために必要な、知識・技能・方法を身に付け、国内外のフィールドで実践的な解決を模索して社会に貢献します。

国際教養学部は、広い視野と好奇心をもち、地球規模の課題解決に取り組む熱意を持った人材の育成を目指しています。多様な種類の海外体験や留学を重視した独自のカリキュラム、そして徹底した少人数教育と学修支援を通じて、国際社会に貢献できる方法を学んでいきます。

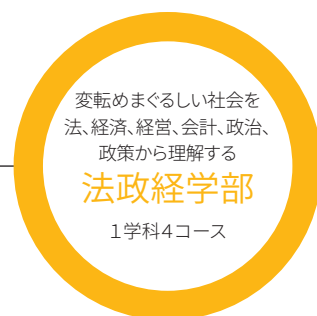


行動科学コース

歴史学コース
人文学科 日本・ユーラシア文化コース
国際言語文化学コース

自己を知り、世界を知り、自己と世界の関係について学ぶこと。自分の生きていく方向や自分を託す世界の進み方、自己と世界との関係の作り方を模索することが文学部の目標です。人間という計算り尽くせない存在を、行動、社会、歴史、言語、文化、芸術などの諸側面について様々な視点や方法を用いて学問的に追究し、探知ろうとするのが私たちの学問なのです。

文学部は4つのコースからなり、深い専門性を究めるとともに、横断的に人文科学の諸分野を幅広く学ぶことができます。そうした学問的な営みを通じて、狭い学問領域にとらわれない人文科学的素養を持ち、独創的発信力を持って社会に貢献できる人材の育成を目指しています。



法学コース

経済学コース
法政経学科 経営・会計系コース
政治学・政策学コース

法政経学部は、「社会諸科学の総合」を体現する複合学部として、全国的にも極めてユニークな学部と言えます。また、法政経学部は、グローバル化や情報化の進展する中で、社会の実態や仕組みの観察と分析、それに基く政策立案を地球規模の視点に立って行い、問題解決能力を発揮して時代をリードする指導的な人材を育てることを目標とする学部です。そのために、法政経学部においては、1学科4コース制(法学、経済学、経営・会計系、政治学・政策学)の下で、自コースの選択とコース間の横断的な授業選択を行い、主体的に専門性を深めると同時に、開かれた専門性を生かすことを通じて、社会科学の高い基礎学力が身に付けられることとなります。



学ぶ楽しさを伝える
教育者の育成

教育学部

1課程7コース

新しい発想と探究心を
友とし、自然界の未知なる
分野を拓こう

理学部

5学科16 学科目

工学は
豊かな人間社会の
構築を目指す実践の学問

工学部

1学科9コース

- 学校教員養成課程
- 小学校 国語科選修、社会科選修、算数科選修、理科選修、教育学選修、教育心理学選修、ものづくり選修
 - 小中 音楽科教育分野、図画工作・美術科教育分野、保健体育科教育分野、家庭科教育分野
 - 専門教科 国語科教育分野、社会科教育分野、数学科教育分野、理科教育分野、技術科教育分野
 - 中学校 国語科教育分野、社会科教育分野、数学科教育分野、理科教育分野、技術科教育分野
 - 英語教育コース
 - 特別支援教育コース
 - 乳幼児教育コース
 - 養護教諭コース

- 数学・情報 代数、幾何、基礎解析、応用解析、確率・統計、情報数理
- 数理学科
- 物理学科 素粒子宇宙物理学、量子多体系物理学、凝縮系物理学
- 化学科 基盤物質化学、機能物質化学
- 生物学科 分子細胞生物学、多様性生物学
- 地球科学科 地球内部科学、地球表層科学、環境リモートセンシング

- 建築学コース
- 都市環境システムコース
- デザインコース
- 機械工学コース
- 総合工学科 医工学コース
- 電気電子工学コース
- 物質科学コース
- 共生応用化学コース
- 情報工学コース

教育学部は、教育界において幅広く活躍できる指導的な教員の養成を主な目的としており、多彩な専門分野からなるスタッフが教育者の育成に力を注いでいます。学生はコース・分野・選修に分かれて専門性を磨き、現代的な教育課題へ対処できる力を身に付けるべく日常の学習を進めながら、教育実習や学校インターンシップ等を通して現場での経験を積みみます。4年間の総括として自らの教育実践を振り返りながら、卒業論文・卒業制作・卒業演奏に取り組みます。

自然科学の根底をなす基礎科学の重要性はますますの高まりを見せています。そんな基礎科学を担う理学部には5つの学科があり、宇宙・地球・生命・分子・原子・原子核・素粒子および数学・情報数理学に関する活発な研究と教育活動を実践しています。「私たちがまだ知らない自然界の不思議」を見つけ出し、真理を解き明かす能力を備えた人材の育成を目指しています。

現代社会では、豊かな暮らしを目指して効率性や利便性を追求するだけでなく、人と環境にやさしい配慮も求められています。工学部では、工学教育の伝統的な専門性を尊重しながらも、その枠を越えて互いの連携・融合を図ることにより、常に、広範な社会的要請に応えられる専門教育システムの確立に努めています。「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想して実践できる工学技術者・研究者の育成を目指します。





園芸学科	栽培・育種学、生物生産環境学
応用生命化学科	応用生命化学
緑地環境学科	環境造園学、緑地科学、環境健康学
食料資源経済学科	食料資源経済学

園芸学部は「食と緑」の総合学部として、園芸植物資源の生産・利用に関わる先端的バイオテクノロジー、環境負荷を低減する資源・エネルギーの効率的な利用、人と自然が共生する環境の保全・再生とランドスケープの創造、医学と福祉への植物の利用、園芸関連産業の経営・マーケティングと政策などの分野で、これからの社会づくりに貢献し、国際的に活躍できる人材を育成しています。また、一般的な農学部とは異なるユニークな学部として、人文社会科学にも広く領域を拡げ、常に時代が求めている最先端を包含するよう、幅広い分野について教育・研究を行っています。



医学科

医学部は140年を超える歴史の中で基礎医学や臨床医学分野の研究や診療に優れた業績を数多くあげており、日本・世界の医学をリードする幾多の指導的な臨床医・研究者を輩出してきました。最先端の基礎医学研究の成果を新しい治療法の開発に結びつける「治療学」の研究に力を入れており、最新の治療法や病める者の目線に立って医療を患者さんに届けることのできる優秀な臨床医の育成を目指しています。将来の国際的な活躍にも対応するため、海外で実習を行う実践的プログラムも準備しています。2021年4月には、新棟が完成し、新たな歴史の一步を踏み出しました。同じ亥鼻キャンパスに看護学部と薬学部が存在するメリットを活かしたチーム医療の推進、社会のニーズに対応した地域医療への貢献、グローバルに通用する能力を持った医師の養成に力を入れています。



薬学科

薬科学科

“くすり”の開発研究は、有機化学、薬理学、生化学、分析・物理化学などの生命科学の進歩による分子レベルや遺伝子レベルでの薬効発現機構の解明と化学合成、製剤技術、分子生物学、ゲノムサイエンス、情報科学などの進歩とが相まって驚くべき速さで進展しています。また、有効な医薬品の適正な服薬指導など医療の最前線での薬剤師の活躍が益々期待されています。薬学部では、6年制の薬学科と4年制の薬科学科があり、

- ①「生命」現象の物質的基盤を科学的に明らかにすること
- ② それに基づいて副作用の少ない有効な「薬」を創成すること
- ③ 医療の諸問題において指導的役割を果たす「薬剤師」になること

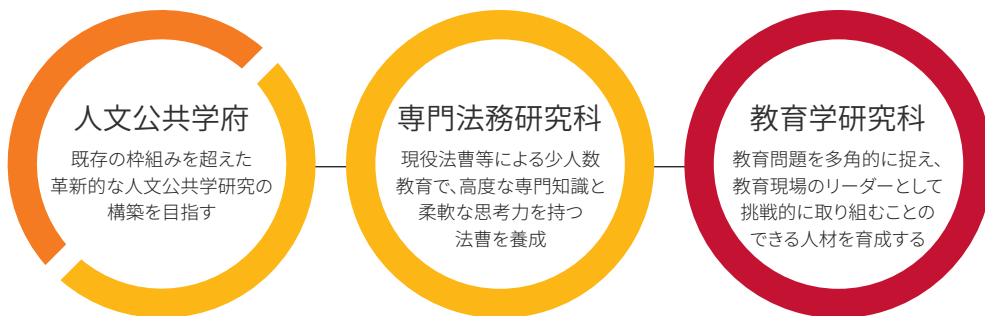
を目的に“くすり”に関係するすべての事柄を学びます。



看護学科

本学部は、国立大学唯一の看護学部です。看護学とは、一人ひとりの意思を尊重し、健康かつ安寧な生活を送ることができるように、看護専門職者（看護師、保健師、助産師）がより善い支援を行うための理論的根拠や方法を追究する学問です。本学部では、個々人と家族を支援することにとどまらず、地域社会やグローバル社会の質の向上に看護専門職者として寄与するための基礎的能力を育成しています。さらに看護実践と研究の往還に取り組むことのできる教育研究者の育成に向けて、大学院看護学研究科の教育目標に連動するよう、各学年で看護研究について学修します。社会や医療・福祉の状況が大きく変化する中での複雑な課題解決に向けて、専門職連携実践の能力育成にも重点をおいています。





人文公共学府

既存の枠組みを超えた
革新的な人文公共学研究の
構築を目指す

専門法務研究科

現役法曹等による少人数
教育で、高度な専門知識と
柔軟な思考力を持つ
法曹を養成

教育学研究科

教育問題を多角的に捉え、
教育現場のリーダーとして
挑戦的に取り組むことの
できる人材を育成する

博士前期課程 2専攻6コース

- 人文科学専攻：基盤文化、多文化共生、教育・学修支援
- 公共社会科学専攻：公共学、経済・経営学、Economics in English

博士後期課程1専攻3コース

- 人文公共学専攻：人文科学、公共学、社会科学

大学院人文公共学府は、千葉大学における人文・社会科学研究の拠点として、公共学的視点（学際性・国際性・実践性・社会性）を身に付けるカリキュラムを通じ、社会的課題の発見力と解決力、社会との対話力・発信力、多様な課題に対応できる実践力を育成し、「次世代型グローバル人材」を養成します。博士前期課程の人文科学専攻では、学修支援専門員を育成する教育・学修支援コースを設置しており、公共社会科学専攻には英語コースのEconomics in Englishコースを設置しています。博士後期課程は一専攻とし、人社融合の研究を促進しています。

専門職学位課程

- 法務専攻

専門法務研究科は、法曹養成に特化した教育を行う標準修業年限3年の専門職大学院で、一般に法科大学院と呼ばれています。本研究科は高度な専門知識と柔軟な思考力を修得した、常に生活者の視点を忘れない「心」ある法曹を養成することを目的としています。基本を重視したカリキュラムでは、年次進行にそって積み上げ式に法的専門知識を少人数・双方向の授業形式で学ぶことができます。また、経験豊かな弁護士・検察官・裁判官といった実務家教員が教育を担うとともに、千葉県弁護士会の協力の下、すべての学生に弁護士事務所で実習する機会を提供しています。なお、令和2年、法改正に従って、千葉大学法政経学部のほか、明治学院大学法学部や鹿児島大学法文学部と連携協定を締結し、これら各学部の法曹コースを修了した人が、本研究科2年コースの入試を特別選抜枠で受験できるようにしました。

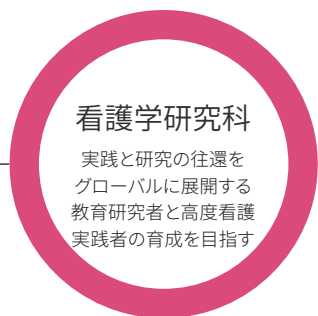
修士課程 1専攻5系

- 学校教育学専攻：教育発達支援系、横断型授業づくり系、言語・社会系、理数・技術系、芸術・体育系

専門職学位課程1専攻

- 高度教職実践専攻

教育学研究科は、学部における一般的並びに専門的教育を基礎とし、広い視野に立って精深な学識を受け、教育の理論・実践を創造的に推進し得る人材を育成するとともに教員に求められる高度な知識と実践を基礎とし、教育現場の課題について、理論と実践の融合・往還を通して実践的な指導力やリーダーとしての役割を果たす力量を備えた高度専門職業人としての教員を養成することを目的としています。



博士前期課程 5専攻16コース
 ー 数学情報科学専攻：数学・情報数理学コース、情報科学コース
 ー 地球環境科学専攻：地球科学コース、リモートセンシングコース、都市環境システムコース
 ー 先進理化学専攻：物理学コース、物質科学コース、化学コース、共生応用化学コース、生物学コース
 ー 創成工学専攻：建築学コース、イメージング科学コース、デザインコース
 ー 基幹工学専攻：機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース

博士後期課程 5専攻16コース
 ー 数学情報科学専攻：数学・情報数理学コース、情報科学コース
 ー 地球環境科学専攻：地球科学コース、リモートセンシングコース、都市環境システムコース
 ー 先進理化学専攻：物理学コース、物質科学コース、化学コース、共生応用化学コース、生物学コース
 ー 創成工学専攻：建築学コース、イメージング科学コース、デザインコース
 ー 基幹工学専攻：機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース

融合理工学府は、理学および工学分野において、両者を俯瞰し協奏を誘起できる幅広い学識と深い専門性、問題解決能力を有する高度専門人材あるいは先導的・指導的研究者を養成することを目的としています。この目的を達成するために、理学から工学にわたる5専攻の下に16のコースを置き、専門教育を行っています。さらに専攻単位での横断的教育や学府全体としてのキャリア教育・イノベーション教育の実施など理工系大学院共通教育の充実も図り、高い専門性と広い視野を涵養します。

博士前期課程 1専攻2コース10領域
 ー 環境園芸学専攻：園芸科学コース（栽培・育種学、生物生産環境学、応用生命化学、食料資源経済学）、ランドスケープ学コース（環境造園計画学、環境造園デザイン学、環境造園管理学、緑地環境システム学、緑地環境資源学、環境健康学）

博士後期課程 1専攻2コース10領域
 ー 環境園芸学専攻：園芸科学コース（栽培・育種学、生物生産環境学、応用生命化学、食料資源経済学）、ランドスケープ学コース（環境造園計画学、環境造園デザイン学、環境造園管理学、緑地環境システム学、緑地環境資源学、環境健康学）

園芸学研究科は、前期2年・後期3年の博士課程の独立研究科です。「園芸」と「ランドスケープ」を専門領域とする日本唯一の園芸学研究科として、食料資源に関する課題や健康・福祉を含む、広範囲な環境科学に関する園芸学領域の専門分野の深化はもとより、自然・社会・人文科学を含む文理融合的なアプローチによって、学際的に幅広い視野から教育・研究を行っています。本研究科の博士前期課程を修了した者には修士の学位が、また、博士後期課程を修了した者には博士の学位がそれぞれ授与されます。

修士課程 2専攻
 ー 医科学専攻：治療学CHIBAイノベーション人材養成プログラム
 ー 総合薬品科学専攻
 4年博士課程 2専攻
 ー 先端医学薬学専攻：免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム、治療学CHIBAイノベーション人材養成プログラム、革新医療創生CHIBA卓越大学院プログラム
 ー 先進予防医学共同専攻
 後期3年博士課程 1専攻
 ー 先端創薬科学専攻

医学薬学府は、従来の医学研究科と薬学研究科を改組して設立された全国で初めての医学・薬学融合型大学院教育組織です。本学府では医学研究センター・薬学研究院・真菌医学研究センター・予防医学センターの教員に加え、連携部門である放射線医学研究所・千葉県がんセンター・かずさDNA研究所・国立環境研究所・理化学研究所・カリフォルニア大学サンディエゴ校などの協力を得て、生命科学の研究を担う創造的な研究者、医薬品の開発研究を目指す人材、医療の高度化に対応できる医師・薬剤師を養成することを目的としています。

博士前期課程 1専攻2コース
 ー 看護学専攻：看護学コース、看護実践学コース
 博士後期課程 1専攻
 ー 看護学専攻

大学院看護学研究科は日本において最大規模であり、教育研究者、高度看護実践者、看護管理者としてキャリアアップするために様々な学びの機会を提供しています。総合大学千葉大学で、しかも最大規模の看護学研究科で学ぶということは、学際的なネットワークが得られることを意味します。博士前期課程は、看護学コースと看護実践学コースから成り立ち、さらに看護実践学コースは、看護管理学、高度看護実践学（小児看護・がん看護専門看護師認定試験受験に必要な単位を取得できます）、特定看護学の3つのプログラムで構成されます。コースやプログラムを超えて、大学院生が共に学ぶ共通基盤科目が多数開講されています。博士後期課程では、看護学の教育研究者としてグローバルに活躍するための能力を育成しています。災害看護副専攻プログラムを学修することもできます。

総合国際学位 プログラム

全国初の学位プログラムで
学際研究を推進する

東京学芸大学 大学院連合学校 教育学研究科

連合小児発達学 研究科

修士課程

総合国際学位プログラムは、グローバルな諸課題を解決するために、社会課題と学術知を結合する高度な能力を有する人材を育成することを目的として、令和2年4月に、全国で初の研究科等連係課程基本実施組織として設置され、人文公共学府と融合理工学府との緊密な連係及び協力のもと、教育課程を実施します。本プログラムでは、既存の学問領域を超え、分野を横断して問題の解決を目指した知識生産を行うトランスディシプリナリーな教育・研究を展開し、自主的・自律的に研究計画を立案するセルフ・デザイン・メジャー（自己設計専攻）等の特徴としています。

教員養成系大学に設置された
日本ではじめての博士後期課程

博士課程 1専攻9講座

— 学校教育学専攻：教育構造論、教育方法論、発達支援、言語文化系教育、社会系教育、自然系教育、芸術系教育、健康・スポーツ系教育、生活・技術系教育

本研究科は大学における教員養成の充実と学校教育の発展を目指して、我が国ではじめて教員養成系大学・学部を設置された博士課程であり、東京学芸大学・埼玉大学・千葉大学・横浜国立大学を母体として構成される後期3年のみの課程からなる独立研究科です。研究の中心は教科教育学の発展を主な目標とし、学校教育の主要部分である各教科教育の目的・内容・方法等の研究を高度化し、さらに学校教育の場面で生じている課題の解決を目指した現実的な研究を活性化させ、学校教育のより一層の充実に結びつく研究を展開することを目標としています。

子どものこころの問題に科学的な視点で
対処できる人材育成の教育研究拠点

3年制後期博士課程

1専攻5講座

こころの発達神経科学講座（大阪校）／こころの相互認知科学講座（金沢校）／こころの発達健康科学講座（浜松校）／こころの認知行動科学講座（千葉校）／こころの形成発達科学講座（福井校）

子どものこころの問題に科学的な視点で対処できる人材を育成する3年制後期博士課程大学院です。千葉校は、こころの認知行動科学講座に、認知行動療法学、メンタルヘルス支援学、認知行動脳科学の研究領域を有し、子どものこころの発達教育研究センターの教員が指導します。①心理学系、教育学系、保健学・看護学系、社会福祉学、脳科学系の修士課程を修了または修了見込みの方、②子どものこころに関わる経験を持つ教諭、心理師、医師、看護師、福祉士等の社会人の方（修士課程修了者でなくても、出願資格審査に合格することで、受験資格が得られます）を対象にしています。



2021年1月、中央診療棟が
新築オープンしました。
より質の高い医療を提供します。

手術室や救命救急センター、集中治療部の拡充や、最新鋭の放射線検査・治療装置の整備、連携が必要な部門の集約など、患者さんにやさしく、スタッフも働きやすい環境が整いました。「千葉大学病院なら安心して診てもらえる」と心から思っていただけの病院を目指してまいります。

日本初!
1.5テスラの高精度放射線治療装置
MRリニアックを導入

「MRI」装置と、がん治療に用いる放射線治療装置「リニアック」が一体化した、新しい高精度放射線治療装置が導入されます。病巣をリアルタイムで確認しながら照射ができるので、病巣を逃しません。正常な組織への不要な照射を防ぐこともでき、治療期間の短縮を実現、治療経過の向上や、副作用の低減が可能となります。



RF

ヘリポート
救命救急センター、手術部、集中治療室に直結し、スムーズに患者さんを搬送します。最大約11トンの自衛隊救助ヘリも離着陸可能です。

6F

集中治療部 (ICU/CCU)
診療スペースが拡充し、18床に増床した集中治療室 (ICU) では、24時間体制で重症患者さんの治療にあたります。

5F

病理部/病理診断科
手術室との距離が近くなり、術中に採取した検体を円滑に受け取れます。

3/4F

手術部
手術室は17室から20室に増え、陰圧機能を備えた手術室では、感染症の患者さんの治療も行っています。



3F、4F手術室

2F

輸血細胞療法部
手術数の増加、救急医療の拡大に対応し、自己血の貯血や各種細胞の採取などにより、輸血製剤の提供能力を高めます。

2F

材料部
手術機材の滅菌管理を完全機械化し、滅菌管理がより効率的になりました。2階から4階にわたる立体倉庫は最新式3層構造で、物品の出入庫を自動で行います。

1F

救命救急センター
救急外来のスペースが拡充され、画像診断や病棟も隣接しており、初療から検査・治療までシームレスに行います。

B1/2/3F

放射線部
CT・MRI・血管造影・核医学検査・放射線治療など、放射線部門を3フロアに集約し、アクセスがスムーズになりました。

新型コロナウイルス感染症に対応した一年

2020年2月1日、1人目のコロナ患者さんを受け入れてから、「可能な限り通常診療も続ける」を方針に、院内一丸となって未知のウイルスと闘う日々が続きましたが、1年が経過し、ワクチン接種の広がりとともに、ようやく光が見えてきました。

次々に重症患者を受け入れてきたICU



1年後の2021年2月、千葉市医療圏外からヘリ搬送されてきたモバイルECMOの患者



ICUでECMO治療を行っている重症患者に対し、6人で腹臥位療法を行う様子(2021年2月)

コロナ専用病棟で患者さんを支える日々



防護服で感染対策をしてコロナ患者さんの病室でリハビリ指導を行う理学療法士(2020年6月)



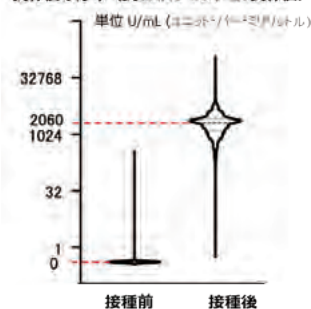
2021年1月7日、患者が増え、一般病棟をコロナ病棟に変えるため、ゾーニングシールを貼る看護師

コロナワクチンセンターを設置して、

接種・研究・啓発に取り組む

新型コロナワクチン(ファイザー社製)を接種した病院職員の抗体価を調べたところ、1,774名のうち1,773名、ほぼ全員に抗体価の上昇がみられ、ワクチンが有効であることを確認しました。年齢、性別、飲酒頻度、1回目と2回目の接種間隔などの因子と抗体価との関連についても明らかとなりました。

抗体価の分布(抗SARS-CoV-2抗体価)



中島祐史 副センター長
(2021年6月3日に記者発表)

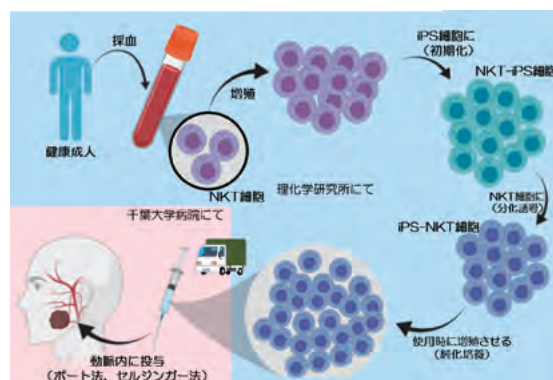
接種した職員の99.9%に抗体量の上昇が確認されました

IPS細胞を使った国内初のがん治療 千葉大学病院で治験スタート!

理化学研究所と連携し、iPS細胞からNKT細胞を作製した「iPS-NKT細胞」をヒトに投与する世界初の治療法を2020年9月から、医師主導治験として開始しました。本治験で忍容性(副作用などの発現状況を評価して適切な投与量を検討)、安全性、有効性が確認されれば、鼻や口、喉や顎などにできる頭頸部がんと闘っている患者さんにとって大きな希望となります。



未来開拓センター長
本橋 新一郎 教授
(免疫細胞医学)



環境リモートセンシング研究センター

<https://ceres.chiba-u.jp/>

文部科学大臣認定の共同利用・共同研究拠点として、リモートセンシング (RS) 研究とそれを利用した地球温暖化、環境汚染、水資源、災害監視、植生量の評価等の地球環境研究を行っている研究施設です。国内外の研究者と共同研究を推進し、大学院RSコース等の活動を通じて研究者の育成を進めています。

真菌医学研究センター

<http://www.pf.chiba-u.ac.jp/>

病原真菌 (カビ) を中心とする各種病原体による感染症研究を実施する研究施設であり、共同利用・共同研究拠点として病原性・薬剤耐性・生体防御などの基礎研究、感染症の臨床研究を推進しています。また、国内唯一の病原真菌バイオリソースを保有し、収集・保存・分譲業務を実施しています。

アカデミック・リンク・センター

<https://alc.chiba-u.jp/>

「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』、および深い専門性と俯瞰的思考力を備えた『知のプロフェッショナル』の育成のための学内共同教育研究施設です。学習に必要なコンテンツ、空間、人的支援を提供するとともに、教育・学修支援専門職の確立と養成を目指しています。

共用機器センター

<http://www.cac.chiba-u.ac.jp/>

共用機器センターは、大型分析機器等を集中管理し、教育研究における共同利用に供するとともに、研究機器の管理支援、技術者の育成、分析技術の開発研究などを行っています。

化学・材料科学・医薬科学など幅広い分野で利用されており、一般企業を含む学外からの共同利用にも対応しています。

統合情報センター

<https://www.imit.chiba-u.jp/>

学内共同教育研究施設として教育・研究・業務支援のためのコンピュータシステム、学内ネットワークシステム及びメールシステム等の運用管理、全学のICT化に関する調査研究を行うと共に、情報関連技術の開発・研究を行っています。

先進科学センター

<https://www.cfs.chiba-u.ac.jp/>

先進科学センターは、17才飛び入学生 (先進科学プログラム) の選抜及び教育を、受け入れ学部とともに実施しています。また、高度な学術研究の推進の他に、特定の分野に優れた才能を有する者に対する高等教育の在り方に関する総合的な調査研究の実施およびその開発も行っています。

グローバル関係融合研究センター

<https://www.chiba-u.ac.jp/crsgc/>

平成29年4月に設置されたグローバル関係融合研究センターは、グローバルな危機への対処を既存の学問の枠を超えて考える、千葉大学初の人文社会科学系の全学研究センターです。そこでは移民・難民問題、紛争、人種差別や社会的格差拡大など、現代社会が直面する問題について解決方法を模索します。

海洋バイオシステム研究センター

<http://marine.biosystems.chiba-u.jp/>

本研究センターは、房総半島南部の鴨川市にあり、銚子市に実験場があります。黒潮と親潮が会合する環境とそこに見られる多様性の高い海洋生物相を利用して、海洋環境と生物の相互関係 (海洋バイオシステム) について研究しており、研究と教育の重要な拠点にもなっています。

ソフト分子活性化研究センター

<https://smarc.chiba-u.jp/>

本センターは、学術的に新しい先導的ソフト分子の活性化と機能創製に関する研究成果の実用化を目指しています。千葉ヨウ素資源イノベーションセンター(CIRIC)を設立し、高付加価値ヨウ素製品の開発・製造のため産学官共同研究を推進しています。CIRICの最先端分析装置を皆さんの研究にお役立てください。

ハドロン宇宙国際研究センター

<http://www.icehap.chiba-u.jp/>

令和2年10月に理学研究院附属センターから、全学センターに改組されました。

宇宙ニュートリノ探査(南極で行われているIceCube共同実験及びその次期計画)と理論シミュレーション研究の連携により、高エネルギーハドロン放射源を特定し、活動的宇宙現象の機構を解明する研究を推進しています。

分子キラリティー研究センター

<https://www.tp.chiba-u.jp/MCRC/>

キラリティーは物質科学の歴史の中で常に中核に位置する普遍的な研究テーマです。近年、光のキラリティーが物質に作用すると、ナノスケールのキラルな構造や物性が顕在化することがわかりました。本センターでは、光のキラリティーを駆使した新時代の物質科学の開拓、革新的技術の創出を目指します。

デザイン・リサーチ・インスティテュート(dri)

工学部100周年を機に、デザイン教育・研究を工学から全学へ拡張するため、これまでのデザイン、建築等に加え、ランドスケープや予防医学等の他分野とも共創すべく設置されました。実習授業の充実、実物大のプロトタイプング、社会課題解決の実践等により、分野横断的デザイン教育・研究を展開します。

フロンティア医工学センター

<https://www.cfme.chiba-u.jp/>

本センターでは、専任の教員を中心に、工学研究院、看護学研究科、医学研究院、附属病院からの兼務教員、企業および研究機関等からの特別研究員等の研究者が連携して、新しい診断システム、治療機器など臨床に役立つ機材やシステムの研究開発を行っており、多くの実用化の実績を上げています。

環境健康フィールド科学センター

<http://www.fc.chiba-u.jp/>

植物をキーワードとして「食と環境と健康」を学際的に教育研究する目的で平成15年に設立されました。環境園芸農場、植物工場拠点を設置し、技術教育、多様な農福連携に関わる研修、植物の機能性や快適性評価研究、環境調和型園芸生産技術研究など、地域社会の持続性を希求する活動を行っています。

バイオメディカル研究センター

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/biomed/>

本センターでは遺伝子組換え実験に関する教育・研究の支援、遺伝子改変マウス作製・解析に関する研究支援、受精卵・精子の凍結保存による系統維持、凍結胚からの個体作製等を行っています。また学内外各研究室等と連携して疾患モデルマウスを用いた病態解析、治療法開発などの研究を推進しています。

社会精神保健教育研究センター

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/shakai/>

本センターは、司法精神保健に関する教育研究を法システム研究部門、病態解析研究部門、治療・社会復帰支援研究部門、非行臨床研究部門の4部門で行っており、法学や精神医学、社会福祉学、教育学、神経科学など多角的な視点と科学的視点から研究を行うとともに、その専門家を育成しています。

予防医学センター

<https://cpms.chiba-u.jp/>

「体の健康・心の健康・健康に良い環境」を柱とし出生コホート研究(エコチル調査・千葉こども調査)、介護予防研究(JAGES)、室内環境(ケミレス)、健康空間の産学共同研究(OPERA)を実施しています。千葉、金沢、長崎の三大学で共同大学院を運営し予防医学の教育研究を推進しています。

未来医療教育研究センター

http://unv.chiba-crc.jp/mirai_edc_jp/

本センターでは、基礎研究から臨床への橋渡し研究と実践を行うとともに、科学的な方法論に基づいた評価を推進するための基盤及びレギュラトリーサイエンスを含む医療行政への提言・改革を行うための基盤を整備し、アカデミアと産業界と連携し、臨床試験の計画から実施まで主体的に実施する人材を養成します。

再生医療学研究センター

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/saiseichiryo/>

本センターでは、幹細胞研究を基盤に、再生医療と疾患研究を推進します。多能性幹細胞や臓器幹細胞研究を再生医療の観点から推進するとともに、様々な疾患のiPS細胞を作製し、病態解析や治療法開発、新薬評価等により、bench to bedを目指した革新的治療学の確立を目指します。

子どものこころの発達教育研究センター

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/rccmd/>

子どものこころの問題に対し、認知行動療法を実践できる高度専門職業人養成の教育研究を進めます。臨床研究を実践する「認知行動療法学」、学校現場で予防研究を行う「メンタルヘルス支援学」、脳画像研究を担う「認知行動脳科学」、教育学と医学を連携する「対人援助教育学」部門から構成されます。

植物分子科学研究センター

<https://www.p.chiba-u.jp/phytochemical/>

千葉大学の強みである植物分子科学研究を結集し、キャンパスや部局を広く跨がった卓越研究拠点を形成し、本分野を先導する拠点を目指します。地球と人類を支える植物について、植物分子(特に、遺伝子と成分)に注目し、植物機能の分子的解明とその応用を目的として研究を推進します。

アイソトープ実験施設

<https://ric.chiba-u.jp/>

本実験施設は、千葉大学における放射性同位元素を使用する研究、および安全管理・教育訓練等を行っています。また、分子イメージング研究に適した小動物用SPECT/CT装置と代謝実験用機器も設置されており、多彩な分野の研究に対応した施設となっています。

【教育学部附属】**教員養成開発センター**

教員養成及び教員研修に関わる研究・教育、事業を行うことを目的としています。(1)現職教員研修に関する事業 (2)教育研究グローバル化推進に関する事業 (3)ICT教育に関する事業 (4)地域教育貢献に関する事業 (5)全学教職支援に関する事業 (6)産学官連携教育推進に関する事業等を実施しています。

【工学部・大学院工学研究院附属】**創造工学センター**

<http://www.eng.chiba-u.ac.jp/souzou/>

ものづくり教育とその関連研究、産官学連携の拠点として平成16年4月に設立されました。1階には木材から金属まで多様な材料を加工する機器が、また、2階にはレーザー加工機や3Dプリンター等のデジタル機器に加え、設計されたものの機能性・有効性を仮想空間で検証する装置等が導入されています。

次世代モビリティパワーソース研究センター

<https://mpsrc.chiba-u.jp/>

平成25年グリーンイノベーション拠点事業で設立され、自動車用動力源の研究開発と人材育成を行うことを目的とします。シャシーダイナモシステムや燃費・排ガス計測システムが整備され、車両実運転時のモデルと交通流モデルを組み合わせてエネルギー・エミッションミニマム化の研究を行っています。

インテリジェント飛行センター

<https://caiv.chiba-u.jp/>

当センターでは、次世代型アーバンエアモビリティの飛行システム技術を研究開発し、若手人材を積極的に育成しています。生物を手本に持続可能な技術を生み出す「生物規範工学」と、新しい「人工知能」、未来志向の「人材育成」の3つの軸を基に、しなやかで強く、環境負荷の低い技術開発を進めます。

【大学院医学薬学府附属】**薬用資源教育研究センター**

亥鼻および西千葉キャンパス、環境健康フィールド科学センター内の標本園、温室、試験圃場に、日本薬局方に収載されている薬用植物をはじめ、多種多様な有用植物が栽培され、これらは、主に薬学部・薬学研究院での薬用植物資源開発に関する総合的な教育・研究に活用されています。

【大学院医学研究院附属】**クリニカル・スキルズ・センター**

<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/ccsc/>

国内でも有数の規模の当センターでは、患者さんの診療やケアに当たる前にシミュレーターや模擬患者で技術を繰り返し練習することができます。様々な難易度で練習したり、まれな状況を再現して練習したりすることで、着実なスキルアップを図ることができます。

法医学教育研究センター

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/houi/>

日本では死因究明や虐待対応等において法医学のニーズは増しており、その人材育成は急務とされています。本センターは、法医病理学、法中毒学、法遺伝子学、法歯科学、法医画像診断学、臨床法医学など多面的な観点から死因究明と生体診察を実施する人材を育成し、キャリアパスモデルを提供します。

超高齢社会研究センター

当センターは医学的アプローチを推進する「超高齢社会臨床部門」、社会科学的・自然科学的アプローチを推進する「超高齢社会疫学部門」の2つの部門から構成されています。学内の高齢社会関連の研究室を始め、県内の自治体、関連職能団体、地元企業、地域社会と協働し、健康長寿社会の実現を目指します。

国際粘膜免疫・アレルギー治療学研究センター

本研究センターは新しい学術領域である「粘膜免疫・アレルギー治療学」の拠点として、2016年にカリフォルニア大学サンディエゴ校と共同で双方の学内に設置されました。最先端の免疫疾患・感染症の新規予防・治療開発を推進し、世界規模での健康増進、生活の質向上、医療費削減を目指しています。

治療学人工知能(AI)研究センター

当センターは、様々な臨床・実験データを基盤に人工知能(AI)を用いた最先端の医科学研究を行っています。基礎研究だけでなく、AI技術の社会実装も推進し、新たな予防・先制治療法の確立を目指します。新しい学問領域として「AI治療学」を創成し、次世代の医科学を牽引する研究者を育成します。

バイオリソース教育研究センター

平成30年4月に設置されました。オミクス情報を駆使して医療研究開発を加速し、がんゲノム医療などにおけるオミクス診断体制を支援することを目的に、産学官の力を結集して、がんや新規感染症などのバイオリソースを高品質に収集・管理し、ゲノム網羅的な解析や大規模データの整備・提供を行います。

動物実験施設

本実験施設は、動物実験を主体とした研究・教育を行い、かつ実験動物の飼育管理、生産、開発及び系統保存を行うことを目的として、亥鼻地区の動物実験の中核施設として利用されています。千葉大学における動物実験の概要は大学ホームページの大学案内「動物実験に関する情報」として公開されています。

【大学院看護学研究院附属】

看護実践・教育・研究共創センター

<https://www.n.chiba-u.jp/center/>

昭和57年に設置、平成22年から「看護学教育研究共同利用拠点」として文部科学大臣の認定を受けています。「“Society5.0看護”創出拠点ーピア・コンサルテーションを通じて共創する人間中心の健康支援方略ー」事業に取組み、全国の看護系大学教員向け課題解決型研修、看護管理者向け課題解決型研修等を実施しています。

専門職連携教育研究センター

<https://www.n.chiba-u.jp/iperc/>

専門職連携教育研究センター(Interprofessional Education Research Center;IPERC)は、平成27年に亥鼻キャンパス高機能化構想の一環として開設されました。世界標準の体系的な専門職連携教育・実践の発展を目的として、亥鼻IPEの企画運営を実施するとともに、国内外に向け、IPEプログラムの開発・普及及び研究を行っています。

教育学部附属幼稚園 <http://kdg.e.chiba-u.jp/>

創立118周年を迎える歴史ある幼稚園です。教育目標「うごく」「かんじる」「かんがえる」のもと、日々の保育を「子どもを主人公とした物語」ととらえ、子どもが主体的に取り組む保育を実践しています。近年は、子どもたちの声を大切にしながら、子どもと教師が一緒に行事や遊びを考える「対話的な保育」を目指しています。園地は面積約9,300㎡で広々としており、運動会のできる広場や「どんぐり山」「夢の森」「サツマイモ畑」などを有しています。子どもたちは四季折々の自然に触れたり、手作りの挑戦遊具にチャレンジしたりしながらのびのびと遊んでいます。



教育学部附属小学校 <https://www.el.chiba-u.jp/>

昭和41年、附属第一小学校と附属第二小学校が統合され、千葉大学教育学部附属小学校として開校しました。令和3年度は「ソニー子ども科学教育プログラム」において「最優秀校」に選ばれ、令和4年2月「子ども科学教育全国大会千葉大会」を開催。その他、文部科学省から、「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究」の委託を受け、実践と研究を実施しています。「図書室にNOTジャケ借りコーナーをつくろう」の実践が、新聞18社に掲載・紹介されているなど、先進的な実践研究を行っています。



教育学部附属中学校 <http://www.jr.chiba-u.jp/>

昭和40年に附属第一、第二中学校が統合され、現在の西千葉地区で教育学部附属中学校として発足しました。「自己理解」「自己決定」「自己実現」という学校教育目標を掲げ、生徒の主体性を重んじた教育活動を行っています。それは生徒会を主催とした運動会、文化祭、三年生を送る会によく現れており、様々な伝統も引き継がれています。また、附属学校の使命の1つである教育研究開発に熱心に取り組んでおり、その成果を公開研究会等で発信しています。特にオンライン授業の実践や1人1台端末の活用など、ICT教育に力を入れて取り組んでいます。



教育学部附属特別支援学校 <http://yougo.e.chiba-u.jp/>

昭和40年、附属小学校に特殊学級として開設され、昭和48年に附属養護学校（現特別支援学校）として独立、開校しました。児童生徒一人ひとりが主体的に取り組む学校生活を大事にし、自立した生活ができることを目標とし、「遊びの指導」や「生活単元学習」、「作業学習」などの各教科等を合わせた指導を教育課程の中心に据えて、知的障害教育の実践や研究活動の推進に日々取り組んでいます。「深い学びを支える知的障害特別支援学校の授業づくり」を研究テーマとして、授業研究会や公開研究会等を行い、研究成果を発信しています。



| 海外拠点・交流協定校

詳細及び最新情報は大学ホームページへ
<https://www.chiba-u.ac.jp/global/>

欧州地域

大学間交流協定	61 協定
部局間交流協定	44 協定

2015
 2016
 IEC → セイナヨキ応用科学大学 (フィンランド) 2010
 IEC → ロシア人文大学 (ロシア) 2016
 C IEC O → シャリテ・ベルリン医科大学 (ドイツ)

アジア地域

大学間交流協定	155 協定
部局間交流協定	152 協定

中近東地域

大学間交流協定	5 協定
部局間交流協定	2 協定

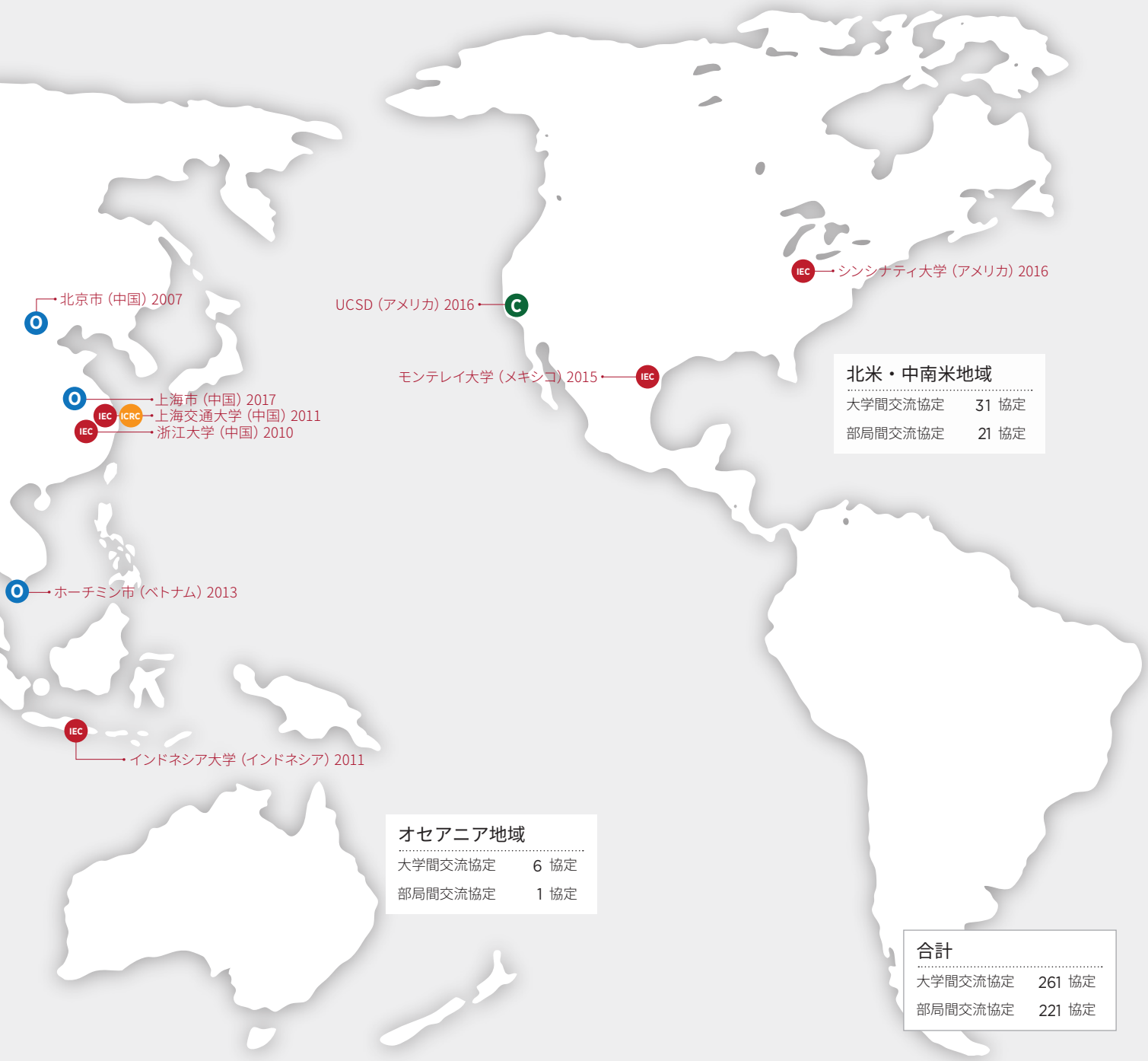
2017 2010
 C IEC → マヒドン大学 (タイ)

アフリカ地域

大学間交流協定	3 協定
部局間交流協定	1 協定

戦略的海外拠点の形成とグローバル・キャンパス推進基幹の設置

千葉大学は、世界を先導する教育・研究を促進する大学ーグローバル・キャンパスーを目指し、海外拠点を4つに分類して戦略的な拠点形成を推進しています。この4つとは、海外キャンパス、ICRC (国際共同研究センター)、IEC (国際交流センター)、海外オフィスです。現在は、海外キャンパスー3拠点、ICRCー1拠点、IECー9拠点、海外オフィスー4拠点、合計17拠点です。



これらの拠点を統括してマネジメントする「グローバル・キャンパス推進基幹」を学長直轄の運営組織として創設し、学長の強いリーダーシップの下で本学のグローバル戦略に基づき管理・利活用する体制を構築しています。

- 海外キャンパス
- ICRC (国際共同研究センター)
- IEC (国際交流センター)
- 海外オフィス

サンディエゴ・キャンパス

千葉大学は平成28年4月に、「国際粘膜免疫・アレルギー治療学研究拠点形成事業」の米国拠点として、世界トップクラスの大学であるカリフォルニア大学サンディエゴ校(UC San Diego)医学部にサンディエゴ研究センターを設置しました。

このサンディエゴ研究センターと、亥鼻キャンパスに設置した千葉研究センターを中心に世界最先端の国際共同研究を推進しており、その研究成果発表と研究者間交流のため、共同シンポジウムを毎年開催しています。

ベルリン・キャンパス

平成26年に採択された「スーパーグローバル大学創成支援事業」の一環として、平成28年6月、シャリテ・ベルリン医科大学(ドイツ)内に千葉大学ベルリン・キャンパスを設置しました。

シャリテ・ベルリン医科大学は、EUでも最大の規模を誇る医科大学です。本学の公衆衛生やグローバルヘルスなど、医学・薬学を中心とした教育・研究活動をこのキャンパスで展開し、ヨーロッパの拠点として交流のネットワークを拡大していきます。

バンコク・キャンパス



平成26年に採択された「スーパーグローバル大学創成支援事業」の一環として、平成29年9月に、MUIC

(マヒドン大学インターナショナルカレッジ)(タイ)内に千葉大学バンコク・キャンパスを設置しました。MUICは、タイの国立大学で初めて設置された全ての講義を英語で行うリベラルアーツカレッジとして多岐にわたる教育・研究活動を展開しています。

全学的な国際教育の拠点とするとともに、タイにおける主要な研究機関との国際共同研究を推進していきます。

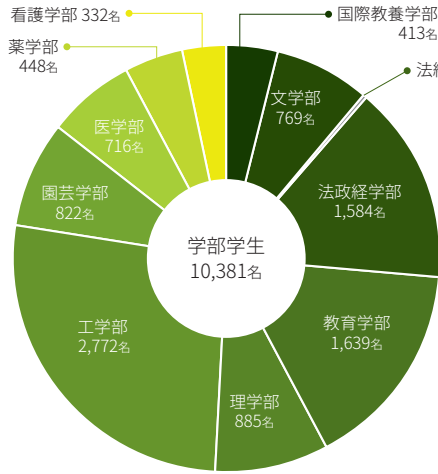
千葉大学・上海交通大学国際共同研究センター(ICRC)



ICRCは、千葉大学と上海交通大学両キャンパスに設置され、両大学から教職員及び大学院生を結集して、先端的・先導的な学術研究、産学連携による研究開発及び有能な若手研究人材を育成するとともに、学術研究の国際交流を促進します。多様性に富んだ生物システムの力学現象や技術体系を探索し、人間の技術体系にインスピレーションやイノベーションを与えてバイオロボティクスや医工学等への応用研究を遂行するとともに、「生物規範工学」の国際的・学際的教育研究拠点を形成します。

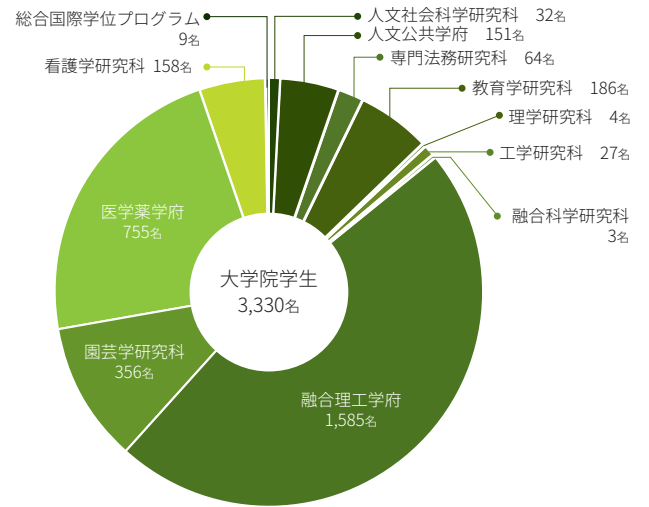
学部学生在籍者数

(令和3年5月1日現在)



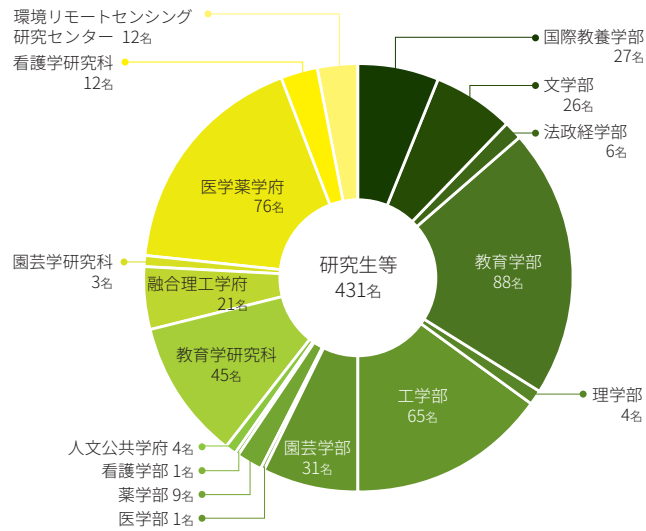
大学院学生在籍者数

(令和3年5月1日現在)



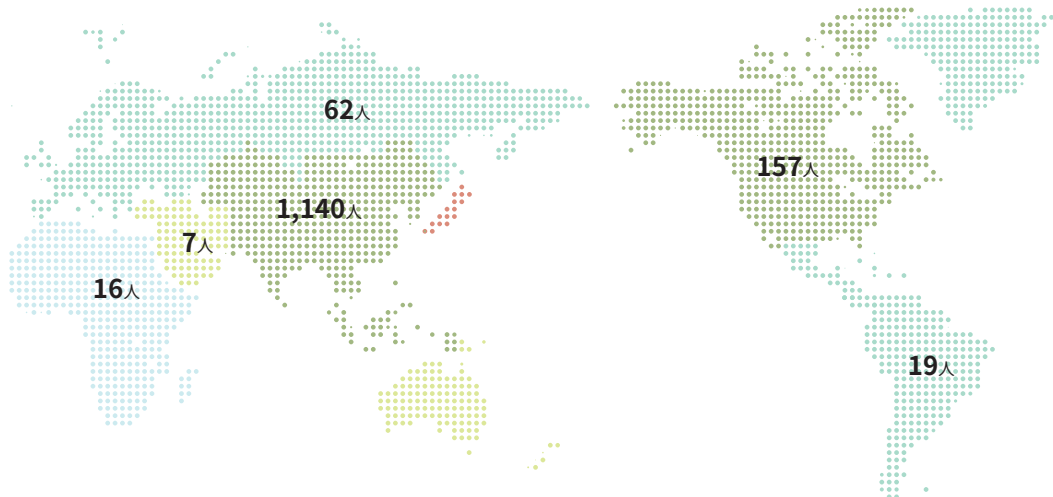
研究生等在籍者数

(令和3年5月1日現在)



外国人学生分布

(令和2年度)



| 決算・予算

07.1

令和2事業年度決算

(単位:百万円)

貸借対照表

令和3年3月31日における本学の財政状態を示すもので、平成16年の法人化移行時に国から引き継いだものも含めて、すべての資産、負債及び純資産の状況を表します。

資産 265,102	負債 96,780
	純資産 168,321
現金及び預金 (内数) 24,280	未処分利益 (内数) 1,771

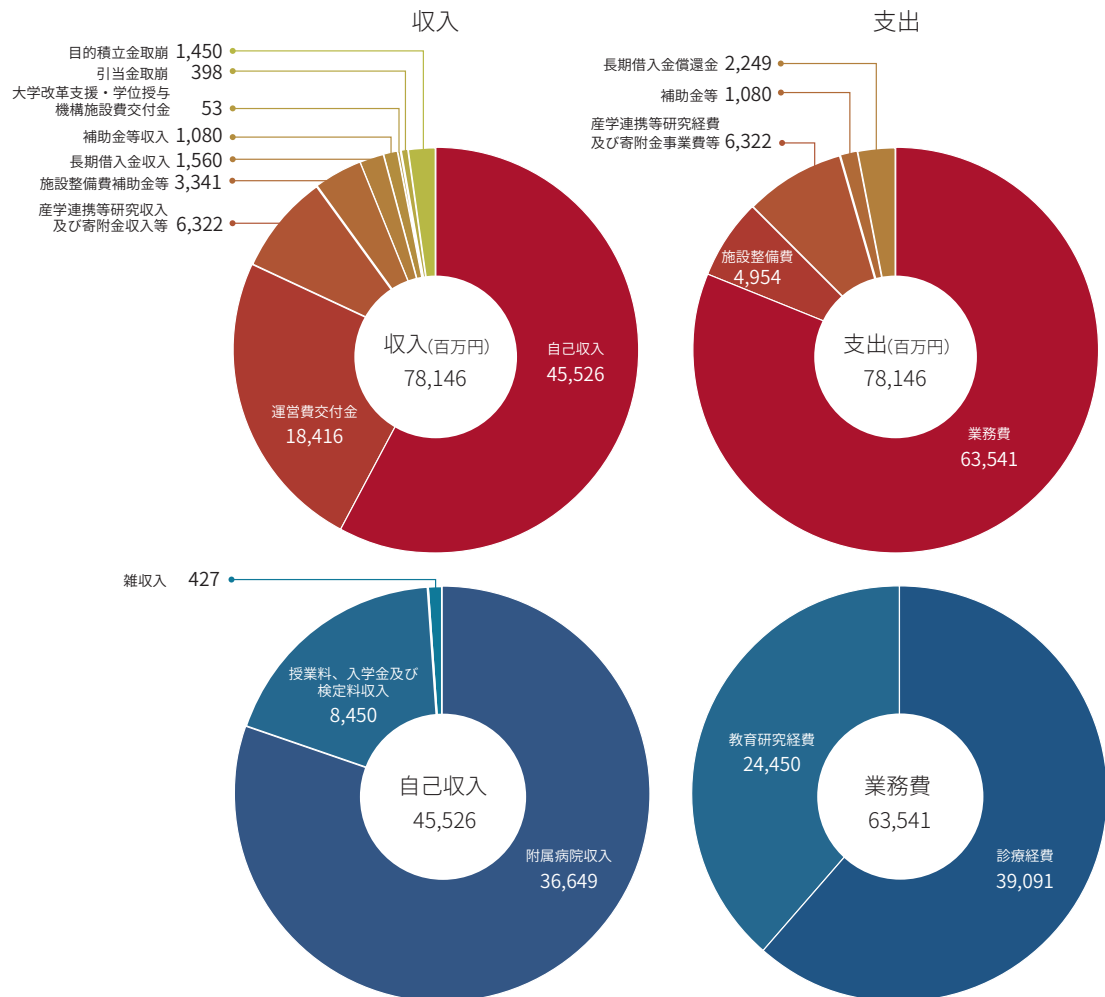
損益計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日の本学の事業規模を明らかにするもので、本学の教育・研究等の業務運営に要した費用、運営費交付金・自己収入等による収益や利益の発生状況を表します。

経常費用 + 臨時損失 73,740	経常収益 + 臨時利益 + 目的積立金取崩 75,511
当期総利益 1,771	

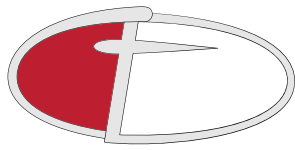
令和3年度予算

(単位:百万円)



[人件費の見積り] 期間中総額34,221百万円を支出する(退職手当は除く)

千葉大学学章



昭和24年10月に学内公募により『千葉大学バッジ』として制定された、歴史や伝統を反映した由緒あるこのマークを、平成25年4月に千葉大学の学章として制定しました。デザインは故赤穴宏氏(元千葉大学名誉教授)によるものです。Chiba Daigakuの頭文字「C」と「D」を組合せるとともに、千葉大学の「千」を配して構成されたもので、輪郭は無限の生命力を象徴する植物の種子を形どっています。左側部分の暗紅色は情熱を、右側部分の白色は純粹を表現しています。

千葉大学コミュニケーションマーク



CHIBA UNIVERSITY

国際教養学部の設置や、全部局で世界最高水準の教育研究を行う第三群の大学として改革を進めていく本学の姿を象徴するマークとして、平成28年4月に制定しました。シンボル部分は本学のビジョン「Global、Research、Innovation、Branding、Synergy」の原動力となる『コミュニケーション』と、本学の長い歴史とともに歩んできた大学カラーの『ガーネット』をキーワードとしています。構成員一人ひとりが、様々な場面でこのマークを使用することで、大学の一体感を強めるとともに、千葉大学ブランドを高めていきます。

千葉大学旗

昭和35年2月に学旗として承認されたもので、学章と同じ色彩が取り入れられています。



千葉大学歌

昭和35年2月制定
勝 承夫 作詞 平井康三郎 作曲

01 若い空 若い地(つち) 房総の 風は歌うよ
大洋の意気 寄せ来るところ
内海の和気ただようところ
みよ 青春の花のよこび
千葉大学 心のふるさと

03 若い雲 若い鳥 黎明の 星は光るよ
躍進の道 はるかにひらけ
純情の友 楽しく競う
みよ 永遠の聖火燃えたつ
千葉大学 栄あるまなびや

02 晴れわたる 満ちわたる
新鮮な 汐の香よ
向学の窓 清らに高く
探究の庭 はてなく 広く
みよ 燦然と叡智あつまる
千葉大学 文化のさきがけ

日本音楽著作権協会(出)許諾
第2106738-101号

やよいの鐘



千葉大学創立30周年記念事業の一環として附属図書館本館塔屋に設置され、昭和57年3月に除幕式が行われました。現在も西千葉キャンパスの附属図書館L棟の屋上に設置されています。鐘の上部にはラテン語で「つねに、より高きものをめざして」を意味する“AD ALTIORA SEMPER”の語が刻まれています。

千葉大学マスコット

千葉大学創立70周年記念事業の一環として誕生し、平成31年4月に任命書が発行されました。それぞれのマスコットの顔は学部を置く各キャンパスの形になっていて、「ニシ」は西千葉キャンパス、「イノ」は亥鼻キャンパス、「マツ」は松戸キャンパスの形をしています。

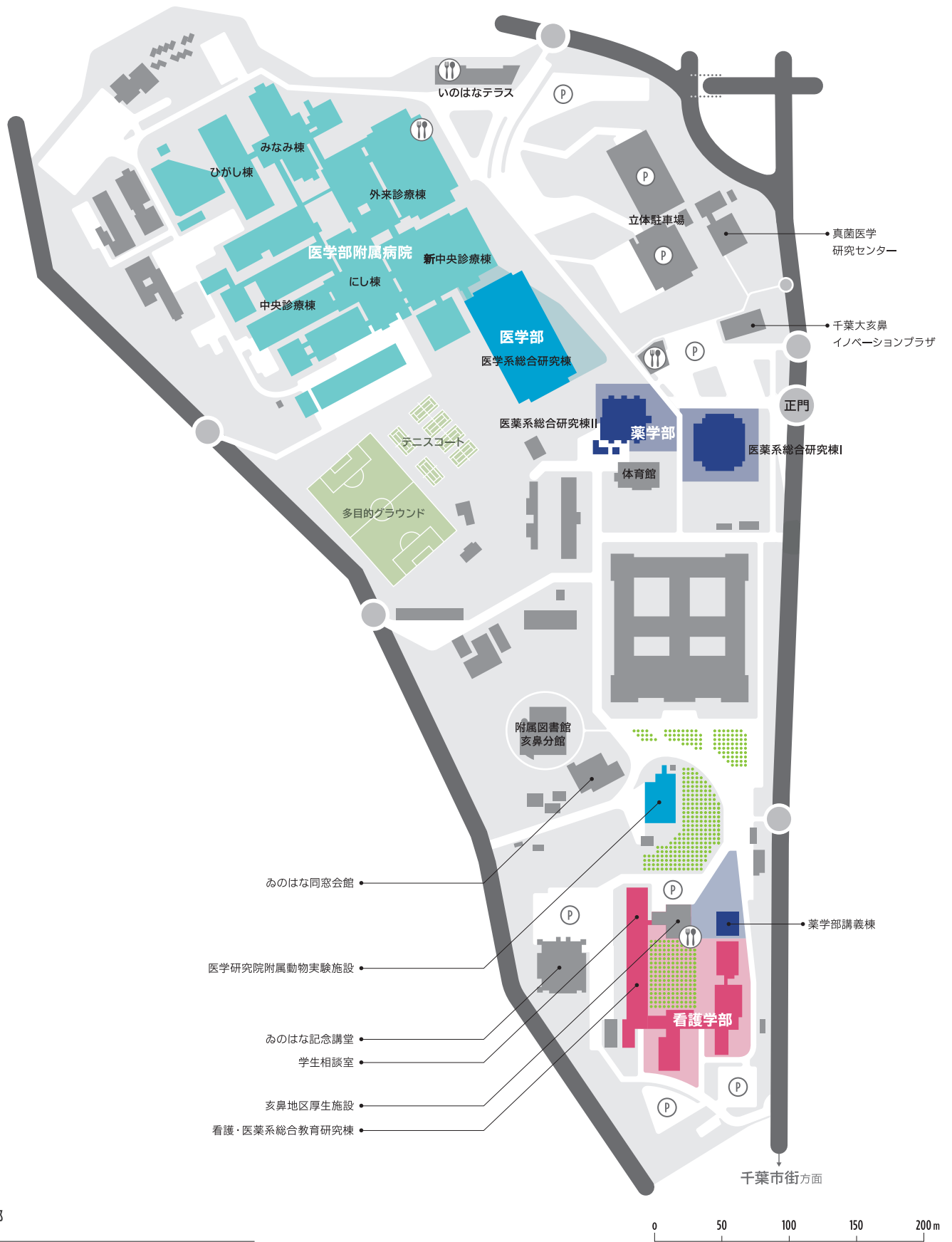




- 総合校舎・国際教養学部
- 教育学部
- 文学部・法政経学部
- 理学部
- 工学部

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL 043-251-1111

0 50 100 150 200m



- 医学部
- 薬学部
- 看護学部

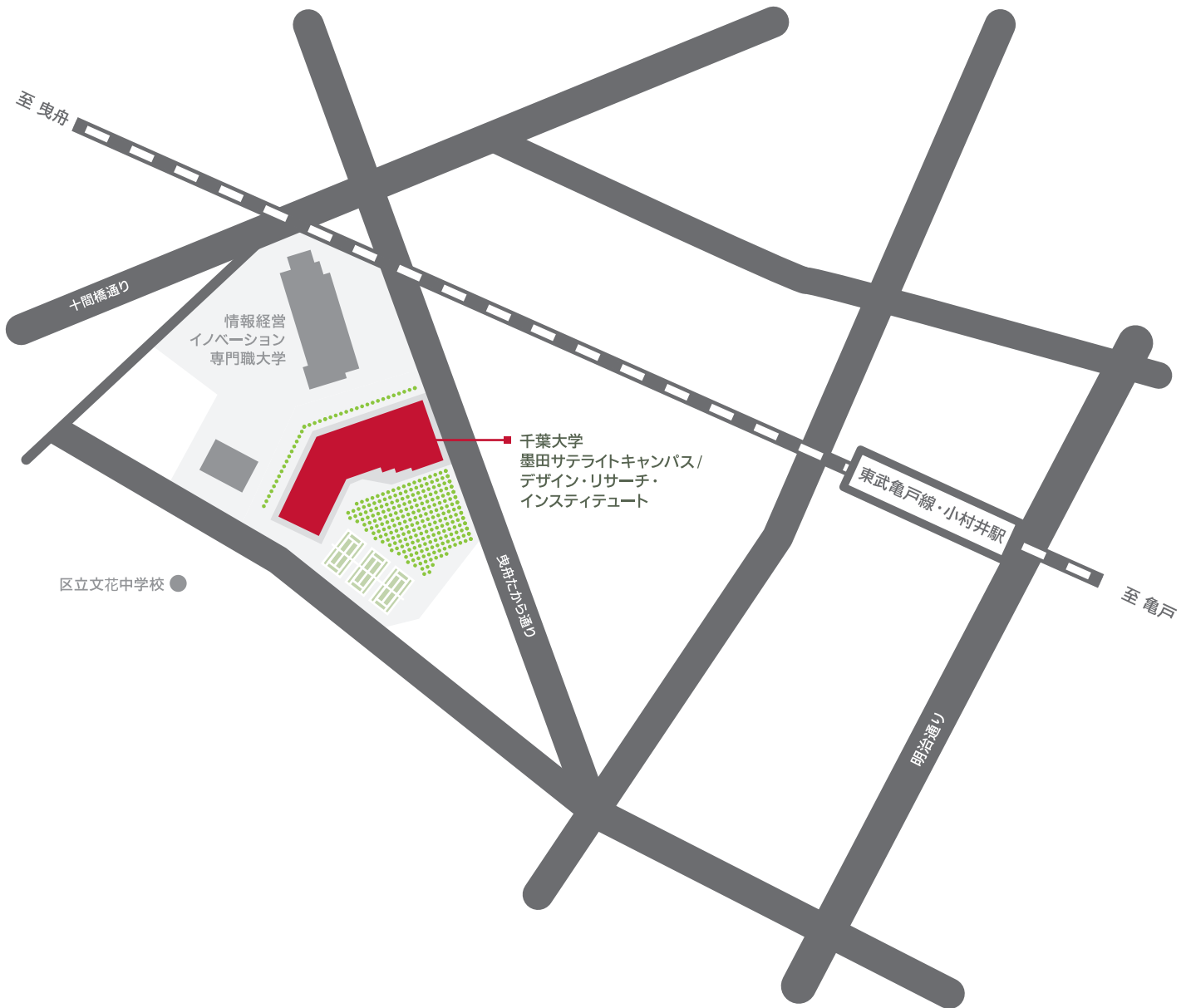
〒260-8670 (医)、〒260-8675 (薬)、〒260-8672 (看)、〒260-8673 (真菌)、〒260-8677 (附属病院) 千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL 043-222-7171



● 園芸学部

〒271-8510 松戸市松戸648
TEL 047-308-8706





アクセス

西千葉キャンパス

国際教養学部・文学部・法政経学部・教育学部・理学部・工学部

- JR総武線 西千葉駅 北口より徒歩2分(キャンパス南門)
- 京成千葉線 みどり台駅より徒歩7分(キャンパス正門)

亥鼻(いのはな)キャンパス

医学部・薬学部・看護学部

- JR各線・京成千葉線 千葉駅 東口7番のバス乗り場より、京成バス「千葉大学病院」行きまたは「南矢作」行きバスに約15分乗車、「千葉大看護学部入口」または「千葉大医学部・薬学部入口」バス停で下車
- 医学部附属病院へは、同バス「千葉大学病院」バス停で下車

松戸キャンパス

園芸学部

- JR常磐線・新京成線 松戸駅 東口より徒歩15分
- JR総武線 市川駅より京成バス「松戸営業所」又は「く矢切経由」松戸駅行きに約30分乗車、「小山」バス停で下車後、徒歩5分

柏の葉キャンパス

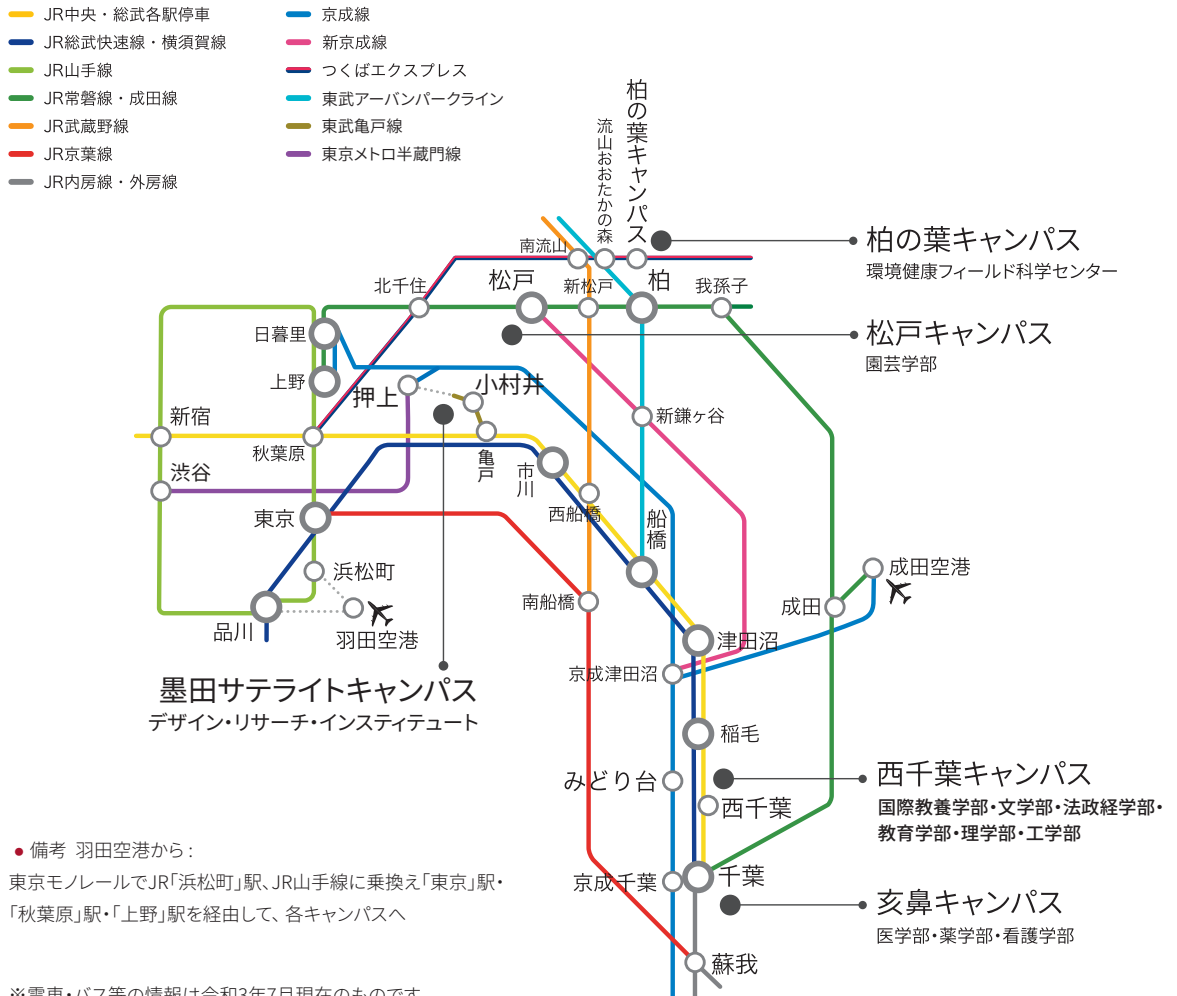
環境健康フィールド科学センター

- つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅より徒歩5分
- JR常盤線・東武アーバンパークライン 柏駅 西口2番のバス乗り場より、東武バスイースト「国立がん研究センター」又は「柏の葉キャンパス駅西口」行きバスに約20分乗車、「柏の葉高校前」バス停で下車後、徒歩8分

墨田サテライトキャンパス

デザイン・リサーチ・インスティテュート

- 東武亀戸線 小村井駅より徒歩5分
- 京成押上線・東京メトロ半蔵門線 押上駅より徒歩15分
- 押上駅からバス利用の場合
 - 都営バス:「青戸車庫前」行きバスに約7分乗車、「文花三丁目」バス停で下車後、徒歩3分
 - 京成バス:墨田区内循環バス乗り場「北東部ルート」に約8分乗車、「緑と花の学習園／香取神社入口」バス停で下車後、徒歩1分



千葉大学基金は、

チャレンジを支え、人を育てる基金です



新型コロナウイルスの影響で経済的支援が必要な学生のために、卒業生、在学生の保護者様、その他学内外からたくさんのご寄付を賜りました。心よりお礼申し上げます。
皆様から頂戴したご寄付は、経済的に困窮した学生への支援等に充てさせていただきました。
千葉大学は、学生が学業に専念できるよう、これからもサポートしてまいります。
引き続きご支援をお願いいたします。

令和2年度の 寄付実績

寄付
件数

7,007 件

寄付
総額

3億9,556万円

千葉みらい医療基金(医学研究の推進・医学教育の支援等)、その他を含む

千葉大学が実施した新型コロナウイルス対応事業

経済的困窮学生支援

- ・アルバイト収入の減少等により経済的に困窮した学生への生活費等の給付
- ・メディア授業実施に伴う無線LANルーターの無償貸与
- ・学内アルバイト募集(メディア授業補助業務等)
- ・家計急変者への奨学金給付・授業料免除

メディア授業等の実施

- ・図書館の利用制限に伴う電子書籍の購入
- ・無線LANアクセスポイントの増設

感染拡大防止対策の実施

- ・マスク・アクリル板・消毒用アルコール等の購入
- ・換気設備の整備
- ・臨時手洗い場の設置



お申し込み方法

クレジットカード
インターネットバンキングによるご寄付

千葉大学基金のホームページからご寄付をお願いいたします。

千葉大学基金

遺贈によるご寄付

遺贈によるご寄付も承っております。
詳しくは、千葉大学基金室(043-290-3902)までご相談ください。

銀行・郵便局からの振込をされる方は、お電話にてご連絡ください。後ほど振込用紙を送付させていただきます。

お問い合わせ先

千葉大学基金室

☎ 043-290-2014

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

FAX 043-284-2550

メール kikin@office.chiba-u.jp

ホームページ <http://kikin.chiba-u.ac.jp>

住所 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33



2021

千葉大学
概要

DATA SUMMARY



CHIBA UNIVERSITY

CONTENTS

大学概要

01	国際交流	
01.1	学術交流協定	01
01.2	日本人学生の留学・派遣状況	11
01.3	外国人学生	12
01.4	外国人研究員の受入れ数等	14
02	社会連携	
02.1	連携協定	15
02.2	公開講座の実施状況	16
02.3	高大連携	16
03	組織・施設	
03.1	役職員等	17
03.2	役員・教職員数	20
03.3	附属図書館	21
03.4	附属学校	21
04	学生	
04.1	学生数(学部、研究生等)	22
04.2	学生数(大学院)	25
04.3	入学状況(学部)	26
04.4	学位授与者数	29
04.5	卒業生の進路状況	30
04.6	修了生の進路状況	31
05	財務	
05.1	決算	32
05.2	科学研究費助成事業	33
05.3	外部資金	33
05.4	特許出願	33
05.5	土地・建物及び所在地	34
06	沿革	
		35

01 国際交流

| 学術交流協定

01.1

大学間協定		○印: 学生交流協定を締結している協定校
アジア地域		令和3年5月1日現在
国名	大学名	締結年月日
インド	○インド情報技術大学ジャバルプール校	2012. 6.22
	○ナショナル・インスティテュート・オブ・デザイン	2017. 4.17
インドネシア	○ガジャマダ大学	1990.10. 4
	○インドネシア大学	1997.12.29
	○バンドン工科大学	2006. 3.16
	○ウダヤナ大学	2007. 7.20
	○ハサヌディン大学	2007. 9.12
	○ボゴール農科大学 (IPB大学)	2010. 3.19
	○バジャジャラン大学	2011. 1.28
	○セプルフノベンベル工科大学	2012. 7.24
	○ディボネゴロ大学	2012. 8. 3
	○インドネシア気象・気候・地球物理庁	2014.11.10
	○リアウ・イスラム大学	2016.11.21
	○シャクアラ大学	2017. 8. 4
	○セベラスマレット大学	2017.11. 2
	○パンカ・ベリトン大学	2020.12.18
	韓国	○全北大学校
○延世大学校Miraeキャンパス		2010.10.21
○ソウル国立大学		2011. 8.29
○朝鮮大学校		2011. 9. 6
○金剛大学校		2015. 6. 5
○成均館大学校		2015.11.11
○垂洲大学校		2015.11.30
○釜慶大学校		2016. 2.24
○慶熙大学校		2016.12.13
○国立公州大学校		2017. 1. 5
○仁済大学校		2017. 1. 5
○明知大学		2017. 3. 2
○中央大学		2017. 6.13
○国民大学		2017.11. 8
○淑明女子大学		2017.11. 8
○蔚山科学技術大学校		2017.11.29
○ソウル科学技術大学		2017.12.18
○仁川大学		2017.12.20
○国立韓京大学		2018. 3. 8
○ソウル市立大学		2018. 7.23
○江原大学校	2018. 9. 6	
○誠信女子大学	2019. 1.11	
○国立釜山大学	2019. 7. 1	
カンボジア	○王立プノンベン大学	2009.12.16
シンガポール	南洋理工大学	2007.11. 7
	○シンガポール工科デザイン大学	2015. 4.10
タイ	○プリンス・オブ・ソンクラ大学	1996. 5. 9
	○カセサート大学	2000. 3. 8
	○チュラロンコーン大学	2000. 9.29
	○マヒドン大学	2008.10.29
	○泰日工業大学	2010. 1.18
	○シルパコーン大学	2011. 3. 3
	○アジア工科大学院	2012. 8.31
	○キングモンクット工科大学トンブリ校	2013. 3.28
○チュラポーン大学院大学	2013.11.22	

国名	大学名	締結年月日
タイ	○ラジャマンガラ工科大学タンヤプリ校	2015. 3.24
	○チェンマイ大学	2015. 6.23
	○メーファールアン大学	2016. 8.26
	○ランシット大学	2017. 8.16
	○コンケン大学	2017.12.26
	メコン機構	2018. 2.11
	○サイアム大学	2018. 3.29
	スワンズナンター・ラーチャパット大学	2018. 5.24
	○メージョー大学	2018. 8.20
	チュラポーン研究所	2019.12.11
	○ラチャモンコン工科大学イサーン校サコンナコンキャンパス	2020. 3.17
	○ナレスワン大学	2020.10. 6
	○南台科技大学	2006.12. 6
	雲林科技大学	2006.12.10
	○国立成功大学	2006.12.19
	○東海大学	2008. 9. 1
	国立台湾大学	2008.11. 5
高雄医学大学	2012. 5. 2	
○国立台湾芸術大学	2012. 7.12	
○国立清華大学	2015. 2.12	
銘伝大学	2015.11.10	
○国立台北教育大学	2016. 3.15	
○国立陽明交通大学	2016. 5.10	
○文藻外語大学	2017. 4.20	
○大同大学	2017. 8.22	
○台北医学大学	2017.11. 2	
○国立中央大学	2017.11.22	
○国立政治大学	2018. 8.20	
○中原大学	2018.10. 3	
○国立高雄大学	2018.10.22	
○実践大学	2019. 2.22	
○国立台湾師範大学	2019. 4. 1	
○高雄師範大学	2019. 7.30	
国立台中教育大学	2019. 8.29	
○国立中山大学	2019. 9.25	
○淡江大学	2019.12.23	
○亜洲大学	2020. 3.16	
○湖南大学	1985. 5.10	
○中国農業大学	2001.10.15	
○南京農業大学	2002. 9.28	
○上海交通大学	2002.10.25	
○貴州大学	2006. 6.20	
○清華大学	2007.12.25	
○中央民族大学	2009. 2.17	
○新疆師範大学	2010. 5.10	
○安徽医科大学	2010. 6. 7	
○浙江大学	2010. 6. 9	
○南京信息工程大学	2011. 4. 6	
○北京印刷学院	2011. 9.13	
○浙江工商大学	2012. 5.31	
○中国美术学院	2013. 3.19	
中国医科大学	2013. 6.26	
○天津中医药大学	2013. 9.16	
○大連理工大学	2013.12.19	
○華東理工大学	2013.12.27	
○魯東大学	2014. 5.20	

国名	大学名	締結年月日
中国	東北師範大学	2014.11. 4
	大連医科大学	2015.11.18
	○電子科技大学	2015.12. 5
	○烟台大学	2016. 1. 7
	○北京郵電大学	2016. 6. 1
	○北京林業大学	2016. 9. 8
	○中南大学	2016. 9.23
	○広州美術学院	2016.12.25
	○西北工業大学	2017. 3. 9
	河北医科大学	2017. 3.20
	○長春理工大學	2017. 4.24
	湘潭大学	2017. 5. 9
	○済南大学	2017. 6.27
	○西安交通大学	2017. 7. 1
	○復旦大学	2017.11.21
	○湖南師範大学	2018. 3.14
	○江蘇大学	2018. 3.16
	華僑大学	2018. 4.17
	○上海大学	2018. 5. 8
	○東華大学	2018. 5. 8
	○南京林業大学	2018. 6. 5
	○北京理工大学	2018. 8.30
	○ハルビン工業大学	2018. 9. 2
	○西華師範大学	2018. 9.21
	華東師範大学	2018.10.26
	○江南大学	2018.12.26
	○蘭州大学	2019. 7.24
	○浙江伝媒大学	2019.10. 9
	○華南理工大学	2019.12. 2
	○湖北大学	2019.12. 6
	江西財經大学	2019.12.26
○鄭州大学	2020. 1.10	
○中国農業科学院農業環境及び可持続発展研究所	2020. 2.20	
○重慶大学	2020.10.13	
フィリピン	○フィリピン大学ロスバニョス校	2013. 5.14
	○アテネオ・デ・マニラ大学	2016.11. 4
ベトナム	○ノンラム大学	2013. 2.26
	○インターナショナル大学	2015.12.28
	○ホーチミン技術師範大学	2017. 3. 3
マレーシア	○ホンバン国際大学	2017. 3. 3
	○ハノイ大学	2019. 7.16
	○ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学	2019. 8. 1
アメリカ	○サラワク大学	2010. 4. 5
	○マルチメディア大学	2010. 9.15
	○マラヤ大学	2013. 2.26
	○プトラ・マレーシア大学	2016. 8. 5
	○テナガナショナル大学	2016. 9. 7
	モナシュ大学マレーシア校	2020. 6.23
北米地域		
国名	大学名	締結年月日
アメリカ	○アラバマ大学タスカルーサ校	1984. 1.15
	○ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校	1996. 4.15
	○イリノイ大学シカゴ校	1996. 9.25
	アリゾナ大学	2005. 5.19
	○ウィスコンシン大学ミルウォーキー校	2006.10.10

国名	大学名	締結年月日
アメリカ	ニュースクール大学	2012. 4.10
	○シンシナティ大学	2012. 7.10
	○カレッジ・フォー・クリエイティブ・スタディーズ大学	2015.11.25
	ライス大学	2016. 7.27
	○コンコルディア大学 Wisconsin 校	2020. 9. 1
カナダ	○アルバータ大学	1996. 9.18
	○プリンスエドワードアイランド大学	2016. 5. 6
	○レジャイナ大学	2017. 5.23
	○セントメアリーズ大学	2017.10.12
	○レイクヘッド大学	2018. 3.27
	カールトン大学	2018. 5.12
	○フレーザーバレー大学	2019.12.10

欧州地域

国名	大学名	締結年月日
アイルランド	アイルランド国立大学ダブリン校	2016. 7.27
イギリス	ロンドン大学教育研究所	2011. 3. 3
	○グラスゴー美術大学	2011.10.12
	○ノーザンプリア大学	2015.11.10
	○ヨークセントジョン大学	2018. 4.26
	○ダラム大学	2019. 7.10
イタリア	○ミラノ工科大学	2009.10.26
	○工業デザイン大学ローマ校	2012. 5. 8
	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	2013. 2.18
	○ウディネ大学	2020. 4. 7
○IULM 大学	2020. 5.14	
オーストリア	ウィーン医科大学	2010. 7.12
ギリシャ	○テッサロニキ・アリストテレス大学	2014. 2.28
スイス	○ベルン応用科学大学	2012.12. 5
スウェーデン	○リンショーピン大学	2007. 2.20
	ウプサラ大学	2008.10. 5
スペイン	○サラマンカ大学	2015.12. 8
	○バスク州立大学	2017. 9.28
チェコ	○オストラバ大学	2018.12.10
	○ゲッティンゲン大学	1982. 5.13
	○ライプツィヒ大学	2000. 3. 2
	○デュッセルドルフ大学	2007. 5.21
	○ハイデルベルク大学	2010. 3.25
	フンボルト大学	2010. 5.19
	○シャリテ・ベルリン医科大学	2010.10.12
ドイツ	○ケルン応用科学大学	2012.11. 1
	○ローゼンハイム応用科学大学	2013.11.18
	ブラウンシュバイク工科大学	2014. 2.17
	○ドレスデン応用科学大学	2015. 6.11
	○ベルリン自由大学歴史・文化学部	2016. 7.12
	○アウクスブルク専門大学	2020. 4. 6
ハンガリー	○デブレツェン大学	1996.12. 3
	○セイナヨキ応用科学大学	2000. 9.29
	○東フィンランド大学	2004. 9.13
フィンランド	○アールト大学芸術デザイン校	2008. 6.30
	○ラップランド大学	2009. 4.22
	○ユヴァスキュラ大学	2016. 2.29
	○タンペレ大学	2018. 5. 2
	○パリ東大学	2007. 9. 7
フランス	○レンヌ第一大学	2008. 5.29
	○ESIGELEC ルーアン工学学校	2009. 9.21

国名	大学名	締結年月日
フランス	○ナント大西洋デザイン大学	2010. 1. 4
	○パリ・デザイン大学	2010. 2.16
	○ストレート大学	2010. 6. 7
	○ラサール・ボーヴェ工科大学－ESITPA	2016. 7. 4
	エコール・ノルマル・シュペリウール・パリ サクレ	2017. 5.31
	コートダジュール大学	2017.12.19
	○ブルゴーニュ大学	2018. 5.29
ベルギー	○リエージュ大学	2018. 5. 7
ポルトガル	○IADE	2013. 3. 4
ロシア	○モスクワ国立大学	2007. 5.31
	○ロシア人文大学	2009. 7.15
	○ロシア国立研究大学高等経済学院	2013. 9.30
	○リャザン国立大学	2015.10. 2
	○ロシア国立沿海地方農業アカデミー	2017. 3.28
	○サハリン国立総合大学	2017. 5.24
	○サンクトペテルブルク工科大学	2017. 5.29
	○ウラル連邦大学	2017.12. 7
	○極東農業大学	2019. 4. 1
	○ノボシビルスク農業大学	2019. 6. 5
	○ノボシビルスク国立教育大学	2020. 3.13

オセアニア地域

国名	大学名	締結年月日
オーストラリア	○モナシュ大学	1994. 5.30
	○オーストラリア国立大学	1996. 3.30
	シドニー大学	2000. 2.29
	○RMIT大学(ロイヤルメルボルン工科大学)	2010.10. 8
	○マッコリー大学	2011. 2. 9
ニュージーランド	マッセイ大学	2013. 9.30

中近東地域

国名	大学名	締結年月日
イラク	バグダード大学	2017. 2.13
	ムスタンシリーヤ大学	2018. 2.19
トルコ	○アクデニス大学	2011. 6.26
	○イスタンブール工科大学	2013. 3.15
	○イリディズ工科大学	2013.10.22

中南米地域

国名	大学名	締結年月日
パナマ	○パナマ工科大学	2016. 1. 8
	○パナマ大学	2016. 1. 8
ブラジル	州立カンピーナス大学	2001. 9. 3
ペルー	ペルー国立工科大学	2011. 1.18
	○アグアスカリエンテス自治大学	2011.10.28
	○ヴェラクルス大学	2013. 9.30
	○モンテレイ大学	2014. 7. 8
	○パンアメリカン大学	2015.12.25
	○モンテレイ工科大学	2016. 2. 2
	○イペロアメリカーナ大学	2016.11. 1
	○グアダラハラ大学	2017. 1.11
	グアナファト大学	2018. 2.19
	○メトロポリタン自治大学	2018. 9.27
○メリダマリスタ大学	2019. 1.16	

アフリカ地域

国名	大学名	締結年月日
エジプト	エジプト国立リモートセンシング宇宙科学機関	2017.12. 3
ケニア	○ジョモ・ケニヤッタ農工大学	2019. 5. 3
ウガンダ	バサイトマ大学	2020. 9. 1

以上261協定

部局間協定

アジア地域

令和3年5月1日現在

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
インド	タミールナドゥ農業大学	園芸学部・園芸学研究所	2010. 9.24
	インド農業科学大学農学部バンガロール校	園芸学部・園芸学研究所	2013. 1.22
	SRM大学理工学部	薬学部	2016. 6.30
	ジャワハルラーネルー農業大学	教育学部	2017.11.23
	インドネシア科学院地質工学研究開発センター	理学部・理学研究科	2001. 3.14
	ランブンマンクラット大学農学部	園芸学部・園芸学研究所	2006. 8. 4
	インドネシア気象・気候・地球物理庁	理学部・理学研究科	2008.11. 7
	ガジャマダ大学理学部	工学部・工学研究科	2009. 9. 1
	IPB大学(ボゴール農科大学)大学院	園芸学研究所	2010. 3.19
	ハサヌディン大学環境研究センター・理学部	環境リモートセンシング研究センター・融合理工学研究科	2012. 7. 5
インドネシア	ガジャマダ大学地理学部	融合理工学部・環境リモートセンシング研究センター	2012. 7.10
	ウダヤナ大学大学院プログラム	融合理工学部・環境リモートセンシング研究センター	2012. 7.18
	インドネシア大学工学部・理学部	環境リモートセンシング研究センター・工学研究科・融合科学研究科	2012. 7.31
	バンドン工科大学地球工学部	融合理工学部・環境リモートセンシング研究センター	2012.10. 9
	パジャジャラン大学理学部・農学部・農業工学部・環境学部	融合理工学部・園芸学研究所・環境リモートセンシング研究センター・環境健康フィールド科学センター	2012.11. 7
	インドネシア科学院化学研究センター	工学部・工学研究院	2013. 5.27
	ウダヤナ大学	環境リモートセンシング研究センター	2013.12.20
	マカッサル国立大学 大学院	園芸学研究所	2014. 6.26
	ムラワルマン大学数学・自然科学部	環境リモートセンシング研究センター	2015. 6. 8
	パダン州立大学数学・自然科学部	環境リモートセンシング研究センター	2015. 9. 7
韓国	プディルフル大学環境研究センター	環境リモートセンシング研究センター	2015.12. 2
	西ジャワ州教育局	教育学部	2016. 8. 9
	シアク県	環境リモートセンシング研究センター	2016.11.21
	インドネシア教育大学	教育学部・教育学研究科	2018. 8.15
	アミコム・ジョグジャカルタ大学科学技術学部	環境リモートセンシング研究センター	2020. 7. 8
	全南大学校農業生命科学大学	園芸学部・園芸学研究所	2004. 6.25
	ソウル国立大学農業生命科学部	園芸学部・園芸学研究所	2004. 6.30
	ソウル国立大学芸術学部	工学部・工学研究科	2005. 3.15
	延世大学校工科大学工学部	工学部・工学研究科・融合科学研究科	2010. 4.20
	ソウル国立大学薬学部	薬学部・薬学研究院・医学薬学府	2010. 5. 7
シンガポール	仁済大学校医学部	医学部・医学研究院	2012. 6.27
	国立忠南大学校農業生命科学大学	環境健康フィールド科学センター	2012. 7. 3
	仁荷大学校経済国際通商学部	法政経学部	2012. 7.13
	蔚山科学技術大学校デザイン及び人間工学部	工学部・工学研究科	2014. 6.19
	ソウル国立大学看護学部	看護学研究科	2016. 3.14
	延世大学校人文芸術大学大学院	融合理工学部	2018.10.11
	高麗大学デザイン造形学部	工学部・融合理工学部・工学研究院	2019. 1. 4
	江南大学附属龍仁江南学校	教育学部(附属特別支援学校)	2019. 9.20
	南洋理工大工学機械航空工学部	工学部・工学研究科	2012. 9. 5
	シンガポール国立大学建築学部	工学部・園芸学部・環境健康フィールド科学センター	2015. 1. 1
南洋理工大リーコンチェン医学部	医学研究院	2017. 1.20	
シンガポール国立大学図書館	附属図書館/アカデミック・リンク・センター	2019. 2.25	

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
タイ	チュラロンコーン大学薬学部	薬学部・医学薬学府	1990. 4.16
	チェンマイ大学薬学部	薬学部・薬学研究院・医学薬学府	1996. 2. 2
	マヒドン大学薬学部・大学院	薬学部・薬学研究院・医学薬学府	2000. 4.28
	シルパコーン大学薬学部	薬学部・薬学研究院・医学薬学府	2002.12.25
	タイ国立科学技術開発公社・国立遺伝子工学・生物工学センター	園芸学研究科	2004. 7.15
	メーファールアン大学農工学部	園芸学部・園芸学研究科	2008. 8. 5
	タマサート大学シリントーン国際工学部	フロンティア医工学センター	2008.12.22
	マヒドン大学理学部・大学院	園芸学研究科	2009. 3. 4
	キングモンクット工科大学トンブリ校生物資源工学研究科	園芸学研究科	2014. 8.29
	コンケン大学看護学部	看護学研究科	2015. 2. 2
	ランシット大学建築学部	工学研究科	2016. 2.17
	タマサート大学シリントーン国際工学部	工学部・工学研究科	2016. 4.19
	マハサラカム大学技術学部	園芸学部・園芸学研究科	2016. 9. 8
	シーナカリンウィロート大学薬学部	薬学部	2016.10. 3
	キングモンクット工科大学ノースバンコク校 シリントーン国際タイ・ドイツ工学研究科	融合理工学部・工学研究院	2017.10. 2
	マヒドン大学人文社会学部	教育学部	2019. 3. 1
	プラパ大学理学部食品科学科	園芸学部・園芸学研究科	2020.10.14
台湾	雲林科技大学デザイン学院	工学部・融合理工学部	2009. 8.21
	国立陽明交通大学理学院	工学部・融合理工学部・工学研究院	2010. 1.28
	銘伝大学デザイン学部	工学部・融合理工学部・工学研究院	2012.11.22
	国立中央大学地球科学学院	理学部・理学研究院	2012.12.17
	国立台湾師範大学教育学院	教育学部・教育学研究科	2013. 7.22
	国立陽明交通大学人文社会学院	工学部・融合理工学部・工学研究院	2013.12.15
	台北医学大学医学部	医学研究院	2016. 9.29
	中国医薬大学薬学部	薬学部	2018. 1. 9
	国立台北科技大学デザイン学院	工学部・融合理工学部・工学研究院	2018. 3.26
	国立陽明交通大学理学院	分子キラリティー研究センター	2018. 4.19
	東海大学創意設計芸術学院	工学部・融合理工学部・工学研究院	2018. 7.31
	国立台湾大学医学院	医学部・医学研究院	2020. 2.12
	国立中興大学農業・自然資源学院	園芸学部・園芸学研究科	2021. 3.30
	中国薬科大学薬学院	薬学部・大学院薬学研究院・医学薬学府	1996. 2.28
	中国科学院合肥物質科学研究院	環境リモートセンシング研究センター	1997. 4.12
	瀋陽農業大学	園芸学部・園芸学研究科	2000. 3. 9
	北京林業大学園林学院	園芸学部・園芸学研究科	2001. 9.25
瀋陽薬科大学	薬学部・大学院薬学研究院・医学薬学府	2004. 2. 4	
中国科学院地理科学・資源研究所	園芸学部・園芸学研究科	2005. 8. 8	
中国科学院寒区旱区環境と工程研究所天山氷河観測試験所	理学研究科	2007. 6.26	
清華大学建築学院	園芸学研究科	2007. 8.21	
清華大学浙江清華長三角研究院	園芸学研究科	2007. 9.22	
江南大学設計学院	工学部・融合理工学部・工学研究院	2008. 2.25	
吉林大学基礎医学院	真菌医学研究センター	2008. 2.28	
同済大学設計創意学院	工学部・融合理工学部・工学研究院	2008. 2.28	
中国	山東農業大学	園芸学研究科	2008. 5.12
	貴州医科大学	真菌医学研究センター	2009. 1.20
	上海交通大学研究生院(船舶海洋建築工学院, 生物医学工程学院, 電子情報電気工程学院)	工学研究科	2010. 1.14
	北京大学地球及び空間科学学院	理学部・理学研究院	2010. 3. 1
	上海交通大学デジタルメディスン工学研究センター	フロンティア医工学センター	2010.12. 2
	蘇州大学機能性ナノ・軟質材料研究所	融合科学研究科	2011. 2.24
	北京徳稲アカデミー機構	工学部・工学研究科	2011. 6.11
	上海交通大学農業生物学院	園芸学研究科	2011. 7. 8
	中国社会科学院民族文学研究所	人文公共学府	2013. 3.21
	香港バプチスト大学中国医薬学部	薬学研究院	2013.11.19
	北京科技大学自動化学院	工学部・融合理工学部・工学研究院	2013.12.20
	内モンゴル大学モンゴル学院	人文公共学府	2014. 6. 2

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日	
中国	西安理工大学機械・精密機械工学部、機械・精密工学研究科	工学部・融合理工学府・工学研究院	2014. 7. 2	
	山東大学物理学部	工学部・融合理工学府・工学研究院	2014.10.24	
	電子科技大学電子工学部	工学研究科	2015. 3.20	
	青島理工大学建築・都市計画学院	園芸学部・園芸学研究科	2015. 6. 2	
	南京農業大学	園芸学研究科	2015. 7.30	
	中国科学院亜熱帯農業生態研究所	園芸学部・園芸学研究科	2015.10.16	
	中国農業科学院農業資源と農業区画研究所	園芸学部・園芸学研究科	2016. 5.24	
	大連医科大学看護学部	看護学部・看護学研究科	2016. 5.25	
	華南農業大学農学部	園芸学部・園芸学研究科	2016.12.25	
	南京芸術学院工業デザイン学院	工学研究科	2017. 1. 4	
	湘潭大学信息工程学院	融合科学研究科	2017. 2.23	
	江蘇大学農業工程研究学部	環境健康フィールド科学センター	2017. 4. 6	
	西華大学材料与工程学院	工学部・融合理工学府・工学研究院	2017.10.10	
	復旦大学看護学院	看護学部・看護学研究科	2017.11.21	
	華僑大学工業設計研究院	工学部・融合理工学府・工学研究院	2017.11.28	
	浙江工商大学東方語言文化学院	人文公共学府	2017.12. 4	
	浙江大学コンピュータサイエンス学院	融合理工学府	2018. 2. 6	
	中国地質大学 自動化学院	工学部・融合理工学府・工学研究院	2018. 3. 5	
	香港大学看護学部	看護学研究科	2018. 3.30	
	中国南方科技大学地球と空間科学系	理学部・融合理工学府・理学研究院	2018. 7.28	
	四川大学建築と環境学院	園芸学部・園芸学研究科	2018. 9.25	
	江蘇大学農業設備学部	園芸学研究科・環境健康フィールド科学センター	2018.10.26	
	南京航空航天大学機電工程学院	工学部・融合理工学府・工学研究院	2018.11. 2	
	貴州民族大学文学院	人文科学研究院	2018.12.28	
	北京航空航天大学機械工程及自動化学院	工学部・融合理工学府・工学研究院	2019. 3. 6	
	吉林大學儀器科学与電氣工程学院	理学部・理学研究院	2019. 6. 3	
	大連医科大学附属第一医院	医学部附属病院	2019. 7.25	
	大連医科大学附属第二医院	医学部附属病院	2019. 7.26	
	北京交通大学電子信息工程学院	工学部・融合理工学府・工学研究院	2019. 8. 1	
	湖南農業大学園芸園林学院	園芸学部・園芸学研究科	2019. 8. 5	
	北京大学深セン研究生院 地震活動予測技術研究センター	理学部・理学研究院	2019. 9.18	
	西北工業大学機電学院	工学部・融合理工学府・工学研究院	2019.10.28	
	広州美術学院	融合理工学府	2019.11.15	
	大連医科大学附属第一医院	看護学部・看護学研究科	2019.11.25	
	上海外国語大学日本文化経済学院	人文科学研究院	2019.12.30	
	暨南大学第一臨床医学院	医学研究院	2020. 1.16	
	浙江師範大学工学院	工学部・融合理工学府・工学研究院	2020. 3.30	
	浙江大学薬学院	薬学研究院	2020. 5.14	
	中央民族大学薬学部	薬学部・薬学研究院	2020. 9.22	
	国際稲研究所	園芸学研究科	2007. 6. 7	
	フィリピン	サント・トマス大学理学部・大学院・自然科学研究センター	薬学部・薬学研究院・医学薬学府	2009. 5. 7
		パンガシナン州立大学教育学部	教育学部・教育学研究科	2017. 1. 5
		サンカルロス大学教育学部	教育学部・教育学研究科	2019. 5.10
	ベトナム	ベトナム国立農業大学	園芸学部・園芸学研究科	2003. 2.17
		ベトナム国家大学ハノイ校教育大学	教育学部・教育学研究科	2003. 6. 3
		ベトナム森林大学	環境リモートセンシング研究センター	2014.12.22
	マレーシア	ホーチミン工科大学化学工学部	融合科学研究科	2017. 3.21
ホーチミンシティ医学薬学大学		医学研究院	2017. 8.21	
プトラ・マレーシア大学農学部		園芸学部・園芸学研究科	2011. 8. 3	
マラヤ大学理学部		融合科学研究科	2015.12.21	
テララズ大学バイオサイエンス学部	園芸学部・園芸学研究科	2016. 5. 6		
ミャンマー	スルタンザイナルアビディン大学 応用社会科学部・教養高等教育学部	文学部・人文公共学府・人文科学研究院	2019. 2.12	
	イェンジン農業大学	園芸学研究科	2014. 9. 1	
	ヤンゴン第一医科大学	医学研究院	2017. 3.31	
	マンダレー工科大学	工学部・融合理工学府・工学研究院	2017.11.29	

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
ラオス	ラオス国立大学教育学部	教育学部	2018. 1. 3
北米地域			
国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
アメリカ	ヒューストン大学経商学部	法経学部	1990. 8. 7
	アラバマ大学バーミングハム校看護学部	看護学部	1990. 8.22
	ワシントン大学建築・都市計画学部	園芸学部・園芸学研究科	2004. 3.31
	イリノイ大学シカゴ校医学部	医学部	2007. 3.13
	トーマスジェファーソン大学医学部	医学部・医学研究院	2010. 2.20
	ワシントン大学環境学部環境森林科学学科	園芸学部・園芸学研究科	2010. 6.27
	ニューヨーク州立大学バッファロー校工学及び応用科学部	工学部・融合理工学府・工学研究院	2010.10.25
	サンディエゴ大学看護学部	看護学研究科	2011. 6.27
	チャップマン大学地球システムモデリング観測センター	理学部・理学研究院	2012.12. 5
	ハワイ大学マノア校数学科	理学部・理学研究院	2014. 4. 3
	ハーバード大学公衆衛生大学院	予防医学センター	2014. 6.30
	カリフォルニア大学サンディエゴ校医療科学部門	医学研究院	2015. 8.19
	南カリフォルニア大学医学部ケック校	医学研究院	2016. 9.13
	ハワイ大学マノア校ジョン・A・バーンス医学部	医学部・医学研究院	2020. 2.27
	アルバータ大学薬学部	薬学部	1987. 1.26
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学理学部・植物園・植物研究センター	園芸学部・園芸学研究科	2014. 5.22
	ウォータールー大学レニソン ユニバーシティ カレッジ	理学部・先進科学センター・理学研究科	2016. 5.19
	トロント大学医学部	医学研究院	2019. 3. 4
欧州地域			
国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
イギリス	ウォリック大学文芸学部	文学部	1990.10. 8
	シェフィールド大学社会科学部ランドスケープ学科	園芸学部・園芸学研究科	2013. 3. 4
	ボーンマス美術大学	国際未来教育基幹	2013.12.11
	リーズベケット大学健康・社会科学学部	教育学部	2014. 6. 2
	レスター大学医学部	医学研究院	2017. 8.31
イタリア	アルスター大学看護学部	看護学部・看護学研究科	2019. 4.24
	フィレンツェ大学歴史・考古学・地理学・美術学部	人文社会科学研究科	2011. 3. 9
	ヴェネツィア建築大学	工学部・融合理工学府・工学研究院	2012. 7.16
	ポローニャ大学農獣医学部	園芸学部・園芸学研究科	2013.12.17
	バジリカータ大学工学部	理学部・理学研究科	2015. 4. 6
オランダ	ナポリ大学電気工学・情報技術学科	工学部・融合理工学府・工学研究院	2017. 9.15
	トレント大学土木・環境・機械工学部	工学部・融合理工学府・工学研究院	2017.10.20
	アイントホフエン工科大学工業デザイン学部	工学部・融合理工学府・工学研究院	2009.10.29
スイス	ヌーシャテル大学経済・ビジネス学部	法政経学部・人文公共学府・社会科学研究院	2019. 6. 7
スウェーデン	スウェーデン農業科学大学 ランドスケープ計画・園芸・農業科学部	園芸学部・園芸学研究科	2011.11.24
	ミッドスウェーデン大学 技術メディア学部	工学部・工学研究科	2015. 3.30
スペイン	マドリッド自治大学 マドリッド高度ナノサイエンス研究所	融合科学研究科	2012. 1.10
	カタロニア国際大学建築学部・研究科	工学部・融合理工学府・工学研究院	2017. 7.19
デンマーク	オーフス大学医学部	医学研究院	2016.10.31
	バイロイト大学理工学部	工学部・融合理工学府・工学研究院	2007. 9. 5
	ビュルツブルグ大学物理・天文研究科	工学部・融合理工学府・工学研究院	2009. 9.17
	フンボルト大学第一数学・自然科学部・融合科学研究所	融合科学研究科	2010. 3.15
	アウグズブルク大学数学・自然科学部	融合科学研究科	2010.12.20
ドイツ	カールスルーエ工科大学物理学系	融合理工学府・融合科学研究科	2011.12.20
	ライプニッツ大学ハノーファー 建築・ランドスケープ学部	園芸学部・園芸学研究科	2012.10.10
	ドイツリウマチ研究所	予防医学センター	2013. 8.16
	ドレスデン工科大学建築環境学部	園芸学部・園芸学研究科	2014. 3.13
	ケルン応用科学大学文化科学研究科	融合理工学府	2018. 1.26
フリードリッヒ・シラー大学イェーナ 物理天文学部	工学部・融合理工学府・工学研究院	2019. 9.25	

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
ドイツ	ヴァイヘンステファン・トゥリースドルフ応用科学大学	園芸学部・園芸学研究所	2020. 3.23
ノルウェー	ノルウェー科学技術大学情報・電気電子研究科	工学部・融合理工学府・工学研究院	2014. 9. 9
	インランドノルウェー応用科学大学教育学部	教育学部・教育学研究科	2020. 7.16
ハンガリー	セントイシュトヴァーン大学農業環境科学部	園芸学部・園芸学研究所	2001. 2.21
フィンランド	タンペレ大学教育学部	教育学部・教育学研究科	2011.12.13
	国立パリ建築大学ラ・ヴィレット校	工学部・工学研究科	2015. 3. 4
	ブルゴーニュ大学フランス語教育国際センター	国際未来教育基幹(全学センター)	2015.11.16
フランス	フランス国立保健医学研究機構・IAB/INSERM-CNRS-グルノーブルアルプス大学(U1209)共同研究センター	予防医学センター	2016. 4.12
	コートダジュール大学医学部	予防医学センター・医学研究院	2016. 6.15
	セルジーポントワーズ大学理工学部	工学部・融合理工学府・工学研究院	2017. 7.12
	IFPスクール	融合理工学府・工学研究院	2017.10.16
	クロード・ベルナル・リヨン第一大学理工学部・ポリテックリヨンエンジニア専門学校	工学部・融合理工学府・工学研究院	2018. 3. 2
	トゥールーズ第3大学理工学部	工学部・融合理工学府・工学研究院・フロンティア医工学センター	2019. 4.24
ベルギー	パリ電子電気工学技術高等学院(ESIEE Amiens)	工学部・融合理工学府・工学研究院	2019. 5.22
	ルーヴァンカソリック大学生物工学部・集合物質ナノサイエンス研究所	工学部・融合理工学府・工学研究院	2014.10. 2

オセアニア地域

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
ニュージーランド	オークランド大学モーリスウィルキンスセンター	医学研究院	2012. 3. 1

中近東地域

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
アラブ首長国連邦	アジュマン大学工学部	工学部・工学研究院	2017. 8.24
トルコ	イズミール経済大学美術・デザイン学部	工学部・融合理工学府・工学研究院	2013. 9. 4

中南米地域

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
ブラジル	リオグランデスール連邦大学医学部	医学研究院	2017. 6.13
	サンパウロ大学人文科学部	工学部・融合理工学府・工学研究院・フロンティア医工学センター	2020. 6.24
メキシコ	メキシコ国立自治大学建築学部	工学部・工学研究科	2015. 9.17

アフリカ地域

国名	大学名・部局名	部局名(締結時)	締結年月日
ガーナ	ガーナ大学農学部カデ農業研究センター	環境健康フィールド科学センター	2014. 6. 2

以上221協定(218機関)

令和2年度

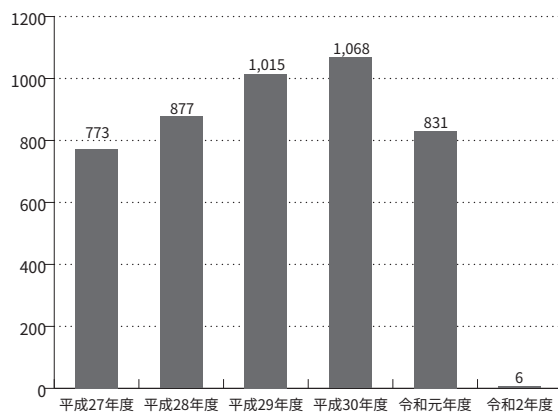
地域	国名	留学・派遣期間				合計
		1ヶ月未満	1ヶ月以上 3ヶ月未満	3ヶ月以上 1年未満	1年以上	
アジア	韓国			1		1
	台湾	1				1
	小計	1		1		2
オセアニア	ニュージーランド				1	1
	小計				1	1
ヨーロッパ	ベルギー			1		1
	マルタ			1		1
	英国			1		1
	小計			3		3
総計		1		4	1	6

備考 学生交流協定校以外への派遣を含む

日本人学生の留学・派遣状況推移

(人)

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
アジア	360	443	478	534	331	2
アフリカ			3	5	6	
オセアニア	33	31	47	47	38	1
ヨーロッパ	192	200	234	233	253	3
中近東	4		2	12	2	
中南米	35	45	45	51	37	
北米	149	158	206	186	164	
合計	773	877	1,015	1,068	831	6



※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全ての海外留学プログラムの実施中止ならびに個別に計画する留学、研究交流、学会参加等のための海外渡航について自粛を要請した。

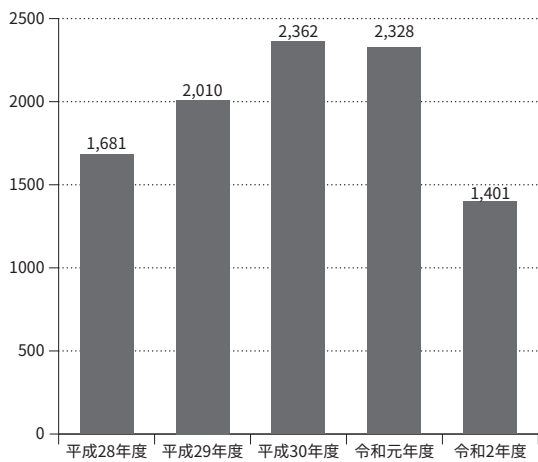
令和2年度外国人学生数一覧(課程別・国籍別)

	学部生	修士生	博士生	研究生	特別 研究学生	特別 聴講学生	委託 研究生	科目等 履修生	専攻生	予備 教育生	その他	総計
	インド	1 (1)	2	2 (1)				1 (1)				6 (3)
	インドネシア共和国	1 (1)	11 (6)	21 (13)	2 (2)	4 (2)				1 (1)	1	41 (25)
	カンボジア王国	4 (4)	5									9 (4)
	シンガポール共和国	1										1 (0)
	スリランカ民主社会主義共和国	1										1 (0)
	タイ王国	6 (1)	15 (2)	2 (1)	1	5 (2)					22	51 (6)
	トルクメニスタン	1 (1)										1 (1)
	ネパール連邦民主共和国		2									2 (0)
	パキスタン・イスラム共和国	1 (1)	1									2 (1)
アジア	バングラデシュ人民共和国	1	5 (3)	1 (1)								7 (4)
	フィリピン共和国	1	1	1 (1)								3 (1)
	ベトナム社会主義共和国	1	3	1	1			1 (1)			9	16 (1)
	マレーシア	6	1									7 (0)
	ミャンマー連邦	2 (1)	7 (4)	1						1 (1)		11 (6)
	モンゴル国	5 (3)	2	2	1							10 (3)
	ラオス人民民主共和国		1									1 (0)
	台湾	3	7	13		24					5	52 (0)
	大韓民国	72 (32)	15	18	2	3				1 (1)	6	117 (33)
	中華人民共和国	87	296 (1)	249 (20)	85 (4)	9	33 (1)	1	3	5	34	802 (26)
	アフガニスタン・イスラム共和国	1 (1)										1 (1)
	イエメン共和国			1 (1)								1 (1)
	イラク共和国		2 (1)									2 (1)
中近東	イラン・イスラム共和国		1									1 (0)
	シリア・アラブ共和国		1									1 (0)
	ヨルダン・ハシミテ王国		1									1 (0)
	ウガンダ共和国		1 (1)									1 (1)
	エジプト・アラブ共和国		1 (1)									1 (1)
	エチオピア連邦民主共和国		1									1 (0)
	ガーナ共和国		1 (1)									1 (1)
	ガボン共和国			1 (1)								1 (1)
	ケニア共和国		1									1 (0)
アフリカ	ジンバブエ共和国		1 (1)									1 (1)
	ナイジェリア連邦共和国	2	1	1 (1)								4 (1)
	ナミビア共和国		1									1 (0)
	ブルキナファソ									1 (1)		1 (1)
	ベナン共和国		1 (1)									1 (1)
	マダガスカル共和国							1 (1)				1 (1)
	マラウイ共和国									1 (1)		1 (1)
北米	アメリカ合衆国	3 (1)				5					149	157 (1)
	アルゼンチン共和国		1 (1)									1 (1)
	エクアドル共和国	1 (1)										1 (1)
	キューバ共和国	1 (1)										1 (1)
中南米	グアテマラ共和国	1 (1)		1 (1)								2 (2)
	コスタリカ共和国	1 (1)										1 (1)
	コロンビア共和国	1 (1)										1 (1)
	パナマ共和国	1 (1)										1 (1)

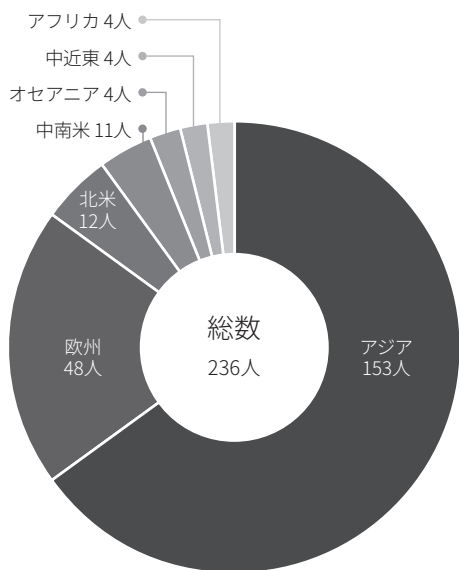
	学部生	修士生	博士生	研究生	特別 研究学生	特別 聴講学生	委託 研究生	科目等 履修生	専攻生	予備 教育生	その他	総計
中南米	ブラジル連邦共和国	1	1	1 (1)	2 (2)			1 (1)				6 (4)
	メキシコ合衆国			2 (1)	1 (1)	2						5 (2)
ヨーロッパ	アイルランド	1										1 (0)
	イタリア共和国					1	2					3 (0)
	ウクライナ						1					1 (0)
	コソボ共和国		1 (1)									1 (1)
	スウェーデン王国						1					1 (0)
	ドイツ連邦共和国						13 (2)					13 (2)
	トルコ共和国		1	1							6	8 (0)
	フィンランド共和国			1			3					4 (0)
	フランス共和国					1	2					3 (0)
	ベルギー王国					1						1 (0)
	ポーランド共和国							1 (1)				1 (1)
	ポルトガル共和国						2					2 (0)
	ロシア連邦						20	1 (1)				21 (1)
	スペイン王国						2					2 (0)
	総計	185 (41)	365 (20)	357 (50)	107 (18)	13 (0)	122 (7)	1 (0)	8 (5)	6 (1)	5 (5)	232 (0)

備考 1 外国人学生数には、在留資格が「留学」以外の一般外国人学生数を含む。また、「その他」にはインターンシップ等で受け入れた者を含む。
2 各区分右の()は、国費外国人留学生数(日韓共同理工系学部留学生を含む)を内数で表す。

外国人学生数推移

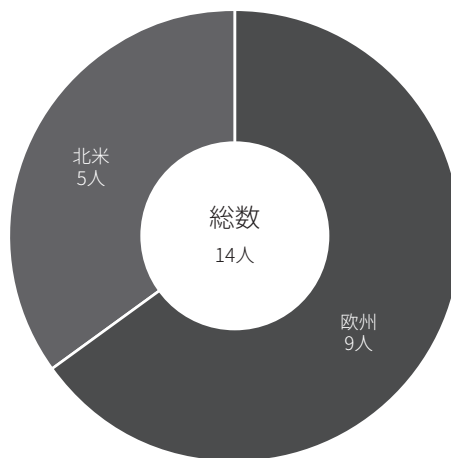


外国人研究員の受入れ数

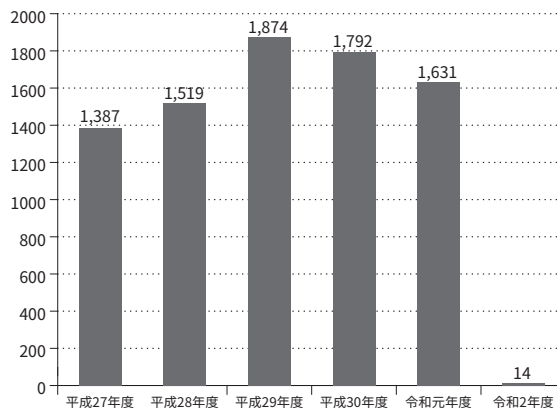
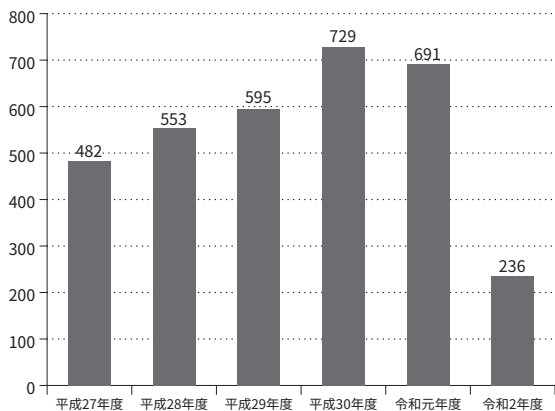


令和2年度実績

教職員の海外派遣者数



令和2年度実績



※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全ての海外留学プログラムの実施中止ならびに個別に計画する留学、研究交流、学会参加等のための海外渡航について自粛を要請した。

総合大学として多様性と学術性を有している千葉大学は、広範な分野でその人的資源等を活用し、地域社会の発展と人材の育成に寄与します。

連携協定一覧

自治体	千葉県	平成18年11月10日	千葉県と国立大学法人千葉大学との連携に関する協定書
	青森県	平成19年07月06日	あomor農工ベストミックス新産業創出構想に関する青森県と国立大学法人千葉大学との連携・協力について
	千葉市	平成22年02月04日	千葉市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	千葉県	平成23年03月29日	国立大学法人千葉大学と千葉県における医療技術研修等に関する協定書
	柏市	平成23年10月29日	柏市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	松戸市	平成25年04月15日	松戸市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	浦安市	平成27年10月23日	浦安市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	墨田区	平成29年03月22日	墨田区と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	船橋市	平成29年04月21日	船橋市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	市原市	平成31年04月09日	市原市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	芝山町	令和02年04月01日	芝山町と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	長柄町	令和02年04月01日	長柄町と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	南房総市	令和02年04月01日	南房総市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
	横芝光町	令和02年04月01日	横芝光町と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定書
企業	株式会社千葉銀行	平成17年12月21日	連携協力に関する協定書
	株式会社千葉ロッテマリーンズ	平成18年04月11日	千葉大学と千葉ロッテマリーンズとの連携協力に関する協定書
	株式会社東日本ジェイアール古河サッカークラブ	平成18年04月11日	千葉大学とジェフユナイテッド市原・千葉との連携に関する協定書
	株式会社千葉銀行	平成24年07月27日	連携協力に関する協定書
	株式会社日本政策金融公庫千葉支店、館山支店、松戸支店及び船橋支店	平成26年10月02日	連携協力に関する協定書
	株式会社千葉興業銀行	平成29年06月23日	連携協力に関する基本協定書
	株式会社JTB総合研究所	平成29年09月29日	連携協力に関する協定書
	株式会社リコー	平成29年11月14日	包括連携研究協力等に関する協定
	伊勢化学工業株式会社、株式会社合同資源、日宝化学株式会社、株式会社ナックテクノサービス	平成29年12月21日	包括連携共同研究推進等に関する協定
	イオン株式会社	平成30年03月14日	連携協力に関する協定書
	東京東信用金庫	平成30年05月16日	連携協力に関する基本協定書
	株式会社ZOZO	平成31年02月13日	連携協力に関する協定書
	キッコーマン株式会社、京成電鉄株式会社、小湊鐵道株式会社、株式会社JTB総合研究所、株式会社千葉銀行、株式会社ちばぎん総合研究所、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社、米屋株式会社	平成31年03月07日	連携協定書
	高校	千葉県立千葉東高等学校	平成13年03月09日
千葉県立幕張総合高等学校		平成13年03月09日	千葉大学と千葉県立幕張総合高等学校との間における連携教育に関する協定
千葉市立千葉高等学校		平成13年03月09日	千葉大学と千葉市立千葉高等学校との間における連携教育に関する協定
千葉県立千葉女子高等学校		平成14年02月25日	千葉大学と千葉県立千葉女子高等学校との間における連携教育に関する協定
千葉県立船橋高等学校		平成18年09月27日	千葉大学と千葉県立船橋高等学校との間における連携教育に関する協定
千葉県立国府台高等学校		平成19年03月13日	千葉大学と千葉県立国府台高等学校との間における連携教育に関する協定
千葉県立柏高等学校		平成19年03月13日	千葉大学と千葉県立柏高等学校との間における連携教育に関する協定
千葉県立千葉南高等学校		平成19年10月26日	千葉大学と千葉県立千葉南高等学校との間における連携教育に関する協定
千葉市立稲毛高等学校		平成21年02月23日	千葉大学と千葉市立稲毛高等学校との間における連携教育に関する協定
千葉県立千葉西高等学校	平成31年03月12日	千葉大学と千葉県立千葉西高等学校との間における連携教育に関する協定	
高専	独立行政法人国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校	平成22年02月16日	教育・研究・社会貢献活動に関する包括協定書
	放送大学	平成11年07月23日	千葉大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書
大学	神田外語大学	平成18年03月30日	千葉大学と神田外語大学との単位互換に関する協定書
	敬愛大学	平成21年03月30日	千葉大学と敬愛大学との単位互換に関する協定書
	城西国際大学	平成21年03月30日	千葉大学と城西国際大学との単位互換に関する協定書
	千葉工業大学	平成22年02月15日	教育・研究・社会貢献活動に関する包括協定書
	東邦大学	平成22年05月25日	教育・研究・社会貢献活動に関する包括協定書
	国立大学法人新潟大学、国立大学法人金沢大学、国立大学法人岡山大学、国立大学法人長崎大学、国立大学法人熊本大学	平成25年03月06日	国立六大学間の包括的な連携に関する協定書
	芝浦工業大学	令和元年06月10日	芝浦工業大学と国立大学法人千葉大学との連携・協力に関する協定書

	地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センター	平成23年03月30日	国立大学法人千葉大学と地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターとの千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターに関する協定書
	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技 大会組織委員会	平成26年06月23日	協定書
	独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部 公益財団法人かずさDNA研究所	平成26年10月01日 平成27年02月06日	地域課題の解決に向けた取組みに係る連携・協力に関する基本協定書 研究交流に関する協定書
	千葉県警察、公益財団法人千葉県産業振興センター、一般社団法人千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、千葉県中小企業団体中央会、千葉工業大学、東京情報大学、独立行政法人国立高等専門学校機構木更津工業高等専門学校	平成28年07月28日	千葉県警察・中小企業支援機関・学術機関相互協力協定書
	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	平成28年10月07日	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館と国立大学法人千葉大学との包括的な連携・協力に関する協定書
その他	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	平成29年02月02日	国立大学法人千葉大学と国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構との包括的連携協力に関する協定書
	インディア・デザイン・カウンシル	平成29年04月17日	Agreement on the Cooperation between National University Corporation Chiba University and India Design Council (国立大学法人千葉大学とインディア・デザイン・カウンシルにおける連携協力に関する協定書)
	公益財団法人日本デザイン振興会	平成29年04月19日	国立大学法人千葉大学と公益財団法人日本デザイン振興会における連携協力に関する協定書
	一般社団法人千葉県商工会議所連合会及び 全国健康保険協会千葉支部	平成29年05月11日	一般社団法人千葉県商工会議所連合会、全国健康保険協会千葉支部及び国立大学法人千葉大学との連携協定書
	千葉県農業協同組合中央会	平成31年02月01日	包括連携協力に関する協定書
	一般社団法人千葉大学経済人倶楽部・絆	令和元年09月20日	連携協力に関する協定書
	公益財団法人千葉県文化振興財団	令和元年11月15日	国立大学法人千葉大学と公益財団法人千葉県文化振興財団との包括的な連携に関する協定書
	墨田区、学校法人電子学園	令和3年3月25日	墨田区、国立大学法人千葉大学及び学校法人電子学園との包括的連携に関する協定書
	独立行政法人日本貿易振興機構	令和3年5月17日	国立大学法人千葉大学と独立行政法人日本貿易振興機構との間における包括的連携連携推進に関する協定書

公開講座の実施状況

02.2

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施講座数	24 講座	25 講座	21 講座	23 講座	19 講座	8 講座
受講者数	834 名	1,590 名	1,192 名	1,198 名	892 名	467 名

高大連携

02.3

高校生理科研究発表会、出張講義、「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」への協力など、高校生を対象としたさまざまな活動を、高校の先生方をはじめ、教育界、産業界、マスコミなどと協力しながら推進しています。また、高等学校との連携教育に関する協定を締結し、千葉大学の一部の授業を高校生に開放しています。

協定校一覧

締結年月日	協定校名
平成13年03月09日	千葉県立千葉東高等学校、千葉県立幕張総合高等学校、千葉市立千葉高等学校
平成14年02月25日	千葉県立千葉女子高等学校
平成18年09月27日	千葉県立船橋高等学校
平成19年03月13日	千葉県立国府台高等学校、千葉県立柏高等学校
平成19年10月26日	千葉県立千葉南高等学校
平成21年02月23日	千葉市立稲毛高等学校
平成31年03月12日	千葉県立千葉西高等学校

開放科目数及び修了者数

開設年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開放科目数	27 科目	29 科目	23 科目	23 科目	17 科目	5 科目
修了者数	99 名	64 名	68 名	58 名	75 名	8 名
					延べ修了者数(平成13年度～令和2年度)	1,705名

役員

令和3年8月1日現在

学長	中 山 俊 憲
理事（企画・人事）	中 谷 晴 昭
理事（教育・国際）	渡 邊 誠
理事（研究）	藤 江 幸 一
理事（運営基盤・情報）	金 原 恭 子
理事（総務）・事務局長	手 島 英 雄
理事（法務）（非常勤）	堀 裕
理事（経営・基金）（非常勤）	岩 崎 俊 博
監事	角 倉 英 司
監事（非常勤）	山 本 友 子

副学長

教育改革	小 澤 弘 明
学修支援	竹 内 比 呂 也
教育・国際	佐 藤 之 彦
入試	佐 藤 智 司
研究	齋 藤 哲 一 郎
研究	柳 澤 章
研究・産学連携	武 居 昌 宏
研究・地域連携	松 岡 延 浩
病院	横 手 幸 太 郎
附属学校	小 宮 山 伴 与 志
広報・ハラスメント対応	中 村 伸 枝

副理事

柏の葉キャンパス	高 垣 美 智 子
全学教育	泉 利 明
ダイバーシティ推進	森 恵 美
情報	今 泉 貴 史
法務	下 井 康 史

学長特別補佐

学生支援	下 永 田 修 二
生涯学習	久 保 勇
UCサンディエゴ	中 島 裕 史
災害治療学研究所	三 木 隆 司
研究	伊 藤 素 行
研究支援・競争的資金	鈴 木 章 文
広報	日 高 祐 一

経営協議会

（学外有識者）

公益財団法人中東調査会 特別顧問	有 馬 龍 夫
株式会社帆風 取締役相談役	犬 養 俊 輔
NHK 解説主幹	岩 田 明 子
株式会社オリエンタルランド 代表取締役会長兼CEO	加 賀 見 俊 夫
セントケア・ホールディング株式会社 取締役 元昭和シェル石油株式会社 会長CEO	香 藤 繁 常

関西大学東京センター長 一般社団法人大学基金推進機構 理事長 元日本私立学校振興・共済事業団 理事長	河 田 悌 一
独立行政法人日本学術振興会 学術システム研究センター 顧問	黒 木 登 志 夫
学校法人津田塾大学 理事長 元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長	島 田 精 一
独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館 館長	銭 谷 眞 美
みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問 フィデアホールディングス株式会社 取締役会議長	西 堀 利
元株式会社千葉日报社 代表取締役	萩 原 博
シリウス・インスティテュート株式会社 代表取締役	船 橋 晴 雄
株式会社@アジア・アソシエイツ・ジャパン 代表取締役	正 宗 エ リ ザ ベ ス
東京医科歯科大学 名誉教授	宮 坂 信 之

（学内委員）

学長	中 山 俊 憲
理事（企画・人事）	中 谷 晴 昭
理事（教育・国際）	渡 邊 誠
理事（研究）	藤 江 幸 一
理事（運営基盤・情報）	金 原 恭 子
理事（総務）・事務局長	手 島 英 雄
理事（法務）（非常勤）	堀 裕
理事（経営・基金）（非常勤）	岩 崎 俊 博
大学院国際学術研究院 教授	小 澤 弘 明
大学院工学研究院 教授	佐 藤 之 彦
大学院医学研究院 教授	松 原 久 裕
大学院医学研究院 教授	横 手 幸 太 郎
大学院看護学研究院 教授	諏 訪 さ ゆ り

教育研究評議会

学長	中 山 俊 憲
理事（企画・人事）	中 谷 晴 昭
理事（教育・国際）	渡 邊 誠
理事（研究）	藤 江 幸 一
理事（運営基盤・情報）	金 原 恭 子
理事（総務）・事務局長	手 島 英 雄
理事（法務）（非常勤）	堀 裕
理事（経営・基金）（非常勤）	岩 崎 俊 博
教育学部長	小 宮 山 伴 与 志
大学院国際学術研究院長	小 澤 弘 明
大学院人文科学研究院長	岡 部 嘉 幸
大学院社会科学研究院長	佐 藤 栄 作
大学院理学研究院長	佐 藤 利 典
大学院工学研究院長	佐 藤 之 彦
大学院園芸学研究院長	松 岡 延 浩
大学院医学研究院長	松 原 久 裕
大学院薬学研究院長	森 部 久 仁 一

大学院看護学研究院長	諏訪 さゆり
医学部附属病院長	横手 幸太郎
環境リモートセンシング研究センター長	服部 克巳
真菌医学研究センター長	笹川 千尋
教育学部 教授	加藤 徹也
大学院国際学術研究院 教授	前田 早苗
大学院人文科学研究院 教授	大峰 真理
大学院社会科学研究院 教授	小林 正弥
大学院理学研究院 教授	松元 亮治
大学院工学研究院 教授	赤染 元浩
大学院園芸学研究院 教授	高垣 美智子
大学院医学研究院 教授	三木 隆司
大学院薬学研究院 教授	高野 博之
大学院看護学研究院 教授	眞嶋 朋子
大学院医学研究院 教授(医学部附属病院選出)	吉野 一郎
附属図書館長	竹内 比呂也
事務局長	手島 英雄 (再掲)
副学長(教育改革)	小澤 弘明 (再掲)
副学長(学修支援)	竹内 比呂也 (再掲)
副学長(教育・国際)	佐藤 之彦 (再掲)
副学長(入試)	佐藤 智司
副学長(研究)	齋藤 哲一郎
副学長(研究)	柳澤 章
副学長(研究・産学連携)	武居 昌宏
副学長(研究・地域連携)	松岡 延浩 (再掲)
副学長(病院)	横手 幸太郎 (再掲)
副学長(附属学校)	小宮山 伴与志 (再掲)
副学長(広報・ハラスメント対応)	中村 伸枝

学長選考会議

経営協議会において選出された者

公益財団法人中東調査会 特別顧問	有馬 龍夫
株式会社帆風 取締役相談役	犬養 俊輔
関西大学東京センター長	
一般社団法人大学基金推進機構 理事長	河田 悌一
元日本私立学校振興・共済事業団 理事長	
独立行政法人日本学術振興会 学術システム研究センター 顧問	黒木 登志夫
学校法人津田塾大学 理事長	
元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長	島田 精一
独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館 館長	銭谷 眞美
東京医科歯科大学 名誉教授	宮坂 信之

教育研究評議会において選出された者

大学院国際学術研究院長	小澤 弘明
大学院理学研究院長	佐藤 利典
大学院工学研究院長	佐藤 之彦
大学院園芸学研究院長	松岡 延浩

大学院医学研究院長	松原 久裕
大学院看護学研究院長	諏訪 さゆり
医学部附属病院長	横手 幸太郎

機構長・部門長等

グローバルプロミネント研究基幹長	中山 俊憲
国際未来教育基幹長	中山 俊憲
グローバル・キャンパス推進基幹長	中山 俊憲
経営戦略基幹長	中山 俊憲
運営基盤機構長	中谷 晴昭
運営基盤戦略室長	中谷 晴昭
危機管理部門長	中谷 晴昭
大学評価部門長	中谷 晴昭
IR部門長	中谷 晴昭
ダイバーシティ推進部門長	森 恵美
地域連携推進部門長	金原 恭子
アラムナイ部門長	竹内 比呂也
情報環境部門長	金原 恭子
キャンパス整備企画部門長	中谷 晴昭
学術研究・イノベーション推進機構長	藤江 幸一
研究戦略企画本部長	藤江 幸一
広報・IR室長	藤江 幸一
連携推進企画室長	松岡 延浩
基盤整備室長	西田 篤司
戦略企画支援室長	鈴木 章文
リスクマネジメント室長	鈴木 健之
研究支援・推進本部長	西田 篤司
学術研究基盤支援部長	齋藤 哲一郎
プロジェクト推進部長	柳澤 章
知財・技術移転部長	武居 昌宏
総合安全衛生管理機構長	今関 文夫
人文社会科学系教育研究機構長	山田 賢
自然科学系教育研究機構長	佐藤 之彦
未来医療教育研究機構長	中山 俊憲
広報戦略本部長	岩崎 俊博
広報戦略室長	中村 伸枝

部局長・センター長

国際教養学部長	小澤 弘明
文学部長	岡部 嘉幸
法政経学部長	佐藤 栄作
教育学部長	小宮山 伴与志
理学部長	佐藤 利典
工学部長	佐藤 之彦
園芸学部長	松岡 延浩
医学部長	松原 久裕
薬学部長	森部 久仁一
看護学部長	諏訪 さゆり
大学院人文公共学府長	山田 賢
大学院専門法務研究科長	下井 康史
大学院教育学研究科長	小宮山 伴与志

大学院融合理工学府長	佐藤之彦
大学院園芸学研究科長	松岡延浩
大学院医学薬学府長	齋藤哲一郎
大学院看護学研究科長	諏訪さゆり
大学院総合国際学位プログラム長	神里達博
大学院国際学術研究院長	小澤弘明
大学院人文科学研究院長	岡部嘉幸
大学院社会科学研究院長	佐藤栄作
大学院理学研究院長	佐藤利典
大学院工学研究院長	佐藤之彦
大学院園芸学研究院長	松岡延浩
大学院医学研究院長	松原久裕
大学院薬学研究院長	森部久仁一
大学院看護学研究院長	諏訪さゆり
附属図書館長	竹内比呂也
医学部附属病院長	横手幸太郎
環境リモートセンシング研究センター長	服部克巳
真菌医学研究センター長	笹川千尋
アカデミック・リンク・センター長	竹内比呂也
共用機器センター長	西田篤司
統合情報センター長	今泉貴史
先進科学センター長	真鍋佳嗣
グローバル関係融合研究センター長	酒井啓子
海洋バイオシステム研究センター長	富樫辰也
ソフト分子活性化研究センター長	荒井孝義
ハドロン宇宙国際研究センター長	吉田滋
分子キラリティー研究センター長	尾松孝茂
デザイン・リサーチ・インスティテュート長	植田憲
フロンティア医工学センター長	羽石秀昭
環境健康フィールド科学センター長	高垣美智子
バイオメディカル研究センター長	幡野雅彦
社会精神保健教育研究センター長	伊豫雅臣
予防医学センター長	森千里
未来医療教育研究センター長	花岡英紀
再生治療学研究センター長	本橋新一郎
子どものこころの発達教育研究センター長	清水栄司
植物分子科学研究センター長	齋藤和季
アイソトープ実験施設長	上原知也
千葉大学・上海交通大学 国際共同研究センター長	劉浩

事務局等

事務局長	手島英雄
事務局付部長	中山善将
事務局付課長（柏の葉地区等経営改革担当）	根本純一
企画総務部長	高見太也
企画総務部付課長（労務担当）	伊藤知由
総務課長	小島安利
企画政策課長	葛城昌弘
人事労務課長	宮近一豊
渉外企画課長	立石公史

情報企画課長	土井光広
財務部長	牧野映也
財務企画課長	佐々木淳
経理課長	齋藤隼人
契約課長	岡田裕二
研究推進部長	鈴木健之
研究推進課長	岡田章秀
産学連携課長	吉田正彦
学務部長	菅野仁
国際統括役	高尾喜代志
教育企画課長	坂本陽子
学生支援課長	丹谷浩一
就職支援課長	田中和茂
入試課長	有賀昭彦
国際企画課長	高尾喜代志 （再掲）
留学生課長	戸田貴子
施設環境部長	前田弘喜
施設環境部付課長（再開発担当）	澁谷祐二
施設企画課長	関英徳
建築環境課長	有野克己
設備環境課長	滝口光信
西千葉地区事務部長	野田和宏
人社会総務課長	多田幸敏
理工系総務課長	天野千恵子
人社会学務課長	伊藤由香
教員養成系学務課長	森田健一
理工系学務課長	杉木清彦
玄鼻地区事務部長	小川明宏
総務課長	三浦一男
管理企画課長	石川薫
研究推進課長	齋藤浩之
学務課長	杉村晃江
松戸地区事務部 松戸地区事務課長	須田敏之
柏の葉地区事務部 柏の葉地区事務課長	根本純一 （再掲）
墨田地区事務部 墨田地区事務課長	葛城昌弘 （再掲）
附属図書館事務部長	鈴木修二
利用支援企画課長	鈴木宏子
学術コンテンツ課長	綾部輝幸
医学部附属病院事務部長	多田典史
総務課長	荘野典文
経営企画課長	細川敬貴
研究推進課長	大塚隆司
管理課長	渡辺勉
医事課長	富永吉司
医療サービス課長	鹿倉敏則
監査室長	生稲猛
学長企画室長	中山善将 （再掲）

役員・教職員数

03.2

(令和3年8月1日現在)

区分	役員	教員					教員 小計	特任 研究員	教諭	事務職 技術職	医療職 その他	合計
		教授	准教授	講師	助教	助手						
学長	1											1
理事(非常勤含む)	7											7
監事(非常勤含む)	2											2
事務局									279			279
西千葉地区事務部									115	1		116
亥鼻地区事務部									70			70
松戸地区事務部松戸地区事務課									15			15
柏の葉地区事務部柏の葉事務課									19			19
墨田地区事務部墨田地区事務課									3			3
教育学部		54	36		3		93		99		1	193
大学院国際学術研究院		17	22	1	6		46					46
大学院人文科学研究院		35	16		6		57					57
大学院社会科学研究院		38	20	3	1	3	65					65
大学院理学研究院		41	38	2	11		92	1				93
大学院工学研究院		64	60		30		154	4				158
大学院園芸学研究院・園芸学部		33	17	6	8		64	3		1		68
大学院医学研究院・医学部		48	37	40	65		190	5		18		213
大学院薬学研究院・薬学部		18	9	7	17		51			1		52
大学院看護学研究院・看護学部		19	9	8	16	1	53			1		54
附属図書館									25			25
医学部附属病院		17	14	34	166		231	4		158	1,349	1,742
環境リモートセンシング研究センター		3	6	1	4		14	1				15
真菌医学研究センター		4	6		4		14	1		3	1	19
アカデミック・リンク・センター			4	2	1		7					7
統合情報センター		4	4				8					8
先進科学センター		2			3		5					5
海洋バイオシステム研究センター		1	1				2					2
ハドロン宇宙国際研究センター		1					1	1				2
デザイン・リサーチ・インスティテュート		12	6		4		22					22
フロンティア医工学センター		8	6		2		16					16
環境健康フィールド科学センター		2	1	1	6		10	2				12
バイオメディカル研究センター			1		2		3					3
社会精神保健教育研究センター		3		3			6					6
予防医学センター		4	4		7		15	9		1		25
未来医療教育研究センター					1		1					1
子どものこころの発達教育研究センター		3		2	2		7					7
グローバルプロミネント研究基幹		2	5		5		12	5				17
国際未来教育基幹		2		13	4		19					19
運営基盤機構		1					1	1				2
学術研究・イノベーション推進機構		3	1	3	1		8	5				13
総合安全衛生管理機構		2	2		2		6				3	9
人文社会科学系教育研究機構					1		1					1
自然科学系教育研究機構		1					1					1
未来医療教育研究機構			1		2		3	1		1		5
学長企画室										1		1
監査室										3		3
合計	10	442	326	126	380	4	1,278	43	99	714	1,355	3,499

※特定雇用職員(常勤)を含む。ただし、特定雇用職員(常勤)のうち、令和3年4月1日以降、1年以上の雇用が見込まれない者及びクロスアポイント協定により本学での勤務割合(エフォート)が50%未満の者を除く。

※非常勤職員、特定雇用職員(短時間)除く。

附属図書館

03.3

蔵書数

(令和3年3月31日現在)

	図書(冊)			電子ブック 利用可能数(種)	雑誌(種)			電子ジャーナル 利用可能数(種)
	和書	洋書	計		和雑誌	洋雑誌	計	
本館	653,187	330,787	983,974	32,427	9,866	5,814	15,680	20,029
亥鼻分館	119,198	121,638	240,836	32,442	2,738	3,111	5,849	19,975
松戸分館	54,900	14,120	69,020	32,427	3,088	878	3,966	19,923
計	827,285	466,545	1,293,830	32,442	15,692	9,803	25,495	20,087

開館・休館

	授業期間		休業期間	
	平日	土・日・祝日	平日	土・日・祝日
本館	8:30-22:30	10:30-18:00	9:00-16:45	閉館
亥鼻分館	8:40-21:45	10:30-20:00	9:00-16:45	閉館
松戸分館	9:00-21:00	10:30-18:00	9:00-16:50	閉館

利用状況等(令和2年度)

	開館日数 (日)	入館者数 (人)	貸出冊数 (冊)	文献複写件数		現物貸借件数		ガイダンス 開催回数
				受託	依頼	受託	依頼	
本館	299	109,264	110,895	1,442	1,520	283	774	11
亥鼻分館	326	21,123	19,287	2,393	1,425	19	29	5
松戸分館	279	10,999	4,474	195	58	15	9	4
計		141,386	134,656	4,030	3,003	317	812	20

附属学校

03.4

園児・児童・生徒の学級数及び定員数

・幼稚園

学級編成	学級数	定員
3歳児	1	28
4歳児	2	56
5歳児	2	56
計	5	140

・中学校

学年	学級数	定員
1年	4	140(12)
2年	4	140(12)
3年	4	140(12)
計	12	420(36)

()は、帰国生徒数で外数

・小学校

学年	学級数	定員
1年	3	105
2年	3	105
3年	3	105
4年	3(1)	105(15)
5年	3(1)	105(15)
6年	3(1)	105(15)
計	18(3)	630(45)

()は、帰国児童学級数・帰国児童数で外数

・特別支援学校

部	学年	学級数	定員
小学部	低中高	3	18
中学部	1・2・3	3	18
高等部	1・2・3	3	24
計		9	60

04 学生

| 学生数(学部、研究生等)

04.1

学部学生在校者数、定員

(令和3年5月1日現在)

※数値は休学者・外国人留学生を含む

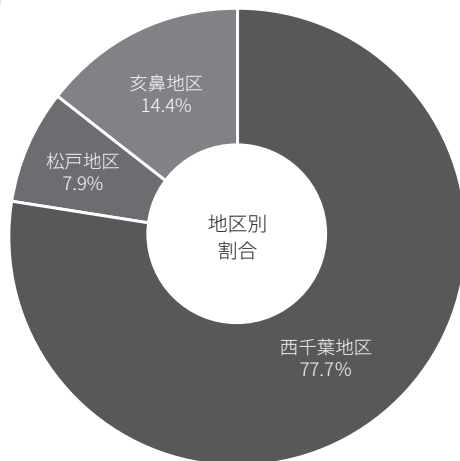
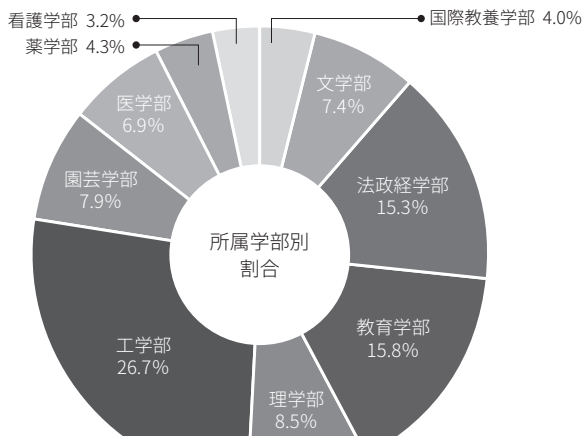
学部・学科等	在籍者数															定員
	1年次			2年次			3年次			4年次(5・6年次)			計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
国際教養学部 国際教養学科	40	51	91	44	57	101	33	66	99	48	74	122	165	248	413	360
行動科学科										3	1	4	3	1	4	-
史学科							1		1	1	1	2	2	1	3	-
日本文化学科										1	1	2	1	1	2	-
国際言語文化学科										1	1	2	1	1	2	-
文学部 人文学科行動科学コース	28	45	73	36	46	82	36	43	79	48	50	98	148	184	332	
人文学科歴史学コース	23	9	32	16	17	33	21	13	34	24	17	41	84	56	140	700
人文学科日本・ユーラシア文化コース	15	17	32	11	19	30	14	19	33	10	23	33	50	78	128	
人文学科国際言語文化コース	11	26	37	7	28	35	11	30	41	7	35	42	36	119	155	
先進科学プログラム				1	1	2						1	1	2	3	-
計	77	97	174	71	111	182	83	105	188	95	130	225	326	443	769	700
法経学部 経済学科										1		1	1		1	-
計										1		1	1		1	-
法政経学部 法政経学科	256	116	372	255	121	376	257	117	374	336	126	462	1,104	480	1,584	1,480
小学校教員養成課程					1	1	2	1	3	111	160	271	113	162	275	245
中学校教員養成課程							1	1	2	42	54	96	43	55	98	85
特別支援教育教員養成課程										4	18	22	4	18	22	20
幼稚園教員養成課程										2	21	23	2	21	23	20
養護教諭養成課程											41	41		41	41	35
スポーツ科学課程										1		1	1		1	-
教育学部 学校教員養成課程小学校コース	69	98	167	73	98	171	66	99	165				208	295	503	
学校教員養成課程中学校コース	33	11	44	33	14	47	25	18	43				91	43	134	
学校教員養成課程小中専門教科コース	21	45	66	17	45	62	16	52	68				54	142	196	
学校教員養成課程英語教育コース	12	27	39	18	22	40	16	22	38				46	71	117	1,170
学校教員養成課程特別支援教育コース	8	22	30	8	23	31	10	20	30				26	65	91	
学校教員養成課程乳幼児教育コース		21	21	1	20	21		20	20				1	61	62	
学校教員養成課程養護教諭コース		25	25		25	25		26	26					76	76	
計	143	249	392	150	248	398	136	259	395	160	294	454	589	1,050	1,639	1,575
理学部 数学・情報数理学科	45	2	47	38	4	42	40	3	43	54	2	56	177	11	188	176
物理学科	36	5	41	36	2	38	34	5	39	51	4	55	157	16	173	156
化学科	30	10	40	35	11	46	34	10	44	38	11	49	137	42	179	156
生物学科	22	19	41	22	18	40	25	17	42	28	24	52	97	78	175	156
地球科学科	30	9	39	31	9	40	27	13	40	31	13	44	119	44	163	156
先進科学プログラム	1		1	2		2	3		3	1		1	7		7	-
計	164	45	209	164	44	208	163	48	211	203	54	257	694	191	885	800
工学部 建築学科								1	1	3		3	3	1	4	-
都市環境システム学科							1	1	1		1	1	1	1	2	-
デザイン学科							1	1	1	6	1	7	6	2	8	-
機械工学科										7		7	7		7	-
メディカルシステム工学科				1		1	1		1	1		1	3		3	-
電気電子工学科							1		1	10		10	11		11	-
ナノサイエンス学科				1		1				3		3	4		4	-
共生応用化学科				1		1				3		3	4		4	-
画像科学科				1		1				4		4	5		5	-
情報画像学科										2		2	2		2	-
総合工学科建築学コース	62	11	73	53	18	71	60	24	84	46	33	79	221	86	307	
総合工学科都市環境システムコース	43	8	51	47	8	55	43	15	58	50	16	66	183	47	230	
総合工学科デザインコース	29	34	63	38	29	67	44	24	68	41	31	72	152	118	270	
総合工学科機械工学コース	78		78	84	1	85	92	7	99	78	6	84	332	14	346	
総合工学科医工学コース	29	14	43	27	14	41	31	19	50	31	11	42	118	58	176	2,600
総合工学科電気電子工学コース	70	2	72	65	7	72	91	1	92	82	6	88	308	16	324	
総合工学科物質科学コース	69	6	75	74	16	90	65	8	73	58	16	74	266	46	312	
総合工学科共生応用化学コース	67	28	95	80	17	97	77	25	102	73	27	100	297	97	394	
総合工学科情報工学コース	78	4	82	82	7	89	75	5	80	103	7	110	338	23	361	
先進科学プログラム				1		1	1		1				2		2	-
計	525	107	632	555	117	672	582	130	712	601	155	756	2,263	509	2,772	2,600
																60

学部・学科等	在籍者数															定員 3年次 編入学			
	1年次			2年次			3年次			4年次(5・6年次)			計						
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
園芸学部	園芸学科	38	29	67	38	31	69	34	33	67	37	38	75	147	131	278	256		
	応用生命化学科	10	21	31	12	22	34	17	16	33	10	21	31	49	80	129	124		
	緑地環境学科	38	33	71	37	34	71	36	31	67	42	35	77	153	133	286	264		
	食料資源経済学科	13	19	32	15	14	29	10	19	29	15	24	39	53	76	129	116		
	計	99	102	201	102	101	203	97	99	196	104	118	222	402	420	822	760		
医学部	医学科		80	41	121	79	35	114	95	38	133	4年次	92	19	111	523	193	716	712
									5年次	90	29	119							
									6年次	87	31	118							
薬学部	薬学科・薬科学科	30	38	68	32	40	72							62	78	140	-		
	薬学科		2	8	10	2	8	10	19	32	51	4年次	13	30	43	65	133	198	270
									5年次	14	27	41							
									6年次	15	28	43							
	薬科学科	11	7	18	4	8	12	26	13	39		27	14	41	68	42	110	160	
計	43	53	96	38	56	94	45	45	90	4年次	40	44	84	195	253	448	430		
看護学部	看護学科		2	82	84	4	80	84	2	80	82	2	80	82	10	322	332	340	10
												4年次	1,682	1,094	2,776				
												5年次	104	56	160	6,272	4,109	10,381	9,757
合計	1,429	943	2,372	1,462	970	2,432	1,493	987	2,480	6年次	102	59	161						

研究生等在籍者数

(令和3年5月1日現在)

部局名	在籍者数															総計			
	特別聴講学生			科目等履修生			研究生			専攻生			委託研究生				特別研究学生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計
国際教養学部	11	13	24		1	1	2	2											27
文学部		1	1	8	11	19	1	5	6										26
法政経学部		1	1	3	2	5													6
教育学部	1		1	13	19	32	3	2	5	2	5	7	22	21	43				88
理学部	0			1		1	2	1	3										4
工学部	8	3	11	6	1	7	38	8	46	1		1							65
園芸学部	2	2	4	2	6	8	2	14	16	1	2	3							31
医学部				1		1													1
薬学部				4	2	6	3		3										9
看護学部							1	1											1
人文公共学府				1	3	4													4
教育学研究科				22	22	44	1	1											45
融合理工学府	5	5	10				5	2	7							3	1	4	21
園芸学研究科	2		2				1	1											3
医学薬学府				8	31	39	12	12	24							8	5	13	76
看護学研究科	3	3		2	2		6	6					1	1					12
環境リモートセンシング 研究センター							8	4	12										12
合計	29	28	57	69	100	169	74	59	133	4	7	11	22	22	44	11	6	17	431



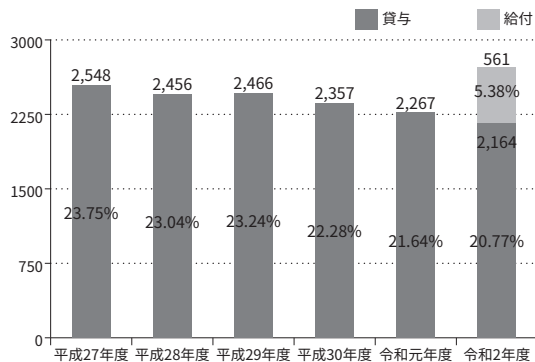
※法政経学部は、法経学部の1名を含む。

日本学生支援機構奨学生数

(令和2年度)

区分	学生数	貸与奨学生数	給付奨学生数
学部	10,421	2,164 (20.77%)	561 (5.38%)

備考:奨学生数は各年度2月末日現在の延べ人数で示す。
 ()内は学生数に対する奨学生数の割合
 専攻生・別科生を含む
 給付奨学金は令和2年度より開始



| 学生数(大学院)

04.2

大学院学生在籍者数、定員

(令和3年5月1日現在)
※数値は休学者・外国人留学生を含む

研究科・専攻等	年次	在籍者数												定員						
		1年次			2年次			3年次			4年次				5年次			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
人文社会科学 研究科	(博士前期課程)	地域文化形成専攻				1	1									1	1	—		
		公共研究専攻				1	1									1	1	—		
	計				2	2									2	2	—			
	(博士後期課程)	公共研究専攻						13	7	20						13	7	20		
人文公共学府	(博士前期課程)	社会科学専攻						1	1							1	1	—		
		文化科学研究専攻						4	5	9						4	5	9		
	計						18	12	30						18	12	30			
専門法務 研究科	(専門職学位 課程)	法務専攻2年コース				15	5	20	7	6	13					22	11	33		
		法務専攻3年コース	8	2	10	8	4	12	7	2	9					23	8	31		
	計	8	2	10	23	9	32	14	8	22					45	19	64			
教育学研究科	(修士課程)	学校教育科学専攻				1	1	2							1	1	2			
		教科教育科学専攻				1	1								1	1	—			
		学校教育学専攻	28	28	56	43	46	89							71	74	145			
	計	28	28	56	44	48	92							72	76	148				
(専門職学位課程)	高度教職実践専攻	10	1	11	8	19	27							18	20	38				
理学研究科	(博士後期課程)	基礎理学専攻						3	3							3	3	—		
		地球生命圏科学専攻						1	1							1	1	—		
	計						3	1	4						3	1	4			
工学研究科	(博士後期課程)	建築・都市科学専攻						6	2	8						6	2	8		
		デザイン科学専攻						4	5	9						4	5	9		
		人工システム科学専攻						8	1	9						8	1	9		
		共生応用化学専攻						1	1							1	1	—		
計						19	8	27						19	8	27				
融合科学 研究科	(博士後期課程)	ナノサイエンス専攻						1	1							1	1	—		
		情報科学専攻						2	2							2	2	—		
		計						3	3							3	3	—		
融合理工学府	(博士前期課程)	数学情報科学専攻	65	10	75	62	6	68							127	16	143			
		地球環境科学専攻	54	10	64	69	14	83							123	24	147			
		先進理化学専攻	173	42	215	164	45	209							337	87	424			
		創成工学専攻	82	46	128	86	49	135							168	95	263			
		基幹工学専攻	151	7	158	154	7	161							305	14	319			
	計	525	115	640	535	121	656							1,060	236	1,296				
(博士後期課程)	数学情報科学専攻	4	2	6	5	3	8	13	2	15					22	7	29			
	地球環境科学専攻	10	4	14	7	1	8	10	7	17					27	12	39			
	先進理化学専攻	17	5	22	19	5	24	21	4	25					57	14	71			
	創成工学専攻	9	10	19	8	13	21	23	13	36					40	36	76			
	基幹工学専攻	15	4	19	22	3	25	24	6	30					61	13	74			
計	55	25	80	61	25	86	91	32	123					207	82	289				
園芸学研究科	(博士前期課程)	環境園芸学専攻	57	85	142	61	66	127							118	151	269			
	(博士後期課程)	環境園芸学専攻	13	8	21	10	20	30	18	18	36					41	46	87		

研究科・専攻等	年次	在籍者数															定員			
		1年次			2年次			3年次			4年次			5年次				計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計
(修士課程)	医科学専攻	19	13	32	11	13	24										30	26	56	54
	総合薬品科学専攻	30	17	47	36	16	52										66	33	99	100
	計	49	30	79	47	29	76										96	59	155	154
医学薬学府 (4年博士課程)	先端生命科学専攻										1	1					1		1	—
	先端医学薬学専攻	85	33	118	84	34	118	94	31	125	98	44	142				361	142	503	432
	先進予防医学共同専攻	8	2	10	8		8	6	4	10	8	3	11				30	9	39	40
	計	93	35	128	92	34	126	100	35	135	107	47	154				392	151	543	472
(後期3年博士課程)	先端創薬科学専攻	13	5	18	13	5	18	17	4	21							43	14	57	45
(博士前期課程)	看護学専攻	2	32	34	1	25	26										3	57	60	65
(修士課程)	看護システム管理学専攻				1	9	10	12	12								1	21	22	24
看護学研究科 (博士後期課程)	看護学専攻	3	14	17	5	11	16	8	28	36							16	53	69	39
(5年一貫制博士課程)	共同災害看護学専攻							1	1		2	2		4	4		7	7	14	8
総合国際学位プログラム (修士課程)		2	1	3	4	2	6										6	3	9	[10]
合 計		882	405	1,287	939	459	1,398	309	176	485	107	49	156	4	4	8	2,237	1,093	3,330	3,012

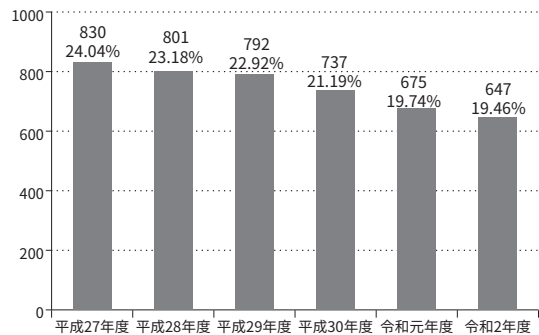
※ []内の数字は、千葉大学大学院学則第26条の2に規定する二以上の研究科から、研究科等連係課程実施基本組織に活用する入学定員及び収容定員を示す。

日本学生支援機構奨学生数

(令和2年度)

区 分	学生数	貸与奨学生数
大 学 院	3,325	647 (19.46%)

備考 奨学生数は各年度2月末日現在の延べ人数で示す。
()内は学生数に対する奨学生数の割合



入学状況(学部)

04.3

学部学生の入学状況

(令和3年度入試)

学部名	入学定員	入学志願者			入 学 者			計
		志願者数	倍 率	新 卒	既 卒	そ の 他		
国際教養学部	90	350	3.9	82	8	1	91	
文 学 部	170	886	5.2	144	27	0	171	
法 政 経 学 部	370	2,124	5.7	301	68	1	370	
教 育 学 部	390	1,112	2.9	343	44	4	391	
理 学 部	200	1,385	6.9	150	48	2	200	
工 学 部	620	3,727	6.0	472	149	1	622	
園 芸 学 部	190	929	4.9	149	49	0	198	
医 学 部	117	808	6.9	82	36	0	118	
薬 学 部	90	660	7.3	86	8	1	95	
看 護 学 部	80	242	3.0	74	8	0	82	
計	2,317	12,223	5.3	1,883	445	10	2,338	

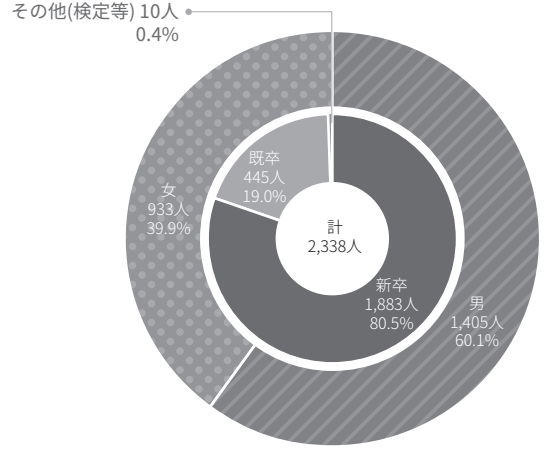
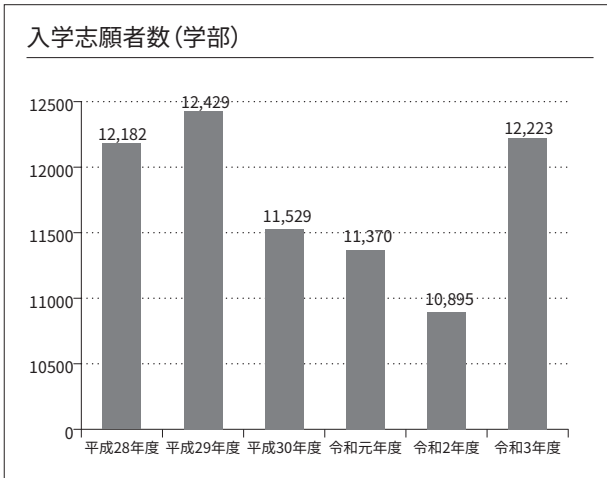
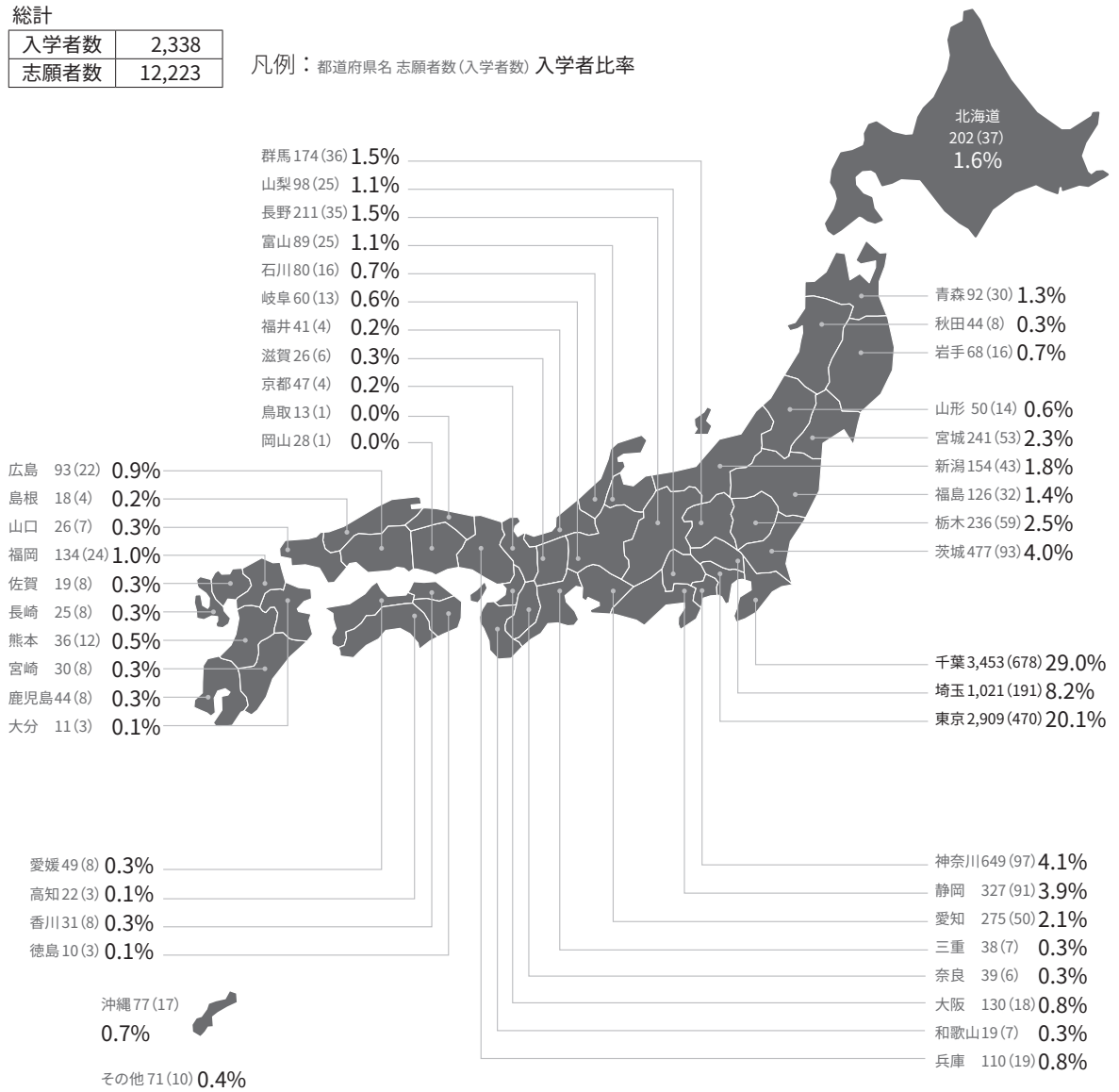
(備考) 一般選抜・総合型・学校推薦型・園芸創発学プログラム・帰国子女・社会人・先進科学プログラムを合計した。

入学者内訳 (令和3年度)

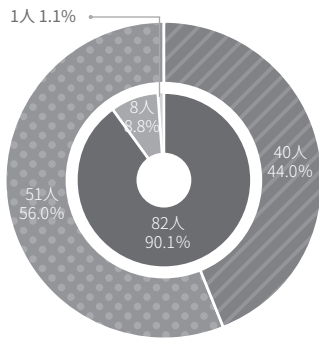
総計

入学者数	2,338
志願者数	12,223

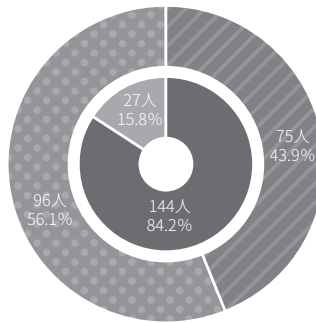
凡例：都道府県名 志願者数(入学者数) 入学者比率



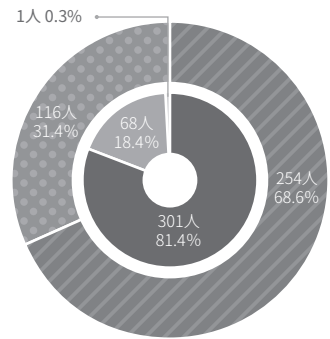
学部別入学者内訳 (令和3年度)



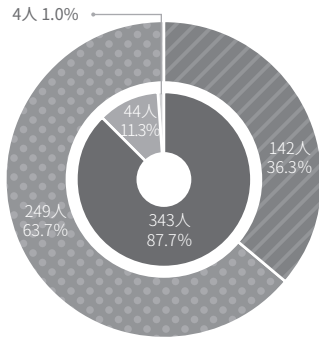
国際教養学部
91人



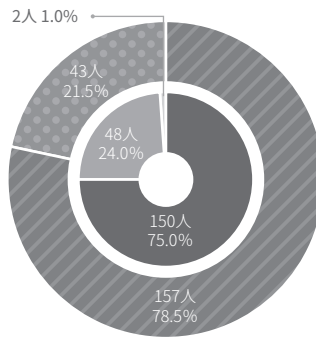
文学部
171人



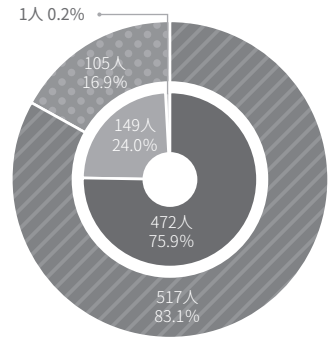
法政経学部
370人



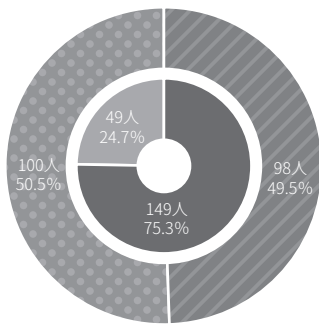
教育学部
391人



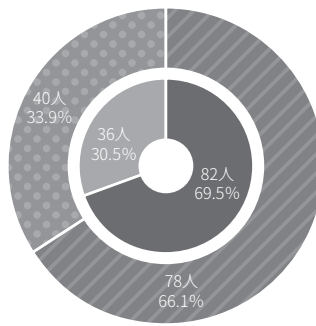
理学部
200人



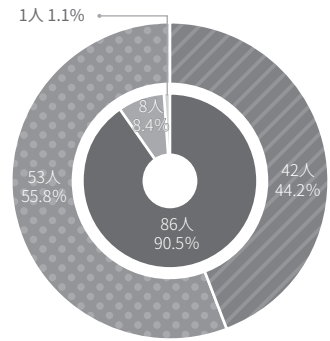
工学部
622人



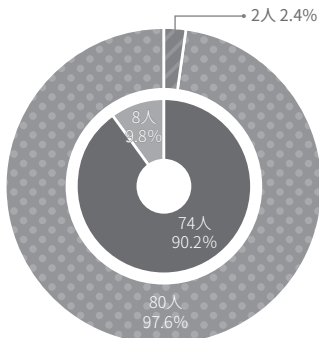
園芸学部
198人



医学部
118人



薬学部
95人



看護学部
82人

- 男
- 女
- 新卒
- 既卒
- その他

学位授与者数

04.4

(令和3年3月31日)

学位	専攻分野	旧制	新制			
			課程修了によるもの		論文提出によるもの	
			令和2年度	累計	令和2年度	累計
博士	学術	2,590	21	648	1	135
	文学		6	123	0	9
	法学		0	23	0	5
	経済学		0	22	0	0
	経営学		0	1	0	0
	政治学		0	0	0	1
	公共学		1	5	0	1
	理学		17	582	0	124
	医学		125	3,427	2	1,989
	薬学		0	77	0	0
	薬学		2	381	2	342
	薬科学		17	89	1	10
	臨床薬学		0	17	0	0
	看護学		11	228	0	22
	工学		47	1,047	4	255
	農学		10	279	0	127
法務博士	専門職		15	532		
修士	学術		50	683		
	文学		25	949		
	教育学		52	2,518		
	法学		0	171		
	経済学		3	269		
	総合政策		0	28		
	経営学		1	51		
	政治学		1	21		
	公共学		3	50		
	理学		125	3,813		
	医科学		23	429		
	薬学		0	1,946		
	薬科学		48	501		
	臨床薬学		0	250		
	看護学		32	1,010		
	工学		471	13,938		
農学		81	3,250			
教職修士	専門職		15	83		
合計		2,590	1,202	37,441	10	3,020

(備考) 平成3年7月1日前の学位の種類及び授与件数は、文学修士39、教育学修士306、法学修士11、経済学修士17、理学修士506、薬学修士701、看護学修士144、工学修士2,229、農学修士676、学術博士75(課程)・2(論文)、理学博士3(課程)、医学博士724(課程)・1,097(論文)、薬学博士64(課程)・100(論文)、工学博士6(課程)、農学博士2(課程)であり、対応する学位(専攻分野)の累計に含む。

卒業生の進路状況

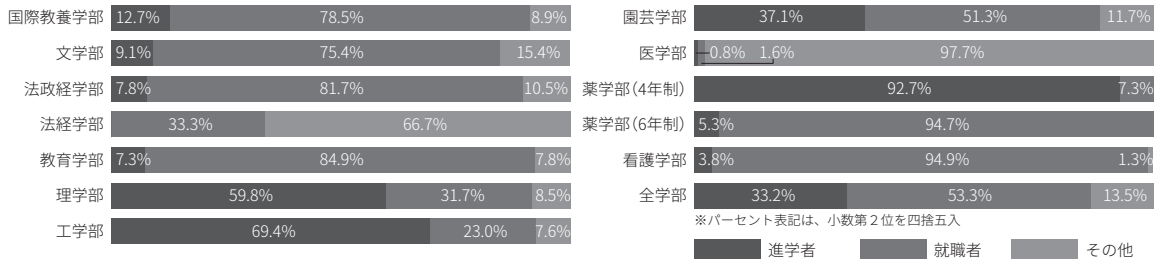
04.5

令和2年度卒業生の進路

(令和3年5月1日現在)

学部	進学者				就職者				左記以外の者				合計	
	大学院研究科	学部(本科)	短大(本科)	専攻科・別科	小計	自営業主等 無期雇用労働者	有期雇用労働者	臨時労働者	小計	進学準備中の者	就職準備中の者	その他		小計
国際教養学部	9	1			10	61	1		62	1	2	4	7	79
	5	1			6	38	1		39	1	2	2	5	50
文学部	16				16	131	1		132	1	2	12	26	175
	7				7	89			89	1	2	7	15	112
法政経学部	29				29	303	1		304	1	1	34	38	372
	7				7	100			100	1	8		9	116
法経学部					0		1		1		1	1	2	3
					0				0				0	0
教育学部	31				31	313	47		360	4	2	15	29	424
	16				16	199	30		229	1	2	7	17	263
理学部	118	1			119	58	4	1	63	1	3	11	2	199
	22				22	16			16	1	1		1	40
工学部	486				486	161			161	6	3	23	21	700
	75				75	45			45	3	4	4	8	131
園芸学部	73				73	100	1		101	1	1	9	12	197
	32				32	57	1		58	1	4	4	4	95
医学部	1				1	2			2	117		1	8	129
					0	1			1	35			1	37
薬学部(4年制)	38				38	3			3					41
	13				13	3			3					16
薬学部(6年制)	2				2	34	2		36					38
					0	24	2		26					26
看護学部	2			1	3	74			74	1				78
	2			1	3	73			73	1				77
計	805	2	0	1	808	1,240	58	1	1,299	117	15	13	108	2,435
	179	1	0	1	181	645	34	0	679	35	8	6	33	962

※下段は、女子を内数で示す。 ※本表中「左記以外の者」のその他とは、学校基本調査「卒業後の状況調査票(2-1)」の「左記以外の者」のその他及び「不詳・死亡の者」をいう。



卒業生産業別就職状況

(令和2年度)

区分	農業・林業・漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	水道業	電気・ガス・熱供給	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・支援業		医療・福祉	複合サービス業	サービス業	公務		その他	計
															学習支援業	学校教育				国家公務	地方公務		
国際教養学部				7	1	20	2	2	4	3			1	4		1	3		3	2	8	1	62
文学部			3	12	1	46	3	8	4	3	2	2	2	2	4	2	1		4	12	23		132
法政経学部			8	2	1	54	4	15	38	12	18	2	6	4	5	2	3		7	45	60		304
法経学部				1																			1
教育学部	1		2	9	1	12	6	11	10	5	5	3	6	208	20	15	1	6	6	33		360	
理学部			1	7		20	2	2	3		11	1	1	6	1			1	4	3		63	
工学部	1		23	36	6	38	4	5	3	8	3	8	1	1	2			4	4	13	4	161	
園芸学部	1		6	14	1	14		8	2	3	11	2		2		1	4	1	7	22	2	101	
医学部										1								1				2	
薬学部(4年制)				1							1										1	3	
薬学部(6年制)				11				9			1						11		2	2		36	
看護学部																	74					74	
合計	3		43	118	11	204	21	60	65	35	56	11	19	225	30	109	10	25	82	165	7	1,299	

| 修了生の進路状況

04.6

令和2年度修了生の進路

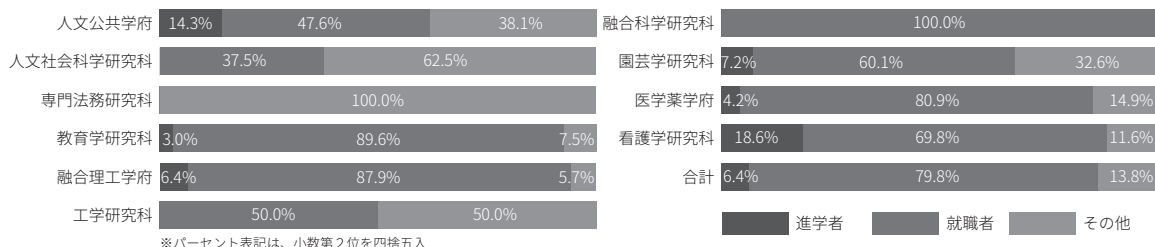
(令和3年5月1日現在)

研究科	進学者				就職者				臨時労働者	小計	左記以外の者			合計			
	大学院研究科	学部(本科)	短大(本科)	専攻科・別科	小計	無期雇用労働者	自営業主等	有期雇用労働者			臨床研修医(予定者を含む)	専修学校・外国の学校等入学者	進学準備中の者		就職準備中の者	その他	
人文公共学府	5	1			6	18		1	1	20			9	5	14	42	
	1	1			2	12		1	1	14			6	2	8	26	
人文社会科学研究科					0	2		1		3			2	3	5	8	
					0	2				2			2	2	4	6	
専門法務研究科					0					0			15		15	15	
					0					0			5		5	5	
教育学研究科	2				2	50		10		60			3	1	1	2	67
	2				2	24		1		25			2	1	1	2	31
融合理工学府	42				42	565		16		581			1	23	14	37	661
	12				12	110		5		115			1	7	6	13	141
工学研究科					0	3		2		5			3	2	5	10	
					0					0			2		2	2	
融合科学研究科					0			3		3					0	3	
					0					0					0	0	
園芸学研究科	10				10	81		2		83			1	18	26	44	138
	4				4	47				47			10	11	21	72	
医学薬学府	9				9	141		33		174			1	1	7	23	215
	1				1	47		10		57			2	8	10	68	
看護学研究科	8				8	24		6		30			1	4	5	43	
	7				7	23		5		28			1	4	5	40	
計	76	1	0	0	77	884		74	1	959	0	8	2	78	78	158	1,202
	27	1	0	0	28	265		22	1	288	0	5	1	35	34	70	391

※下段は、女子を内数で示す。

※進学者に、就職かつ進学の者を含む。

※本表中「左記以外の者」のその他とは、学校基本調査「卒業後の状況調査票(2-1)」の「左記以外の者」のその他及び「不詳・死亡の者」をいう。



※パーセント表記は、小数第2位を四捨五入

修了生産業別就職状況

(令和2年度)

区分	農業・林業・漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	技術サービス業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス事業	サービス業	公務	その他	計
	国家公務	地方公務																			
人文公共学府						8	2		1			1			4	2			1	1	20
人文社会科学研究科															2	1					3
専門法務研究科																					0
教育学研究科			1		3			1		1					49	2		2	1		60
融合理工学府	1	1	50	277	11	120	12	6	4	10	42		2	21	3	1	2	5	8	5	581
工学研究科											1				4						5
融合科学研究科						1									1						3
園芸学研究科	3		10	28		4		1		3	12	1		3	1		3	1	2	8	83
医学薬学府			1	41		2						1			6	105	1		3		174
看護学研究科															9	21					30
合計	4	1	61	347	11	138	14	7	6	13	70	3	2	95	11	129	6	8	5	18	959

令和2事業年度決算

貸借対照表

(単位:億円)

資産の部			負債の部		
固定資産			資産見返負債	154	(151)
土地	1,262	(1,293)	借入金	409	(301)
建物等 ※1	833	(482)	長期未払金 ※3	170	(16)
備品	118	(75)	寄附金債務	45	(41)
図書	50	(51)	未払金	114	(133)
建設仮勘定 ※1	1	(111)	その他	75	(49)
投資有価証券	6	(25)	負債合計	968	(692)
その他	12	(7)			
流動資産			純資産の部		
現金及び預金 ※2	243	(164)	資本金	1,506	(1,506)
未収入金	99	(71)	資本剰余金	109	(52)
有価証券	22	(17)	利益剰余金	50	(42)
棚卸資産	0	(4)	当期末処分利益(当期末処理損失)	18	(9)
その他	6	(1)	純資産合計	1,683	(1,609)
資産合計	2,651	(2,301)	負債・純資産合計	2,651	(2,301)

・単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

()は令和元事業年度

I. 貸借対照表の概要

- 中央診療棟新営その他工事などにより、建物等が増加しています。また、その完成に伴い、建設仮勘定が減少しています。(※1)
- 宿舍他の売却に伴い、現金及び預金が増加しています。(※2)
- 医学系総合研究棟整備等事業(PFI事業)の開始に伴い、未払金が増加しています。(※3)

損益計算書

(単位:億円)

経常費用			経常収益		
教育経費	31	(29)	運営費交付金収益	179	(173)
研究経費	36	(36)	学生納付金収益	83	(83)
診療経費 ※1	249	(235)	附属病院収益	353	(363)
教育研究支援経費	13	(13)	外部資金	55	(60)
受託研究費等	28	(32)	機関補助金 ※3	59	(11)
人件費 ※2	357	(345)	その他	24	(28)
一般管理費	18	(17)			
その他	1	(1)			
経常費用合計	733	(708)	経常収益合計	754	(718)
臨時損失	5	(5)	臨時利益	1	(4)
			目的積立金取崩等	0	-
計	737	(713)	計	755	(722)

当期総利益(損失)	18	(9)
-----------	----	-----

・単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

()は令和元事業年度

II. 損益計算書の概要

- 中央診療棟竣工に伴う設備移転経費の増加により、診療経費が増加しています。(※1)
- 新型コロナウイルス対応特別一時金の支給、看護師等の採用の増加により、人件費が増加しています。(※2)
- 新型コロナウイルス感染症対策事業補助金等の採択に伴い、機関補助金が増加しています。(※3)

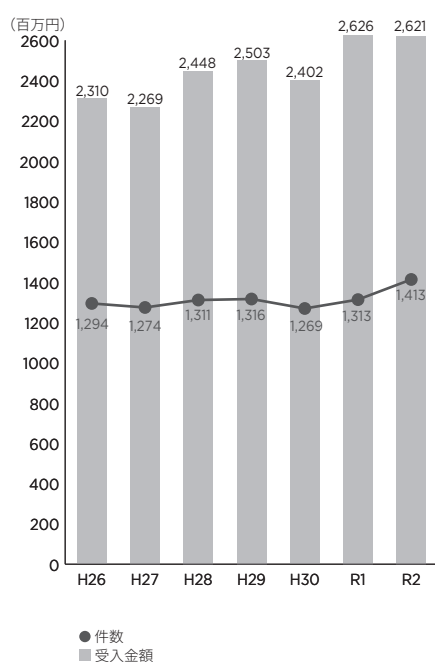
05.2

令和2年度科学研究費助成事業(科研費)等獲得状況

科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
科学研究費補助金(分担も含む)	1,362 (967)	2,430,309
特別推進研究	3 (1)	132,870
新学術領域研究	36 (24)	227,124
学術変革領域研究(A)	5 (1)	9,371
学術変革領域研究(B)	2 (1)	7,449
基盤研究(S)	11 (1)	72,012
基盤研究(A)	59 (15)	148,243
基盤研究(B)	266 (126)	575,831
基盤研究(C)	565 (410)	553,008
挑戦的研究(開拓)	7 (4)	21,580
挑戦的研究(萌芽)	54 (39)	100,139
若手研究(A)	1 (1)	6,110
若手研究(B)	5 (5)	2,663
若手研究	233 (233)	355,670
国際共同研究加速基金(国際活動支援班)	5 (1)	8,580
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	6 (6)	87,880
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	9 (4)	21,502
研究活動スタート支援	24 (24)	32,760
奨励研究	3 (3)	1,167
研究成果公開促進費	7 (7)	6,275
特別研究員奨励費	61 (61)	60,070
厚生労働科学研究費補助金	49 (14)	190,166
労災疾病臨床研究事業費補助金	2 (0)	970
合計	1,413 (981)	2,621,445

()内は研究代表者分の件数

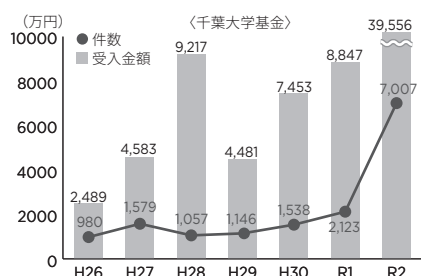
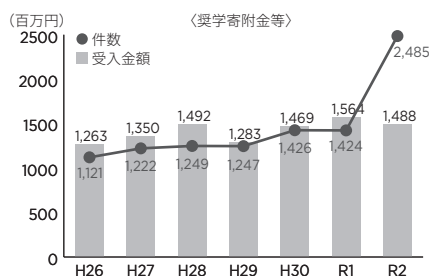


05.3

令和2年度寄附金受入状況

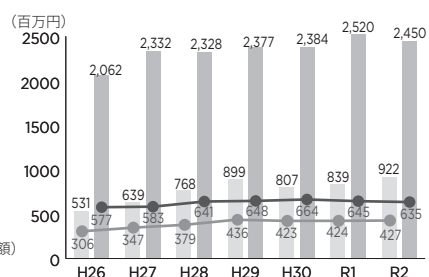
外部資金

区分	件数	金額(千円)
寄附金		
奨学寄附金等	2,485	1,488,474
千葉大学基金	7,007	395,561
合計	9,492	1,884,036



令和2年度受託研究等受入状況

研究種目	件数	金額(千円)
受託研究等		
受託研究	635	2,450,753
共同研究	427	922,557
合計	1,062	3,373,310



05.4

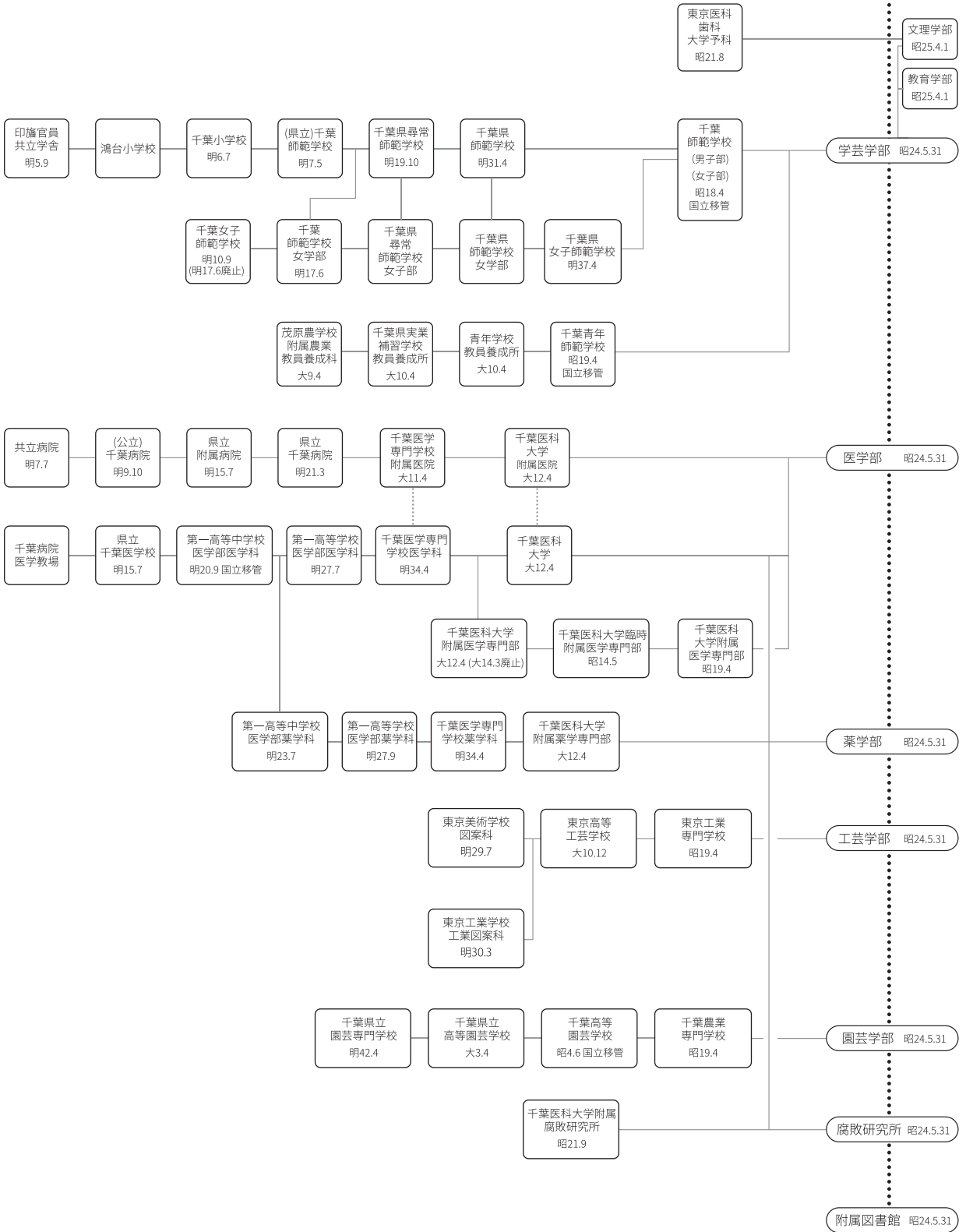
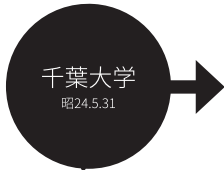
特許出願

特許出願

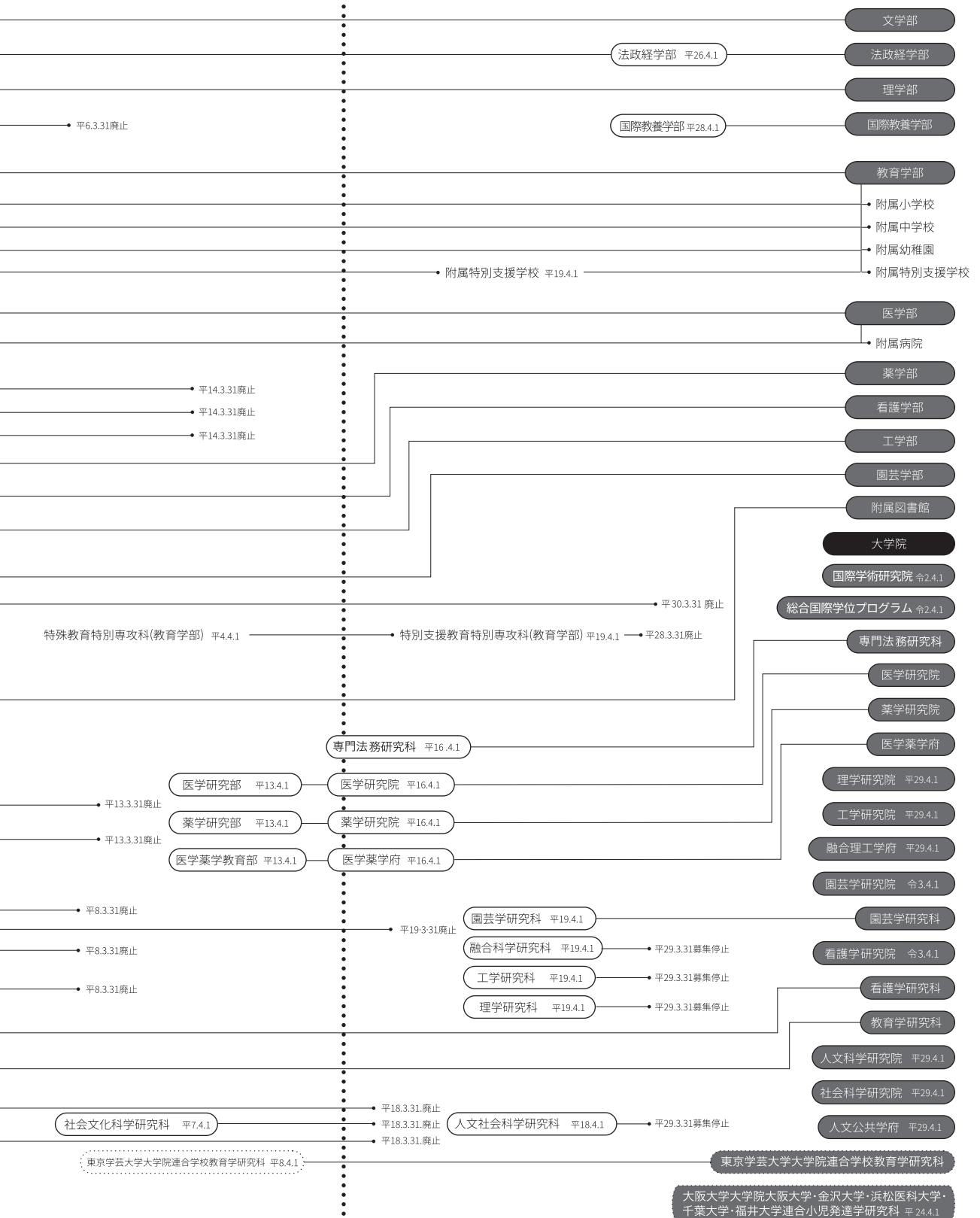
区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年3月31日現在
保有特許							
件数	174件	168件	211件	148件	160件	144件	769件

※国際出願・欧州出願を含む。

地区名	区分	施設名	所在地	土地㎡	建物(総面積)㎡	備考	
西千葉地区	本部	事務局庁舎			3,809		
		共通棟			1,457		
		その他				※29,724	※内訳
		共用機器センター				2,543	・第1体育館 2,625
		統合情報センター				1,602	・第2体育館 991
		フロンティア医工学センター				2,307	・学生会館 2,675
		アイントープ実験施設				2,680	・総合学生支援センター 2,112
		学術研究・イノベーション推進機構				2,726	・学生食堂 1,119
		環境リモートセンシング研究センター				3,803	・サークル会館 2,409
		総合安全衛生管理機構	千葉市稲毛区弥生町		380,958		・武道場 984
		附属図書館	1番33号		(他に借入1,112)	1,254	・宿泊施設 455
		文学部・法政経学部				16,037	・けやき会館 2,536
						16,904	・その他 13,818
	松戸地区	教育学部	学部				21,953
附属学校						※※19,731	※※内訳
		理学部				21,942	・附属幼稚園 1,418
		工学部				59,446	・附属小学校 8,199
		総合校舎				22,948	・附属中学校 10,114
		自然科学系総合研究棟				17,883	
		ソフト分子活性化研究センター				1,523	
亥鼻地区		真菌医学研究センター				3,466	
		医学部				86,410	
		医学部附属病院				150,655	※医学部所属
		看護学部				17,492	
小仲台地区		亥鼻分館	千葉市中央区亥鼻		263,687	3,784	※※医学部附属病院所属
		薬学部	1丁目8番1号		(他に借入83)	20,317	※※内訳
		学生寄宿舎	雄翔寮			※1,094	・看護師宿舍 10,018
	さつき共同棟				※※2,662	・亥鼻宿舍 1,898	
	職員宿舍				※※※11,916	(他に借入1,183)	
墨田キャンパス	園芸学部				23,625		
	学生寄宿舎	浩気寮	松戸市松戸648	147,255	※2,019	※園芸学部所属	
	職員宿舍				1,142	1,338	
海洋バイオシステム研究センター	学務部	江戸川艇庫	松戸市栄町西5丁目	543	195		
				(他に借入19)			
		稲毛寮	千葉市稲毛区小仲台			3,439	
そ の 他	学生寄宿舎	無名寮	6丁目33番	11,212	1,800		
		薫風寮				4,098	
		国際交流会館	千葉市稲毛区小仲台	11,420	7,463		
そ の 他	墨田キャンパス		東京都墨田区		(借入3,201)	(借入9,447)	
			文花一丁目19番1号				
	海洋バイオシステム研究センター		鴨川市内浦1の1		57,190	1,553	
			(他に借入92)				
	教育学部	銚子実験場	銚子市外川町1丁目		(借入607)	191	(他に借入142)
			10835番6号				
		附属特別支援学校	千葉市稲毛区		18,996	3,558	
			長沼原町312		(他に借入1)		
	医学部	臨海実習所	館山市大賀字西台地		6,228	649	
			(他に借入32)				
学務部	勝山セミナーハウス	千葉県安房郡鋸南町		1,512	47		
		勝山398の1					
他	山中寮	山梨県南都留郡		22,730	467		
		山中湖村山中235の15					
	柏の葉地区	柏市柏の葉6丁目		166,889	※9,521	※うち1,158㎡	
環境健康フィールド科学センター		2番地1		(他に借入175)		予防医学センター	
	沼田地区	群馬県沼田市下川田町		71,358	868	うち510㎡	
		字大竹5773		(他に借入338)		柏の葉診療所	
職員宿舍		習志野市谷津		11,203	7,196		
貸付				94			
その他				(借入20,391)	※39	※うち9㎡	
					(他に借入158)	医学部納骨堂	
						うち30㎡	
						マヒドン大学内研究施設	
合 計				1,172,417	616,134		
				(他に借入26,051)	(他に借入10,930)		



国立大学法人
千葉大学
平16.4.1



AD ALTIORA SEMPER
UNIVERSITAS CHIBA

2021

CHIBA UNIVERSITY

〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1-33
www.chiba-u.jp

Copyright (C) 2021 Chiba University. All Rights Reserved.

